

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における課題抽出

○生活機能に関する課題抽出

1 運動器機能に関する課題

(1) 運動器機能

- ・運動器機能の低下が認められる一般高齢者は全体の 15.1%で、前回より 1.2ポイント減少した。特に年齢別では、85 歳以上の女性で 10.8ポイント減少している。
- ・男女とも 80 歳以降で機能低下が顕著となり、後期高齢者の運動器機能低下抑止策のより積極的な推進が求められるところだが、同時にそれ以前の年代からの運動習慣の定着を図り、基礎的な体力水準を高めておくことが重要である。

(2) 転倒リスク

- ・転倒リスクは 85 歳以上で顕著に上昇することはある程度仕方のない部分もあるが、転倒は寝たきりにつながる危険性が高いこともあり、運動器機能の維持・強化の取り組みの中で、できる限りのリスク低減を図ることが求められる。

【運動器機能に関する課題】

- ① 後期高齢者の運動器機能の維持・強化に積極的に取り組む必要がある。
- ② より若い段階からの運動習慣の定着につながる環境づくりに取り組む必要がある。

2 日常生活上の課題

(1) 口腔機能

- ・口腔機能の低下が認められる一般高齢者の割合は、前回調査とほぼ同様となっている。
- ・年齢を重ねるにつれて徐々に口腔機能の低下が進む傾向にあることから、多様な機会を利用してこまめに予防策を周知することが、口腔機能低下の進行を遅らせることにつながると考えられる。

(2) 低栄養

- ・低栄養状態にある一般高齢者は少ないが、男女とも 80 歳以上で少しずつ上昇している。
- ・専門的な栄養指導等が必要になる前段階としては、口腔機能低下の予防とも合わせた情報提供を随時行うとともに、様々な機会を通じてリスクのある高齢者の把握に努めることが求められる。

（３）認知機能

- ・設問の性質上、物忘れが多いと感じるかという質問のみで認知機能が低下している高齢者を捕捉することは難しいと考えられるが、認知機能の低下が認められる一般高齢者の割合は44.2%で、前回調査と比較して5.2ポイント減少している。特に、85歳以上の女性では19.2ポイント減少した。
- ・物忘れが多いと感じるか否かは、認知機能だけではなく、日常生活の活動性とも関係しているのではないかと考えられる。（より多くのことを楽しんでいけば、時に物忘れをしても、それを気にする度合いは低くなるのではないか。）

（４）閉じこもり

- ・85歳以上の女性で閉じこもりの懸念が高まる。運動機能の低下も影響していると考えられるが、女性は男性に比較して仲間との活動になじみやすい傾向があるので、運動機能の低下を抑止しつつ、コミュニティの中で活動する機会の提供に取り組む必要があると考えられる。

【日常生活上の課題】

- ① コミュニティ活動や多様なアクティビティの機会づくりに取り組み、高齢者の活動性を高める必要がある。
- ② 様々な機会を捉えて、高齢者の生活機能の維持・改善に資する情報の提供に取り組む必要がある。

3 活動能力に関する課題について

（１）手段的自立度（IADL）

- ・IADLの低下が懸念される一般高齢者の割合は13.0%で、前回に比較して7.4ポイント上昇し、特に85歳以上では女性が11.5ポイント、男性では5.0ポイント上昇している。85歳以上で自立性の低下がやや顕著となっているが、それ以前の年齢層においても前回に比較して自立性の低下がみられる。

（２）知的能動判定

- ・知的能動性の低下が懸念される一般高齢者の割合は45.2%で、前回に比較して27.4ポイント上昇している。
- ・年齢階層別でみても65歳以上の全年齢層で知的能動性の低下が懸念される高齢者の割合が高く、読む・書く・観る・聞く・知るといった活動への意欲の低下が懸念される。
- ・なお、視覚的な障害が知的能動性の低下につながる懸念があるが、現在治療中または後

遺症のある病気として目の病気をあげた一般高齢者は17.1%で、前回より3.6ポイント上昇したにとどまる。

（３）社会的役割判定

- ・社会的役割の低下が懸念される一般高齢者は54.8%で、85歳以上では男女とも7割前後に達しているが、それ以前の年齢層においても男女とも半数前後に社会的役割の低下が懸念される。
- ・友人を訪ねる、他人に話しかける、他人からの相談に乗るなどの主体的・能動的な姿勢がやや弱まっているように感じられる。

【活動能力に関する課題】

- ① 多様なコミュニティやアクティビティに参加する機会を通じて、個々人が主体的・能動的に活動できる環境づくりに配慮する必要がある。
- ② 各種イベントや情報提供において、高齢者の知的欲求を高め、主体的な行動につながるような視点を取り入れることが求められる。

→ 活動能力に関する各判定は、身体の機能面よりも、行動を起こす意欲に係る部分が大きいと考えられる。各判定から自立性、能動性の低下が懸念される高齢者が少なくなることが把握されるが、その対義語としての依存性、受動性が高まることのないような働きかけが必要であると考えられる。

○高齢者支援施策に関する課題抽出

1 地域での活動について

(1)地域でのグループ活動・サークル活動、仕事等の活動への参加状況

①ボランティアのグループ

- ・週4回以上、週2～3回、週1回、月1～3回、年に数回までをあわせた「参加している人」の割合は、全体では11.7%（前回調査比：+3.3ポイント）、一般高齢者では12.0%（前回調査比：+2.3ポイント）、要支援認定者では4.2%（前回調査比：+0.6ポイント）となっている。
- ・前回調査時よりも全体的に参加率が高くなっている。

②スポーツ関係のグループやクラブ

- ・「参加している人」の割合は、全体では21.4%（前回調査比：+3.5ポイント）、一般高齢者では22.2%（前回調査比：+1.8ポイント）、要支援認定者では2.1%（前回調査比：-6.0ポイント）となっている。
- ・一般高齢者では前回調査時よりも参加率が高くなっているが、要支援認定者では低くなっている。

③趣味関係のグループ

- ・「参加している人」の割合は、全体では27.8%（前回調査比：+5.1ポイント）、一般高齢者では28.4%（前回調査比：+2.2ポイント）、要支援認定者では10.5%（前回調査比：+2.1ポイント）となっている。
- ・前回調査時よりも全体的に参加率が高くなっている。
- ・趣味関係のグループへの参加率は、他の活動よりも参加率が高いことが特徴的である。

④学習・教養サークル

- ・「参加している人」の割合は、全体では10.4%（前回調査比：+3.5ポイント）、一般高齢者では10.5%（前回調査比：+2.2ポイント）、要支援認定者では6.3%（前回調査比：+4.6ポイント）となっている。
- ・全体的にみて、前回調査時よりも参加率が高くなっており、特に要支援認定者の割合が大きく伸びている。

⑤はにトレ教室など介護予防のための通いの場

- ・「参加している人」の割合は、全体では8.9%、一般高齢者では8.3%、要支援認定者では31.3%となっている。
- ・他の活動と比較して、要支援認定者の参加率が高いことが特徴的である。

⑥老人クラブ

- ・「参加している人」の割合は、全体では9.3%（前回調査比：-2.6ポイント）、一般高齢者では9.0%

(前回調査比：-2.8 ポイント)、要支援認定者では 14.6% (前回調査比：+1.6 ポイント) となっている。

- ・前回調査結果と比較すると、要支援認定者で参加率が上がっているが、全体としては参加率が低くなっている。

⑦町内会・自治会

- ・「参加している人」の割合は、全体では 25.8% (前回調査比：+6.9 ポイント)、一般高齢者では 26.1% (前回調査比：+4.4 ポイント)、要支援認定者では 20.9% (前回調査比：+12.9 ポイント) となっている。
- ・全体的にみて、前回調査時よりも参加率が高くなっており、特に要支援認定者の参加率が大きく伸びている。
- ・⑦町内会・自治会の活動は、③趣味関係のグループに次いで参加率が高くなっている。

⑧収入のある仕事

- ・「参加している人」の割合は、全体では 22.6% (前回調査比：+9.4 ポイント)、一般高齢者では 23.4% (前回調査比：+7.7 ポイント)、要支援認定者では 2.1% (前回調査比：-0.8 ポイント) となっている。
- ・前回調査時よりも全体、一般高齢者で参加率が高くなっており、高齢者の就業機会が増えていることがうかがえる。

(2)健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向

- ・ぜひ参加したいと参加してもよいの割合をあわせた「参加」意向の割合とみると、「参加者」としての参加意向は、全体では 53.5% (前回調査比：-6.1 ポイント)、一般高齢者では 54.5% (前回調査比：-9.9 ポイント)、要支援認定者では 25.1% (前回調査比：-15.3 ポイント) となっており、前回調査時よりも参加意向の割合が低下している。
- ・「企画・運営（お世話係）」としての参加意向は、全体では 36.1% (前回調査比：-2.8 ポイント)、一般高齢者では 37.1% (前回調査比：-5.3 ポイント)、要支援認定者では 10.4% (前回調査比：-14.2 ポイント) となっており、前回調査時よりも参加意向の割合が低下している。
- ・「参加者」、「企画・運営（お世話係）」ともに、前回調査時と比較して参加意向が低下している。特に、要支援認定者の参加意向の低下の割合が大きい。

【地域での活動に関する課題】

- ①全般的に地域での活動への参加率は増加しており、活動機会の増加や活動参加への意欲の高まりがうかがえる。特に介護予防については、他の質問の結果からも関心の高さが示されているので、より多くの活動機会を提供する必要がある。
- ②地域の活動への参加率増加の一方、健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向が減少しており、地域の高齢者の参加意欲の掘り起こしが課題になる。

2 たすけあいについて

(1) 愚痴や看病について

- ・愚痴を聞いてくれたり、聞いてあげる人は、一般高齢者では配偶者、友人で割合が高くなっており、これは前回調査と同様の傾向である。要支援認定者では別居の子ども、同居の子ども、友人の割合が高くなっているが、前回調査と比較すると、別居の子どもや同居の子どもとの関わりの割合がより高くなっている。
- ・病気の時に看病や世話をしたり、してあげる人は、一般高齢者では、配偶者や別居の子ども、同居の子ども、兄弟姉妹・親戚・親・孫など親族の割合が高くなっている。要支援認定者では、看病や世話をしてくれる人は、別居の子ども、同居の子ども、配偶者の割合が高くなっている。前回調査と比較すると、同居の子どもよりも別居の子どもとの関わりの方が高くなっている。

(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

- ・一般高齢者では、そのような人はいないの割合が 39.9%で、前回調査結果と同様に最も高くなっているが、今回の調査結果の方が 6.7 ポイント増加している。2 番目に医師・歯科医師・看護師の割合 (27.1%) が高くなっており、前回調査と同様の傾向である。
- ・要支援認定者では、ケアマネジャーの割合が 43.8%で最も高く、前回調査結果と同様の傾向であり、前回調査結果よりもさらに 4.1 ポイント増加している。
- ・一般高齢者、要支援認定者ともに、前回調査時よりも社会福祉協議会・民生委員の割合が低くなり、地域包括支援センター・役所・役場の割合が高くなっているという傾向がみられる。

(3) 友人との関係

- ・ここ 1 か月間に会った友人・知人の数について、要支援認定者では 3～5 人の割合が 35.4%と最も高く、前回調査よりも 9.4 ポイント増加している。一方、0 人 (いない) の割合は 10.4%で前回調査よりも 4.3 ポイント減少していることから、要支援認定者については友人・知人と会う機会が増加していることがうかがえる。
- ・よく会う友人・知人との関係性については、一般高齢者では、近所・同じ地域の人との割合が約 5 割で最も高く、次いで趣味や関心が同じ友人、仕事での同僚・元同僚の割合が高くなっており、前回調査と同様の結果となっている。要支援認定者では、近所・同じ地域の人との割合が最も高いのは前回調査と同様であるが、前回調査よりも 6.9 ポイント減少しており、近所・同じ地域の人との関係性の希薄化が懸念される。

【たすけあいに関する課題】

- ①家族や友人・知人以外の相談相手はいないと回答する一般高齢者は約 4 割と高い割合となっている。地域包括支援センターや社会福祉協議会、民生委員や行政の窓口など、地域に密着した相談窓口について周知を徹底することが必要である。
- ②近所や同じ地域のコミュニティの希薄化を防ぐために、町内活動・自治会活動をはじめとして、様々な交流の場と機会を提供することが必要である。

3 健康について

(1)健康状態について

- ・とてもよいとまあよいをあわせた「健康状態がよい人」の割合は、一般高齢者で 79.9%で前回調査よりも 3.4 ポイント増加している。要支援認定者では 56.3%と前回調査よりも 8.3 ポイント増加しており、一般高齢者、要支援認定者ともに健康状態が良い人の割合がさらに高くなっている。

(2)幸福度について

- ・平均点は、全体では 7.1 点で前回調査よりも 0.2 点の増加、一般高齢者では 7.1 点で前回調査よりも 0.1 点の増加、要支援認定者は 6.7 点で前回調査よりも 0.4 点の増加となっており、全体として幸福度が上がっているとみられる。

(3)飲酒・喫煙の習慣について

- ・飲酒については、ほぼ毎日飲むとする割合は全体的に増加しており、一般高齢者では 1.2 ポイントの増加、要支援認定者で 3.7 ポイントの増加となっている。
- ・喫煙については、ほぼ毎日吸っていると時々吸っているをあわせた「吸っている人」の割合は、一般高齢者では 0.8 ポイントの減少、要支援認定者では 1.6 ポイントの減少となっており、禁煙傾向が進んでいる様子が見える。

(4)治療中あるいは後遺症のある病気について

- ・治療中あるいは後遺症のある病気についてみると、全体的にそれぞれの病気の割合が減少している傾向が見られる。
- ・割合が増加している病気についてみると、要支援認定者では「腎臓・前立腺の病気」が前回調査よりも 4.8 ポイント増加している。一般高齢者では「高血圧」は 3.7 ポイント増加、「目の病気」は 3.6 ポイント増加、「高脂血症（脂質異常）」は 2.0 ポイント増加している。「がん（悪性新生物）」については、一般高齢者で 1.5 ポイント増加、要支援認定者で 1.6 ポイント増加している。要支援認定者よりも一般高齢者の方が、前回調査より割合が増加している病気が多い。

【健康に関する課題】

- ①飲酒についてほぼ毎日飲む人の割合が増加していることから、飲酒が健康や日常生活に及ぼす影響や適度な飲酒量についての知識について啓発する機会を増やすことが必要である。
- ②治療中あるいは後遺症のある病気については、一般高齢者で生活習慣病やがんの割合が増加している。より若い段階からの特定保健指導の充実や様々な機会を活用した健康意識の啓発などの取り組みが必要である。

4 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1)認知症の症状あるいは家族に認知症の症状があるかどうかについて

- ・本人あるいは家族に認知症があるという割合は、一般高齢者では 8.8%、要支援認定者では 10.4%とともに 1 割前後の割合となっており、身近な症状であることがうかがえる。

(2) 認知症に関する相談窓口について

- ・その一方で、認知症に関する窓口を知らない（「いいえ」の回答）人の割合は、一般高齢者で 73.4%、要支援認定者で 72.9%と高い割合となっており、認知症に関する相談窓口についての周知が必要であることがうかがえる。

【認知症にかかる相談窓口に関する課題】

- ①認知症に関しては関心が高いにもかかわらず、相談窓口については認知度が低い状況が見受けられる。様々な機会をとらえて、認知症に関する相談窓口について周知を図る必要がある。

5 日ごろの生活について

(1) 健康のために特に気をつけていること

- ・一般高齢者、要支援認定者ともに、散歩など軽い運動をするの割合が最も高く、また、前回調査と比較して一般高齢者では 5.0 ポイントの増加、要支援認定者では 11.6 ポイント増加している。運動による効用が広く知られるようになったことが影響していると考えられる。なお、今回の調査では前回調査よりも選択肢が少なくなっている。（「十分な休養・睡眠」「お酒を飲まない」「たばこを吸わない」がなくなっている。）

(2) 日中、1人になること

- ・よくあると回答した人は、一般高齢者は 38.9%で前回調査よりも 1.8 ポイント減少しており、要支援認定者は 56.3%で前回調査よりも 8.0 ポイント減少している。高齢者が日中 1人で過ごすことは前回調査時よりも少なくなっていると考えられるが、要支援認定者は一般高齢者よりも年齢層が高く、家族構成からみて 1人で過ごさざるをえない人が多いと考えられる。

(3) 近所や親しい人とのつきあいについて

- ・近所との付き合いについて、日常的に付き合いがある割合は一般高齢者では 35.1%で前回調査よりも 1.8 ポイント減少、要支援認定者では 29.2%で前回調査より 4.1 ポイント減少するなど、近所とのつきあいが希薄化しつつあることが懸念される。
- ・困った時に声をかければ助けてくれたり、すぐ来てくれる人は、一般高齢者、要支援認定者ともに家族・親族の割合が 8割を超えており、最も高くなっている。しかし、近所の人や友人・知人など親族以外のつながりについては要支援認定者の割合は一般高齢者よりも低くなっている。また、要支援認定者の中には困った時に声をかけられる人がいない人の割合が約 1割いることも解決すべき課題といえる。

(4) 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報入手について

- ・情報を得ることができているの割合は、一般高齢者 28.7%、要支援認定者 50.0%で、要支援認定者の方が 21.3 ポイント高く、情報を得られている人がより多いことがうかがえる。
- ・情報の入手先をみると、一般高齢者では広報ほんじょうの割合が 57.7%と最も高く、次いで自治会

の回覧板が 35.7%となっている。要支援認定者では、ケアマネジャーの割合が 58.3%と最も高く、次いで地域包括支援センターの割合が 50.0%となっており、介護専門職や専門的な相談窓口からの情報入手が多い。特に、地域包括支援センターの割合は前回調査よりも 23.7 ポイント高くなっており、その存在が広く認識されてきたことがうかがえる。

- ・情報の入手先について、日常生活圏域別にみてほかの圏域よりもどのような媒体の割合が高くなっているかみると、本庄東地域は、ケアマネジャーや介護保険サービス事業者などの介護事業者からの割合が他圏域よりも高くなっている。本庄西地域では、家族・親族、友人・知人などの近しい人からの情報入手や、市役所の窓口が他圏域よりも高い。本庄南地域は、広報ほんじょうや市役所のホームページなど市から発信される情報媒体からの入手が多い。児玉地域は、自治会の回覧板や民生委員、地域包括支援センターの割合が他圏域よりも高く、地域社会により密着する組織や人、情報媒体からの入手が多い。

(5) 日頃不安に思うこと

① 収入が不足して生活が苦しくなる

- ・実際に困っている割合は全体、一般高齢者、要支援認定者ともに 1 割に満たないが、不安に思うときがある割合は全体で 4 割を超えている。

② 健康で自立した生活ができなくなる

- ・実際に困っている割合は全体、一般高齢者、要支援認定者ともに 5%に満たないが、不安に思うときがある割合はいずれも 5 割を超えており、ほかの項目よりも不安感が強い。

③ 社会から孤立した存在になる

- ・実際に困っている割合は全体、一般高齢者、要支援認定者ともに 5%を下回る。不安に思うときがある割合はいずれもほかの項目より割合が低くなっている。しかし、一般高齢者では 27.1%であるのに対し、要支援認定者では 39.6%と一般高齢者を 12.5 ポイント上回っており、一般高齢者と要支援認定者の意識の差が大きい。

④ 災害の時に避難や対応ができなくなる

- ・実際に困っている割合は全体で 3.2%、一般高齢者が 2.7%と低い割合となっているが、要支援認定者は 18.8%で一般高齢者を 16.1 ポイント上回っており、災害時における要支援認定者の困難がうかがえる。

⑤ 家族が体調を崩したとき、その介護ができない

- ・実際に困っている割合は全体で 3.9%、一般高齢者が 3.4%と低い割合となっているが、要支援認定者は 20.8%で一般高齢者を 17.4 ポイント上回っており、その差が大きい。

- ・日頃不安に思うことについて、健康で自立した生活ができなくなる不安は一般高齢者・要支援認定者を問わず不安が大きい。災害時の避難対応や家族が体調を崩したときに介護できないことについては、実際に困っている要支援認定者が多いことがうかがえる。

(6)同居の子どもの将来に対する不安

- ・家族構成で息子・娘との2世帯を選んだ人を対象に、同居の子どもに対する不安をたずねたところ、不安があるの割合は48.0%と半数近くを占めていた。
- ・具体的な不安内容については、未婚をあげた割合が35.5%で最も高く、仕事をしていないことや収入が少ないなどの収入に対する不安が20.3%となっている。未婚による孤独や日常生活能力に対する不安や経済的不安を抱く人が多いことがうかがえる。深刻な悩みを抱える高齢者に対しては、自立相談支援窓口等と連携しながら対応する必要がある。

(7)退職後の就業について

- ・「働きたい人」の割合は全体で9.6%となっており、前回調査よりも5.4ポイント減少している。前回調査時と比較すると、高齢者の就業機会が増えて現在も就業している人が多く、さらにその後のことまで想定することが難しいためと考えられる。
- ・「働きたい人」の中でも介護施設等で働きたいと考える人の割合は、全体で58.1%を占めている。回答者全体に占める介護施設等で働きたい人の割合は5.5%になる。

【日ごろの生活に関する課題】

- ①近所との付き合いの希薄化を防ぐために、多様な交流の場や機会を設けることが必要である。
- ②同居する子どもに対する不安を解消するために、相談窓口の周知を図るとともに、社会福祉協議会や民生委員、民間NPOと連携しながら対応する必要がある。また、当該者が10年後、20年後に高齢者となった時にも現在と同様の状況である可能性も見据えて、高齢者施策における孤立化防止、経済的不安の解消、日常生活支援等を充実させておく必要がある。
- ③介護施設等で働く意欲を持つ高齢者が円滑に働けるように、入門研修の機会を充実したり、有資格者との仕事のすみ分けを明確にするなどの取り組みが必要である。

6 介護保険制度について

(1)介護保険制度に関する認知度

- ・介護保険制度についての認知度は全体的に高く、一般高齢者はどの項目も40%台か50%台の割合となっており、まんべんなく認知度が高い。一方、要支援認定者では、保険料に関する項目の認知度はともに33.3%で一般高齢者よりも低くなっている。しかし、介護保険サービスの利用の方法やサービス利用料に関する項目についての認知度は一般高齢者よりも高くなっている。

(2)介護保険サービスと介護保険料の負担について

- ・全体と一般高齢者で「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」と「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安い方がよい」の割合がほぼ拮抗している状況は、前回調査と同じ傾向である。また、要支援認定者で「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」の割合が最も高い状況も前回調査と同じ傾向である。

(3)介護保険料について

- ・介護保険料について「安いと感じる人」の割合は、全体、一般高齢者、要支援認定者のいずれも1%未満となっており、「高いと感じる人」の割合の方が圧倒的に高くなっている。「高いと感じる人」の割合は、全体、一般高齢者ともに過半数を占めている。要支援認定者の割合はそこまで高くないが4割以上を占めている。これは前回調査でもほぼ同様であった。

【介護保険制度の理解に関する課題】

- ①介護保険料に関する理解を浸透させるために、介護保険料の財源やどのように使われているかといったことなどについて周知する必要がある。

7 高齢者に関する施策について

(1) 高齢者の健康づくりや生きがいづくりとして充実させてほしいこと

- ・全体と一般高齢者で、趣味の会や文化・スポーツサークルなどの充実と高齢者の健康づくりのためのスポーツ講座の開催の割合が高いことは、前回調査と同じ傾向である。前回調査時には選択肢になかった介護予防の講座の開催については、全体と一般高齢者では3番目に割合が高く、要支援認定者では最も高くなっており、関心の高さがうかがえる。一方、老人クラブの育成に関しては、前回調査と比較して全体では3.9ポイントの減少、一般高齢者では3.8ポイントの減少、要支援認定者では4.7ポイントの減少となっており、関心が薄れていることがうかがえる。

(2) 高齢者の施策として充実させてほしいこと

- ・前回調査と比較して割合が大きく増加した項目は、地震・風水害など自然災害時の支援（前回調査時：災害対策）で、全体で15.4ポイント増加している。関東地方を直撃した台風被害の記憶も新しいことから自然災害時の支援について関心が高まったと考えられる。また、介護予防対策の充実も割合が増加しており、全体で5.1ポイント増加している。
- ・要支援認定者の割合が特に増加している項目について、高齢者の人権・財産などを守る相談窓口の充実が10.8ポイント増加、高齢者虐待に対する支援が8.9ポイント増加するなど、高齢者の人権を守る施策に関心が高まっている。

(3) 制度や事業の認知度

- ・内容まで知っていると言前だけは知っているを合わせた「知っている人」の割合は③生活保護制度が70.3%と最も高くなっている。前回調査でも同様の傾向であった。前回調査と比較して認知度が上がったのは①生活困窮者自立支援制度で「知っている人」の割合が5.1ポイント増加した。

(4) 車の運転について

- ・年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて運転をしている人の割合が減少していくが、75～79歳までは運転をしている人の割合が過半数となっている。日常生活圏域別では児玉地域での割合が最も高く、72.4%の人が運転をしている。
- ・何歳まで車の運転をしたいかについては、81歳以上の割合は全体で25.4%、児玉地域で29.5%、本庄南地域で25.8%、本庄西地域で23.3%、本庄東地域23.0%となっている。81歳以上と出来るだけ運転し続けたいの割合も合わせると、全体で47.3%、児玉地域で51.5%、本庄南地域で48.8%、

本庄西地域で 44.9%、本庄東地域で 42.9%となっており、圏域によっては現在車の運転をしている人のうち約半数が高齢になっても運転し続ける意向を持っている。

- ・また、現在車を運転している人にとって充実させてほしい交通施策は、後付安全装置の取り付け補助と公共交通の充実がそれぞれ約半数の割合となっている。
- ・車を運転していない人に対して、市内を移動する手段を尋ねたところ、家族の車に乗せてもらうの割合が全体で 66.3%と最も高くなっている。日常生活圏域別では本庄西地域の割合が 72.1%と、特に高くなっている。次いで、徒歩、自転車・バイクの順で割合が高くなっており、これについては本庄東地域（徒歩：50.9%、自転車・バイク：42.9%）と本庄南地域（徒歩：50.5%、自転車・バイク：44.0%）の割合が他圏域よりも高くなっている。児玉地域では、友人の車に乗せてもらう（22.1%）、路線バス（27.3%）、はにぼん号・もといずみ号（6.5%）の割合が他圏域よりも高くなっている。
- ・車の運転をしていない場合に困ることは、買い物と通院の割合が高く、それぞれ全体で 7 割以上となっている。また、特に本庄南地域ではこの項目についての割合が他圏域よりも高くなっている。

(5) 移動支援について

- ・全体では、地域の助け合いによる送迎サポートの割合が高く、51.6%となっている。特に、本庄南地域と児玉地域で高くなっている。
- ・また、移動支援を利用する場合の料金の希望額は、100 円以内が 11.5%、200 円以内が 23.0%、300 円以内が 21.1%であるのに対して、400 円以上を許容できる割合は 22.7%となっている。

【日ごろの生活に関する課題】

- ①高齢者の施策として関心度の高さや緊急性を鑑みて特に重要と考えられるものは、自然災害時における高齢者支援、介護予防の充実、高齢者の人権・財産を守るための体制づくり等があげられる。安全安心のまちづくりの観点から、自然災害と同様に感染症対策、防衛上の問題発生時等において高齢者をはじめとする要支援者を守るための仕組みを整備しておく必要がある。
- ②車の運転や移動支援については、運転免許の返上への支援、交通安全意識の徹底、代替交通の整備及び買い物支援、後付安全装置等新技術に関する情報提供等の対策が必要である。

在宅介護実態調査における課題抽出

1 前回調査との比較で特徴的な事項

A票・Q2 世帯類型

単身世帯が 10.1 ポイント、夫婦のみ世帯が 5.1 ポイント増加している。前回調査では無回答が 24.7%（今回は 4.5%）あったことから、単純な比較はできないものの、特に単身世帯の増加が懸念される。

A票・Q4 年齢

90 歳以上が 3.9 ポイント、85～89 歳が 7.4 ポイント、80～84 歳が 7.9 ポイント増加している。前回調査では無回答が 23.0%（今回は 2.3%）あったことから、ここでも単純な比較はできないものの、高齢化の傾向が感じられる。

A票・Q5 要介護度

前回は要介護 3 以上の重度が 27.4%であったが、今回は 18.1%と 9.3 ポイント低下している。要介護度が高まれば施設を選択するケースが多くなっていると考えられる。なお、前回調査では無回答が 24.4%（今回は 4.3%）あった。

A票・Q6 入所・入居の検討状況

入所・入居は検討していないが 18.3 ポイント増加している。前回調査では無回答が 26.7%（今回は 8.0%）あったものの、重度の要介護者の割合が減ったことにより、必要性を感じていない人の割合が増えたと考えられる。

A票・Q7 現在抱えている傷病

大きく増加した項目としては、筋骨格系疾患（6.2 ポイント）、眼科・耳鼻科疾患（5.8 ポイント）、心疾患（5.6 ポイント）、糖尿病（5.5 ポイント）、脳血管疾患（4.1 ポイント）があげられる。糖尿病は認知症の危険因子と考えられており注意が必要である。なお、前回調査では無回答が 24.37%（今回は 5.4%）あった。

B票・Q5 介護者が行っている現在の介護

身体介護については、外出の付き添い・送迎が 71.9%で最も多く、前回比で 7.7 ポイント増加したが、他の項目は低下しており、介護者の外出ニーズへの対応の必要性が際だっている。生活援助についてはいずれの項目も前回同様の傾向であったが、実施度合いが 7 割前後となっており必要度が高い。

B票・Q6 不安に感じる介護

身体介護については外出の付き添い・送迎（17.1ポイント増）、認知症への対応（8.9ポイント増）、服薬（6.7ポイント増）、入浴・洗身（5.0ポイント増）の増加が目立つ。生活援助の3項目はいずれも10ポイント以上増加しており、前回に比較して不安感が高まっている。

2 在宅介護実態調査における課題

（1）【単身世帯】 「要支援・要介護の単身世帯へのサポートの充実」

今回の調査では単身世帯が1/4を占めており、要支援・要介護認定を受けながらひとり暮らしをしている高齢者は現在でも多く、今後はさらに増加が懸念される。

こうした高齢者が不安なく、またできる限り不自由なく住み慣れた地域での暮らしができるよう、切れ目ない支援の体制を整える必要がある。

（2）【高齢夫婦世帯】 「老老介護の家庭における介護者へのサポート」

主な介護者の年齢が80歳以上は9.9%、70歳以上では25.8%となっている。老老介護となっているケースでは、要介護者へのサポートだけでなく、介護をしている人の不安や負担の軽減に特に配慮する必要がある。

（3）【支援サービス】 「介護・支援サービスの使いやすさの向上と活用の促進」

主な介護者が行っている介護は、生活援助全般と「外出の付き添い、送迎等」が多い。今後の在宅生活の継続に必要と感じるサービスとしても「移送サービス（介護・福祉タクシー）」「外出同行（通院、買い物など）」があげられている。

また、現在の生活を継続していくにあたって主な介護者が不安に感じる介護として、身体介護に関する上位項目としては「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」「夜間の排泄」「認知症への対応」等があげられている。重度化した場合、外部サービスの活用を検討する必要性が増すと考えられ、介護保険サービスだけでなく、介護保険外の支援サービスについても、使いやすさの向上と活用の促進を図る必要があると考えられる。

（4）【外出支援】 「外出支援サービスの体制強化と利便性の向上」

食事や家事、金銭管理や諸手続きなどの生活援助は、日常の生活の中での支援が必要な場合が多いため、介護者に頼る部分が大きいと考えられる。他方、比較的計画的な対応ができる外出援助については外部サービスのより積極的に活用は、介護者の負担軽減につながると考えられる。外出支援は現状でも介護者による実施率が高く、現在の生活を継続していくにあたって主な介護者が不安に感じている部分でもあることから、サービス供給体制の強化と利便性の向上にさらに取り組む必要がある。

（５）【認知症】 「認知症に対する理解の醸成と家族の対応力の向上」

認知症への対応は、現在の生活を継続していくにあたって主な介護者が不安に感じる介護の上位にあげられている。在宅における認知症への対応については、予防のための知識やアクティビティ、認知症となった場合のケアや介護者としての対応、さらには介護者や家族の心のケアも含めた総合的な対応が必要になると考えられる。

（６）【介護離職】 「介護離職を未然に防ぐためのコミュニケーションと適時適切なサービスの供給」

家族の介護を受けている家庭において、主な介護者が介護を理由に仕事を辞めている介護離職のケースが 11.9%あった。また、フルタイムかパートタイムで働いている主な介護者のうち、介護を「続けていくのが難しい」が 5.4%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.5%あった。介護離職の根絶に向けて、リスクのあるケースに対しては、できる限り細やかな状況把握と定期的なフォローアップを行い、必要に応じた不定期のサービス供給等、適時適切なサービスが供給されるよう配慮する必要があると考えられる。

（７）【職場改善】 「仕事と介護の両立に資する職場における理解の醸成に向けた働きかけ」

主な介護者が働いている場合、54.4%が何らかの働き方の調整を行っている。仕事と介護の両立に効果があると思う施策としては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「制度を利用しやすい職場づくり」など多岐にわたるが、仕事と介護の両立を社会的に支援するためには、企業への働きかけや職場の理解の醸成に取り組む必要がある。

本庄市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
報告書

令和 2 年 3 月

本 庄 市

目 次

I	調査の概要.....	3
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	用語の説明.....	1
II	生活機能評価等に関する分析.....	2
1	機能別.....	2
(1)	運動器機能の低下.....	2
(2)	転倒リスク.....	4
(3)	口腔機能の低下.....	6
(4)	低栄養の傾向.....	8
(5)	認知機能の低下.....	10
(6)	閉じこもり.....	12
(7)	虚弱.....	14
2	活動能力.....	16
(1)	手段的自立度（IADL）.....	16
(2)	知的能動判定.....	18
(3)	社会的役割判定.....	20
III	調査結果.....	22
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	22
(1)	回答者属性.....	23
(2)	あなた自身（ご本人）のことについて.....	25
(3)	からだを動かすことについて.....	28
(4)	食べることについて.....	34
(5)	毎日の生活について.....	39
(6)	地域での活動について.....	46
(7)	たすけあいについて.....	56
(8)	健康について.....	63
(9)	認知症にかかる相談窓口の把握について.....	66
(10)	日ごろの生活について.....	67
(11)	介護保険制度について.....	77
(12)	高齢者に関する施策について.....	80
2	在宅介護実態調査.....	89
A票	ご本人について.....	90
B票	主な介助者の方について.....	99
IV	資料.....	107
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	107
2	在宅介護実態調査.....	123

I 調査の概要

1 調査の目的

「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」は、老人福祉法（第 20 条の 8）及び介護保険法（第 117 条）に基づき、両計画を一体のものとして作成することとなっている。

次期計画（令和 3～5 年度）を策定するにあたり、日常生活圏域（住民が日常生活を営んでいる地域）ごとの高齢者の課題・ニーズ等を把握する必要があるため、地域の高齢者の状況を把握することを目的として「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施した。

更に、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、在宅介護の現状・課題を把握することを目的として「在宅介護実態調査」を実施した。

2 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

市内在住で要介護認定を受けていない高齢者から無作為抽出。

在宅介護実態調査

市内で在宅生活をしており、要支援・要介護認定を受けている高齢者から無作為抽出。

3 調査期間

令和元年 12 月 6 日から令和元年 12 月 20 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

調査種別	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000 通	1,482 通	74.1%
在宅介護実態調査	1,000 通	514 通	51.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示した。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合がある。

7 用語の説明

一般高齢者：市内在住で要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の方。

要支援認定者：市内在住で要支援認定を受けている 65 歳以上の方。

Ⅱ 生活機能評価等に関する分析

【グラフの見方について】

- ・（ ）内の有効回答数は、各評価等の判定設問の回答者の総数を示す。
- ・グラフ内の性別・年齢階級別、圏域別の割合（％）は上記有効回答者のうちリスク等の該当者の割合を示す。

1 機能別

（１）運動器機能の低下

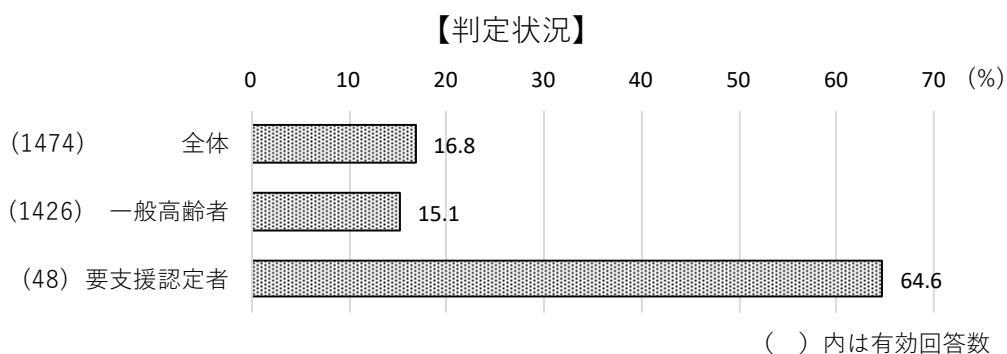
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器機能の低下している高齢者と判定した。

【判定設問】

問番号	質 問	該当する選択肢
問 5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問 6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問 7	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問 8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問 9	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

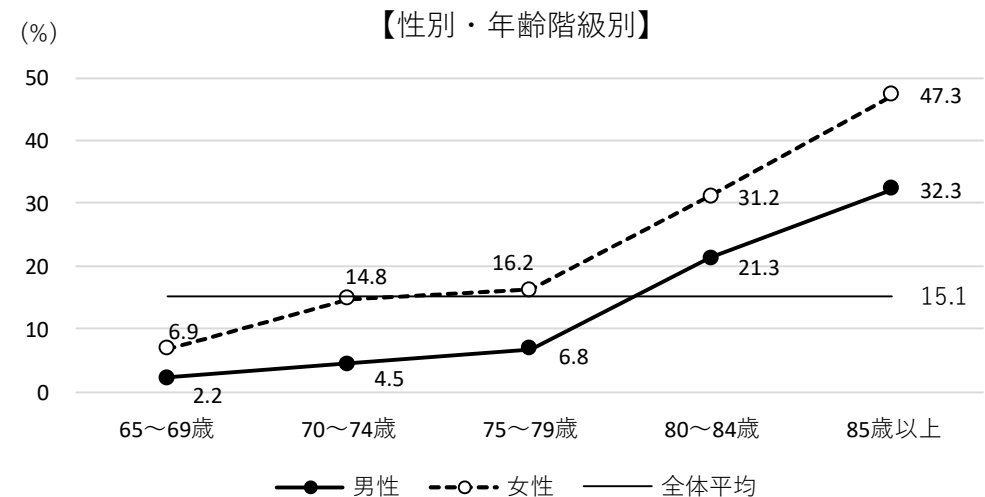
【判定状況】

- ・全体の16.8％が運動器機能の低下している高齢者と判定された。
- ・一般高齢者で運動器機能が低下していると判定された人の割合は15.1％であったが、要支援認定者では64.6％となっている。



【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、男女別では男性よりも女性の方が全年齢層を通して運動器機能が低下していると判定された人の割合が高い。
- ・運動器機能が低下している人の割合は、75～79歳までは男性では1割未満、女性でも2割未満になっているが、80歳以降は男女とも機能低下が顕著に進んでいる。



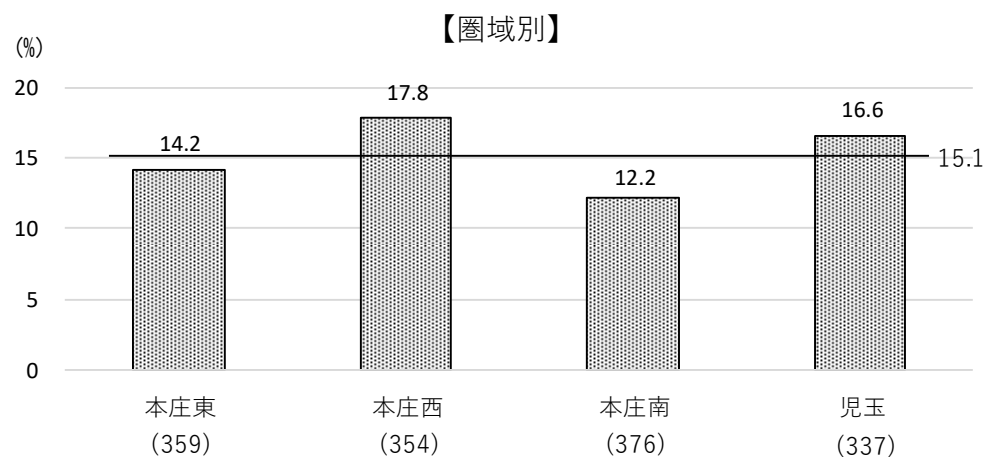
男性	(181)	(179)	(148)	(80)	(65)
女性	(189)	(209)	(154)	(109)	(112)

※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・本庄西中学校区と児玉中学校区で全体平均を上回っている。
- ・運動器機能が低下している人の割合は本庄南中学校区（12.2%）で最も低く、最も高い本庄西中学校区（17.8%）との差は5.6ポイントであった。



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

（２）転倒リスク

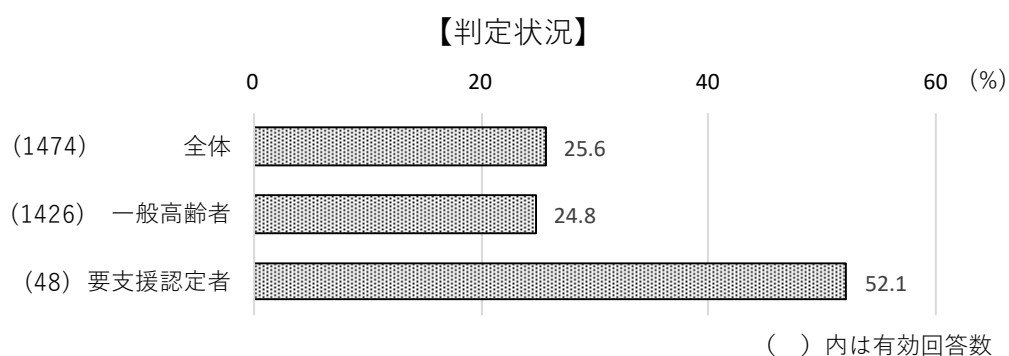
（１）運動器機能の低下の判定設問のうち、転倒に関する２つの設問を抽出し、そのいずれにも該当する人を転倒リスクのある高齢者と判定した。

【判定設問】

問番号	質 問	該当する選択肢
問 8	過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1 度ある
問 9	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

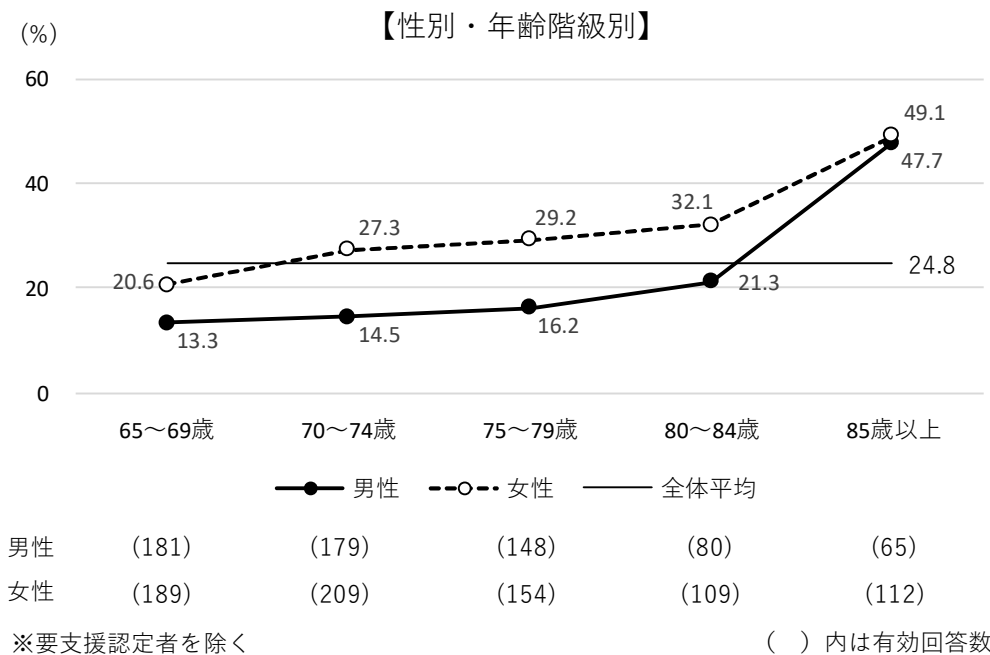
【判定状況】

- ・全体の 25.6%が転倒リスクのある高齢者と判定された。
- ・一般高齢者で転倒リスクがあると判定された人の割合は 24.8%であったが、要支援認定者では 52.1%となっている。



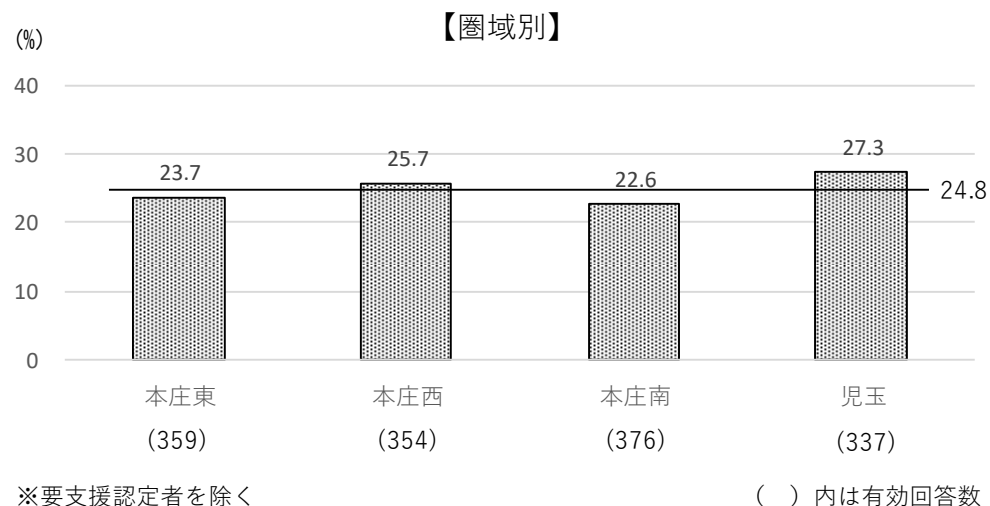
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、85歳未満では男性よりも女性の方が転倒リスクが高い。
- ・女性の場合、70～74歳で既に約3割に転倒リスクがある。
- ・男女とも85歳以上では転倒リスクが大幅に増加し、約半数が転倒リスクがあると判定された。男女差もほぼなくなっている。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・児玉中学校区と本庄西中学校区で全体平均を上回っている。
- ・転倒リスクがあると判定された人の割合は本庄南中学校区（22.6％）で最も低く、最も高い児玉中学校区（27.3％）との差は4.7ポイントであった。



（３）口腔機能の低下

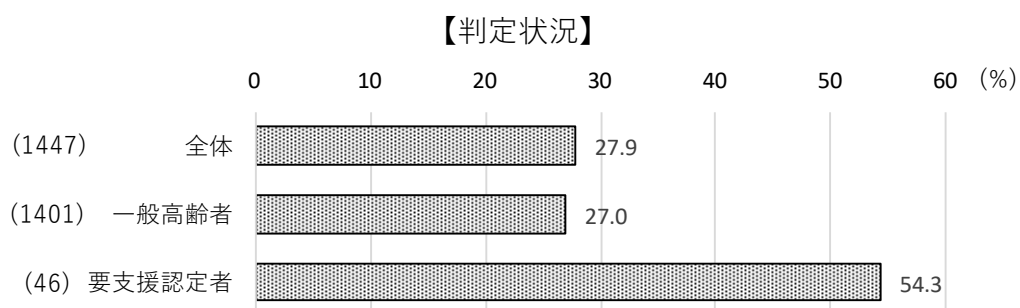
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能の低下している高齢者と判定した。

【判定設問】

問番号	質 問	該当する選択肢
問 15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 16	お茶や汁物でむせることがありますか。	1. はい
問 17	口の渇きが気になりますか。	1. はい

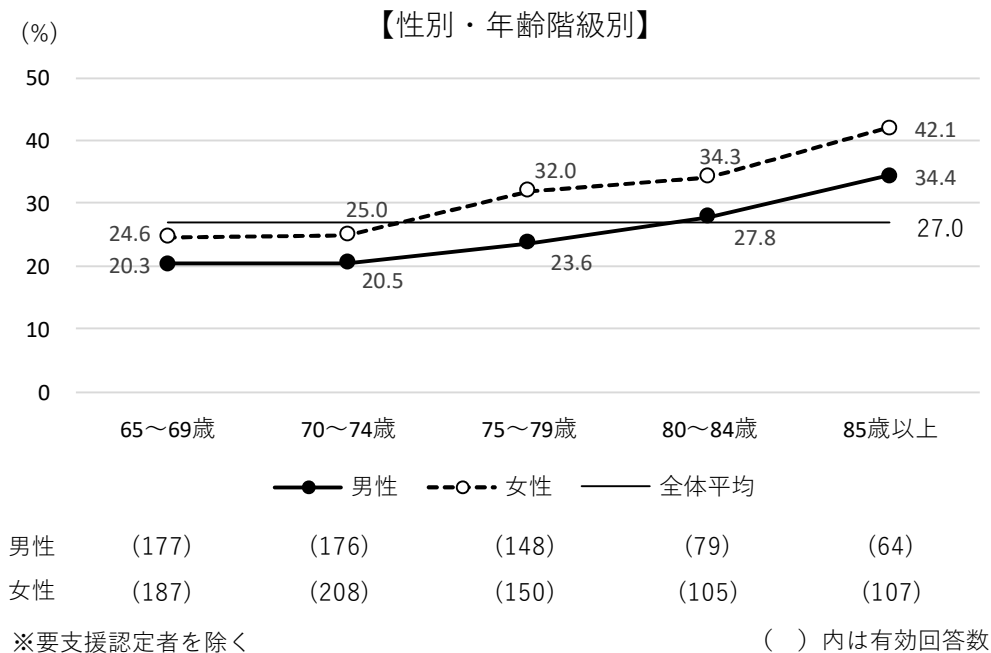
【判定状況】

- ・全体の 27.9%が口腔機能の低下している高齢者と判定された。
- ・一般高齢者で口腔機能が低下していると判定された人の割合は 27.0%であったが、要支援認定者では 54.3%となっている。



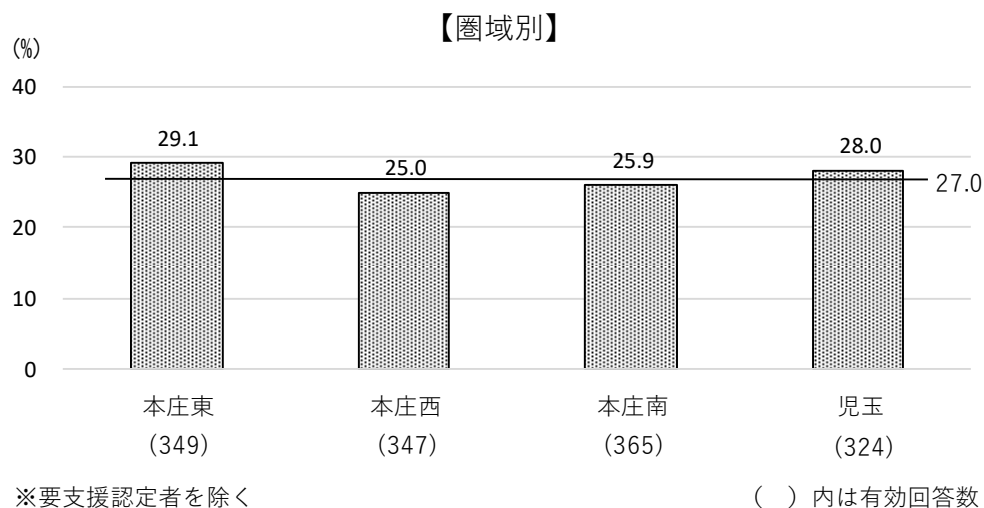
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、男女別では男性よりも女性の方が全年齢層を通して口腔機能が低下していると判定された人の割合が高い。
- ・運動器機能が低下している人の割合は、男女とも既に 65～69 歳の年齢層で 2 割に達しており、以降年齢が高まるにつれて上昇している。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・本庄東中学校区と児玉中学校区で全体平均を上回っている。
- ・運動器機能が低下している人の割合は本庄西中学校区（25.0%）で最も低く、最も高い本庄東中学校区（29.1%）との差は 4.1 ポイントであった。



（４）低栄養の傾向

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち2項目いずれにも該当する人を低栄養状態にある高齢者と判定した。

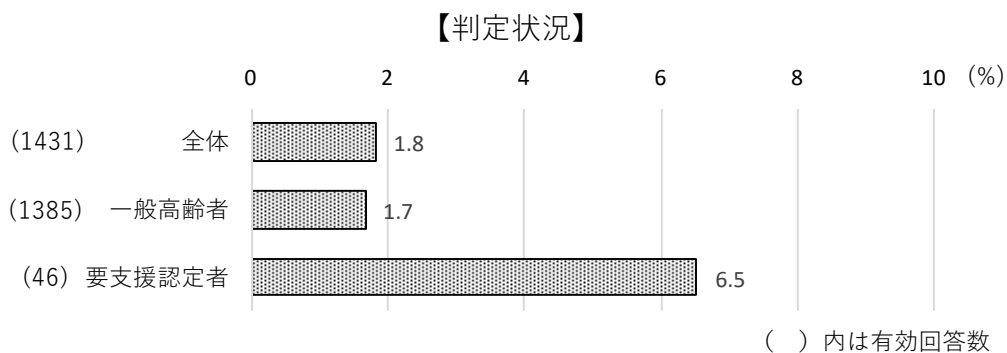
【判定設問】

問番号	質 問	該当する選択肢
問 14	身長・体重をご記入ください。	B M I < 18.5
問 20	6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

※ B M I = 体重 (kg) ÷ { 身長 (m) × 身長 (m) }

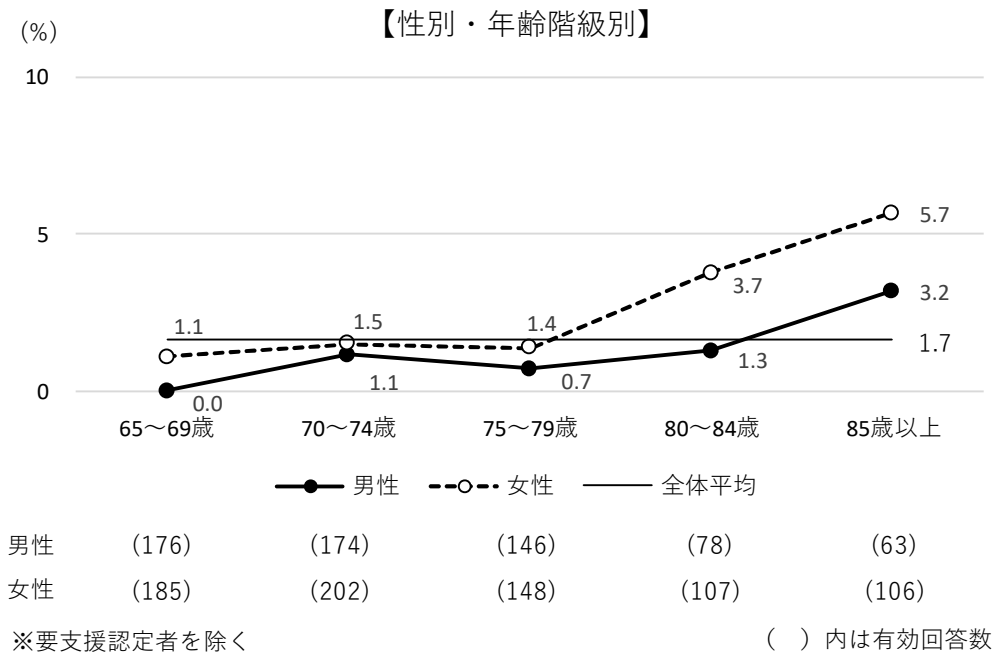
【判定状況】

- ・全体の 1.8% が低栄養状態にある高齢者と判定された。
- ・一般高齢者で低栄養状態にあると判定された人の割合は 1.7% であったが、要支援認定者では 6.5% となっている。



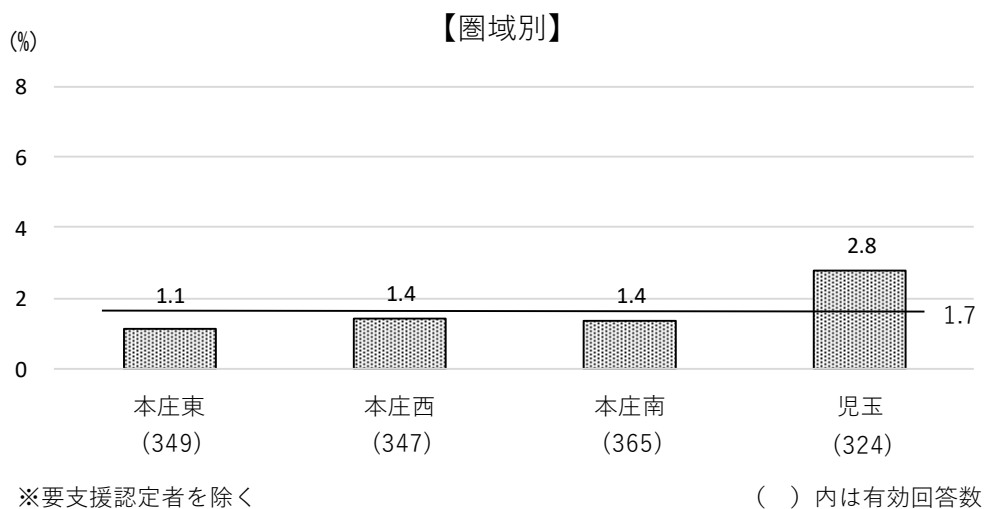
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、男女別では男性よりも女性の方がわずかではあるが全年齢層を通して低栄養状態にあると判定された人の割合が高い。
- ・低栄養状態にある人の割合は、男女とも80歳以降で少しずつ上昇している。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・児玉中学校区だけが全体平均を上回った。
- ・低栄養状態にある人の割合は本庄東中学校区（1.1％）で最も低く、最も高い児玉中学校区（2.8％）との差は1.7ポイントであった。



（５）認知機能の低下

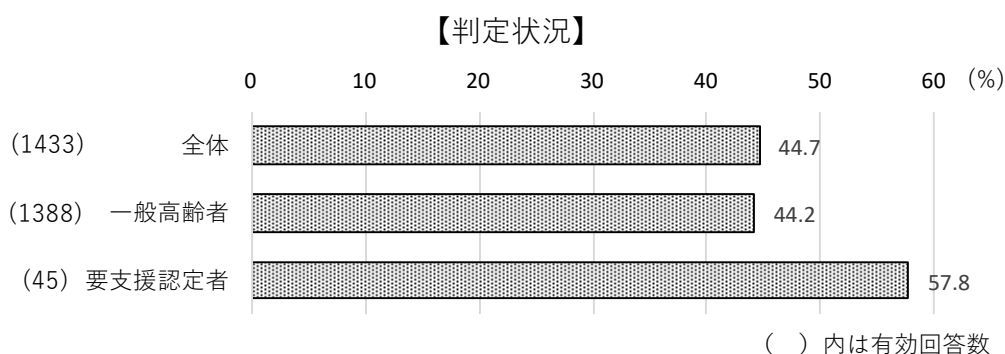
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を認知機能の低下がみられる高齢者と判定した。

【判定設問】

問番号	質 問	該当する選択肢
問 22	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【判定状況】

- ・全体の 44.7%が認知機能の低下がみられる高齢者と判定された。
- ・一般高齢者で認知機能の低下がみられると判定された人の割合は 44.2%であったが、要支援認定者では 57.8%となっている。



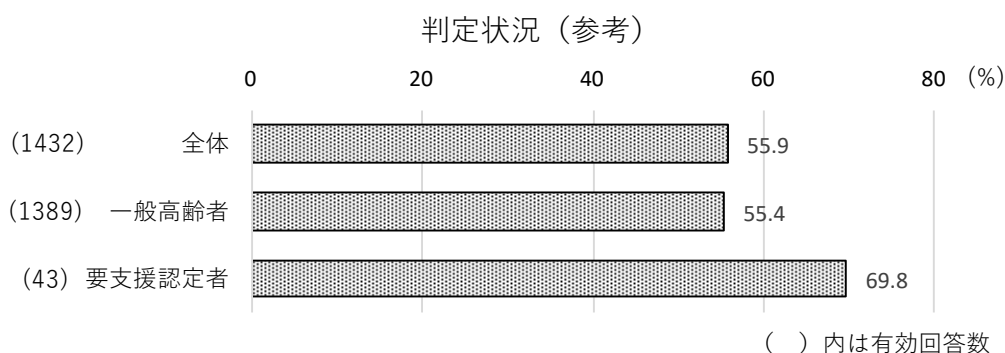
〔参考〕

介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル（改訂版）では、更に以下の２問を加えた３項目のうち、１項目以上に該当する人を認知機能の低下がみられる高齢者としている。

これに基づく判定では、上記の判定状況に比較して、全体平均、一般高齢者、要支援認定者とも 10ポイント程度高くなっている。

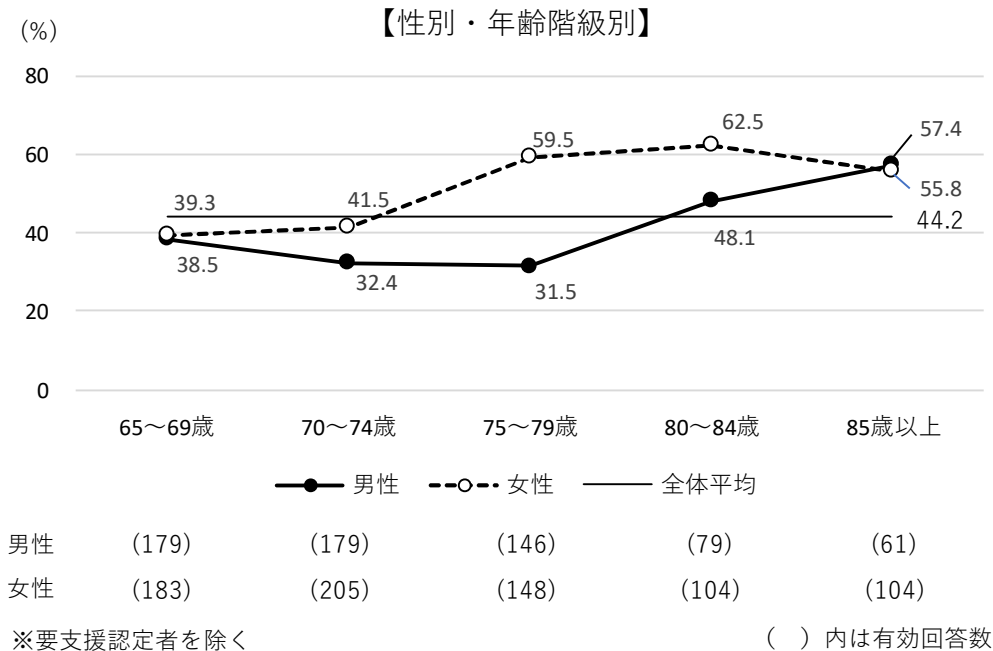
上記に加えた判定設問

問番号	質 問	該当する選択肢
問 23	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	2. いいえ
問 24	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい



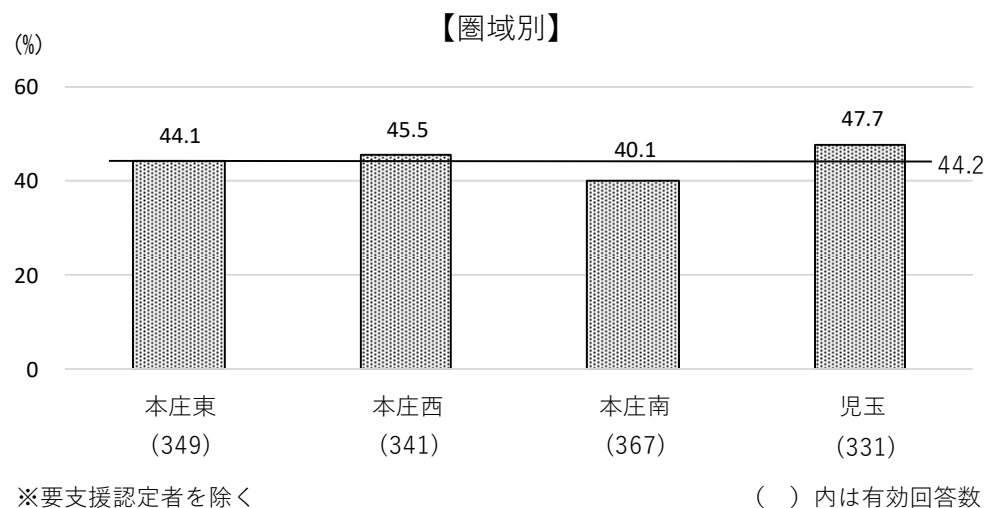
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、男女とも 65～69 歳で既に 4 割弱の人に認知機能の低下がみられる。
- ・女性は 75 歳以降で認知機能の低下がみられる人が約 6 割に達しているのに対し、男性は 80 歳以降で割合の上昇が始まり、85 歳以降では男女の差がほぼなくなっている。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・児玉中学校区と本庄西中学校区で全体平均を上回った。
- ・認知機能の低下がみられる人の割合は本庄南中学校区（40.1％）で最も低く、最も高い児玉中学校区（47.7％）との差は 7.6 ポイントであった。



（６）閉じこもり

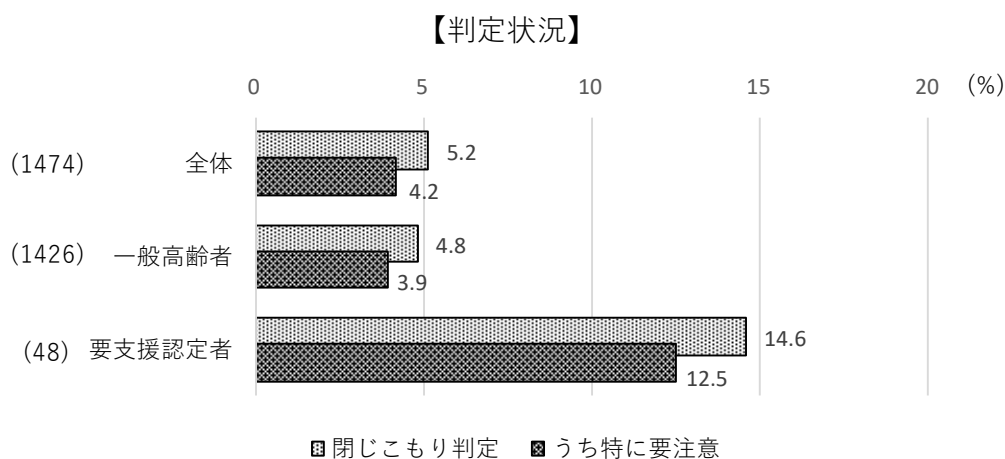
介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル（改訂版）に基づき、調査票の以下の設問を抽出し、問 10 に該当する人を閉じこもりの懸念がある高齢者、更に問 11 にも該当する人を特に要注意の高齢者と判定した。

【判定設問】

問番号	質 問	該当する選択肢
問 10	週に 1 回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない
問 11	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1. とても減っている 2. 減っている

【判定状況】

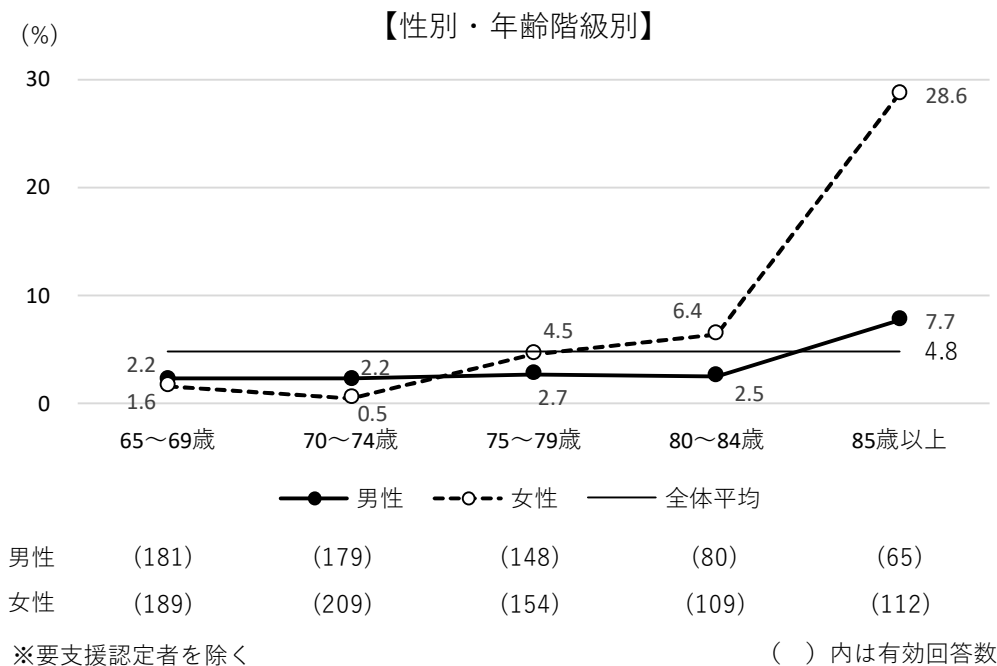
- ・閉じこもりの懸念がある高齢者は全体の 5.2% で、特に要注意は 4.2% であった。
- ・一般高齢者で閉じこもりの懸念があると判定された人の割合は 4.8%（特に要注意は 3.9%）であったが、要支援認定者では 14.6%（特に要注意は 12.5%）となっている。



（ ）内は有効回答数

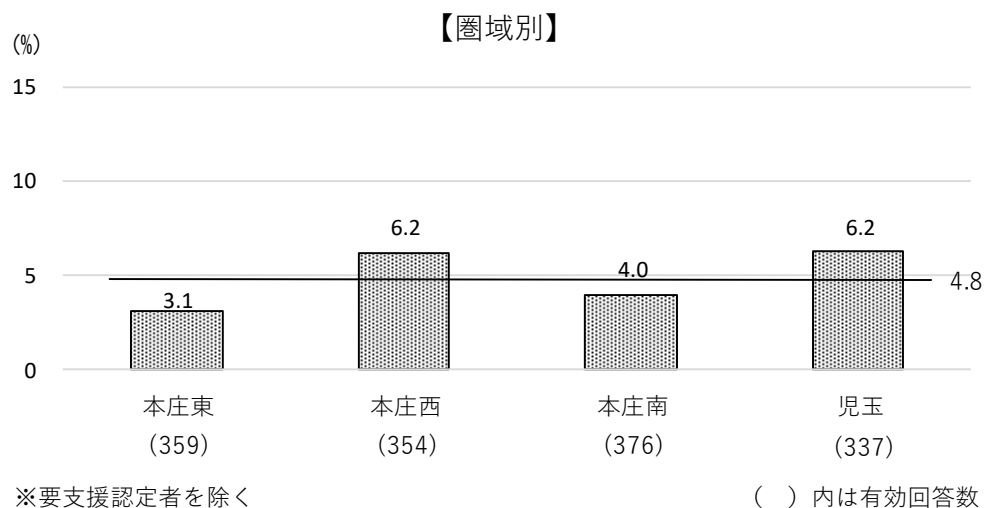
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、閉じこもりの懸念があると判定された人の割合は75歳以降で女性が男性を上回っている。
- ・85歳以上の女性は28.6%と特に閉じこもりの懸念が大きい。
- ・男女とも85歳以上でそれ以前の年齢層に比較して上昇しているが、女性の方がその傾向が特に顕著である。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・本庄西中学校区と児玉中学校区で全体平均を上回った。
- ・閉じこもりの懸念がある人の割合は本庄東中学校区（3.1%）で最も低く、最も高い本庄西中学校区と児玉中学校区（6.2%）との差は3.1ポイントであった。



（７）虚弱

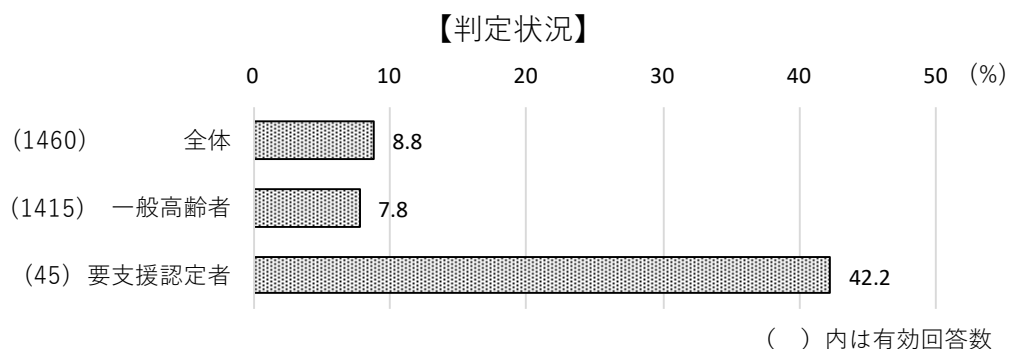
介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル（改訂版）に基づき、（１）～（５）の各判定設問に加え、調査票の以下の設問を抽出し、生活機能の総合指標として合計 20 項目中 10 項目以上に該当する高齢者を虚弱と判定した。

【追加した判定設問】

問番号	質 問	該当する選択肢
問 25	バスや電車を使って 1 人で外出していますか。（自家用車でも可）	3. できない
問 26	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	3. できない
問 29	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	3. できない
問 34	友人の家を訪ねていますか。	2. いいえ
問 35	家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ

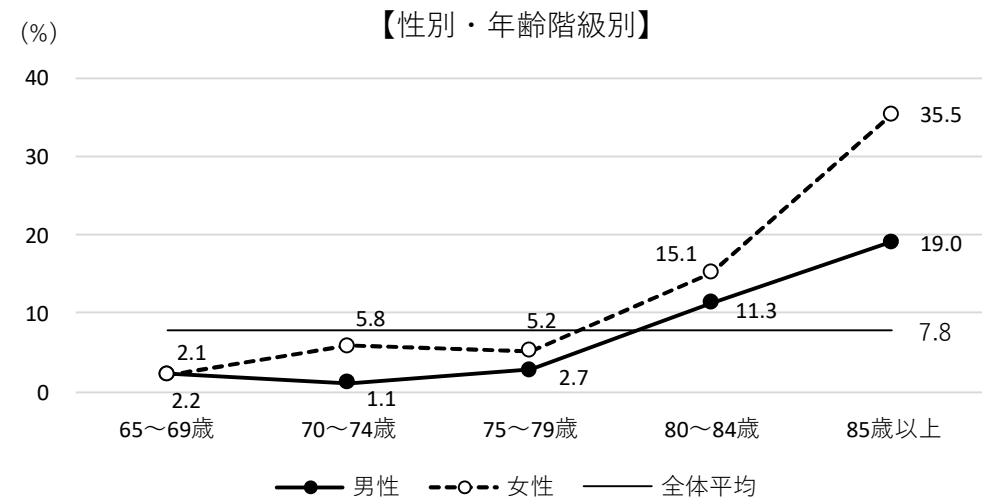
【判定状況】

- ・虚弱と判定された高齢者は全体の 8.8%であった。
- ・一般高齢者で虚弱と判定された人の割合は 7.8%であったが、要支援認定者では 42.2%となっている。



【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、65～69歳の層では男女に差はないが、70歳以降では女性の方が男性よりも虚弱と判定される割合が高くなる。
- ・80歳未満までは男女とも5%程度までの該当率となっているが、80歳以降では該当率が大幅に上昇しており、85歳以上では女性の35.5%、男性でも19.0%が虚弱と判定された。



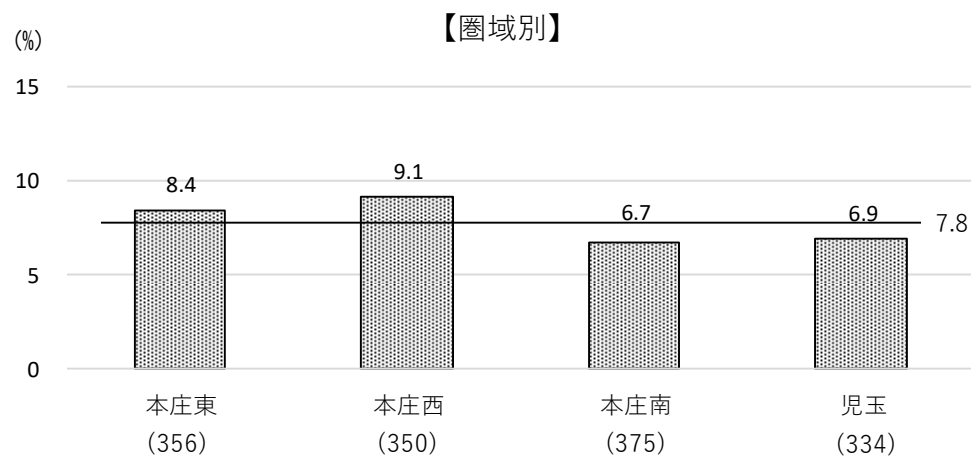
男性	(181)	(179)	(147)	(80)	(63)
女性	(188)	(207)	(154)	(106)	(110)

※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・本庄西中学校区と本庄東中学校区で全体平均を上回った。
- ・虚弱と判定された人の割合は本庄南中学校区(6.7%)で最も低く、最も高い本庄西中学校区(9.1%)との差は2.4ポイントであった。



※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

2 活動能力

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的日常生活動作 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されている。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価する。

4点以下を手段的自立度 (IADL) の低下者としてその割合を示した。

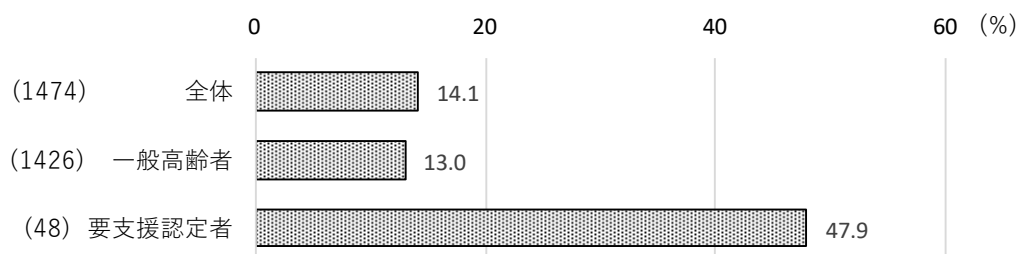
【判定設問】

問番号	質 問	配点と選択肢
問 25	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	1点:「1. できるし、している」
問 26	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問 27	自分で食事の用意をしていますか。	1点:「2. できるけどしていない」
問 28	自分で請求書の支払いをしていますか。	
問 29	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	0点:「3. できない」

【判定状況】

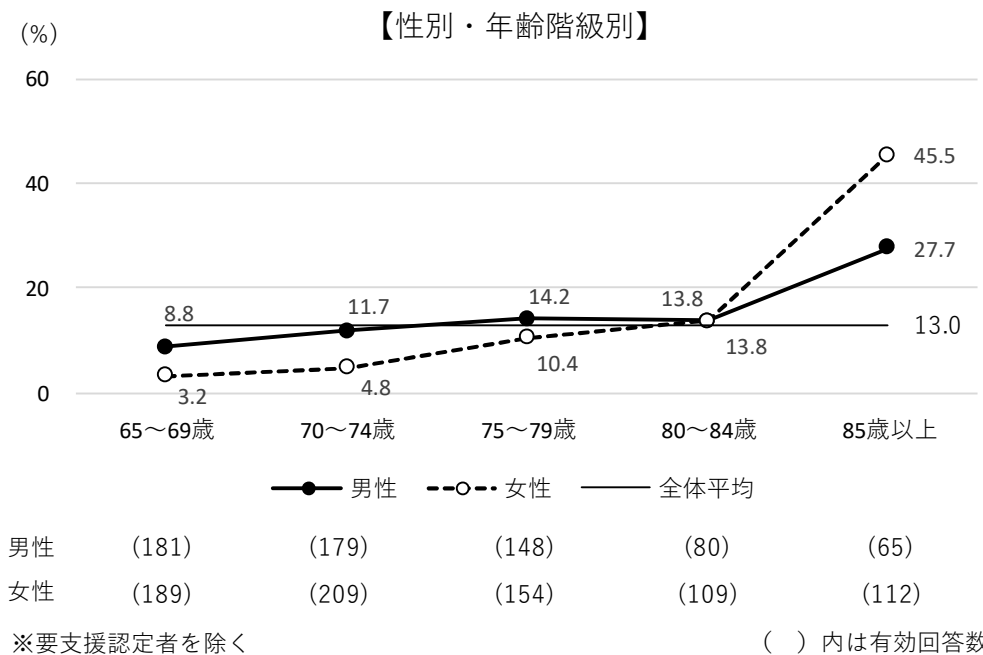
- ・手段的自立度 (IADL) が低下していると判定された高齢者は全体の14.1%であった。
- ・一般高齢者で手段的自立度 (IADL) が低下していると判定された人の割合は13.0%であったが、要支援認定者では47.9%となっている。

【該当状況】



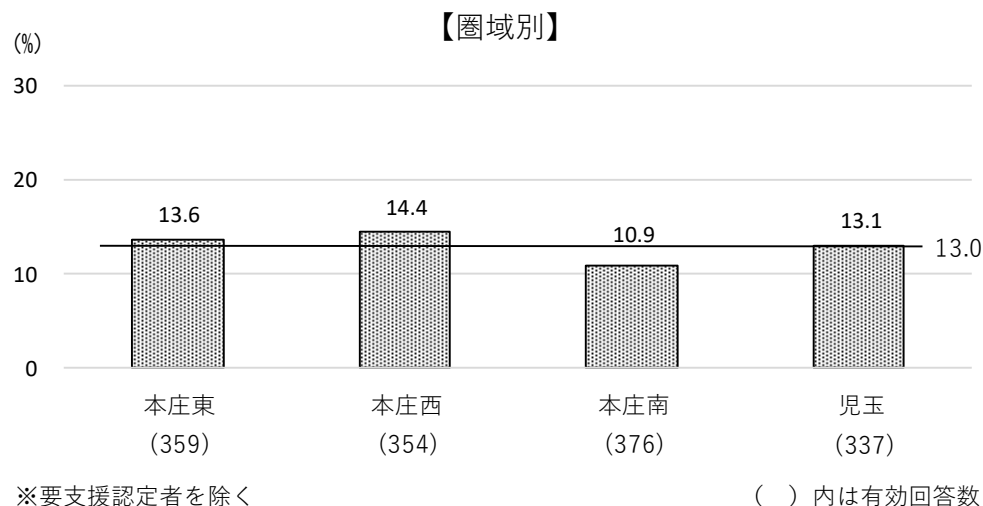
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、80～85歳の層まで男女とも10%台前半までにとどまっていたところが、85歳以上では男性で27.7%、女性では45.5%と大幅に上昇している。
- ・女性の場合、80歳未満までは男性より該当率が低いですが、80～85歳を境に男性との関係が逆転している。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・本庄南中学校区だけが全体平均を下回った。
- ・手段的自立度（IADL）が低下していると判定された人の割合は本庄南中学校区（10.9%）で最も低く、最も高い本庄西中学校区（14.4%）との差は3.5ポイントであった。



（２）知的能動判定

老研式活動能力指標には、高齢者の知的能動性に関する設問が４問あり、「知的能動判定」として尺度化されている。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を１点として、４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価する。

３点以下を知的能動性の低下者としてその割合を示した。

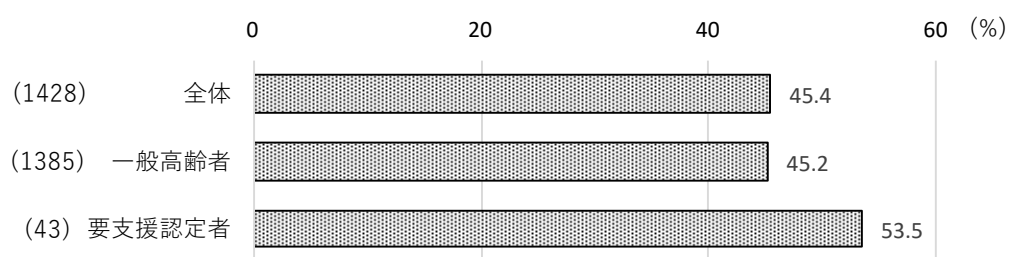
【判定設問】

問番号	質 問	配点と選択肢
問 30	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	１点：「１． はい」 ０点：「２． いいえ」
問 31	新聞を読んでいますか。	
問 32	本や雑誌を読んでいますか。	
問 33	健康についての記事や番組に関心がありますか。	

【判定状況】

- ・ 知的能動性が低下していると判定された高齢者は全体の 45.4%であった。
- ・ 一般高齢者で知的能動性が低下していると判定された人の割合は 45.2%であったが、要支援認定者では 53.5%となっている。

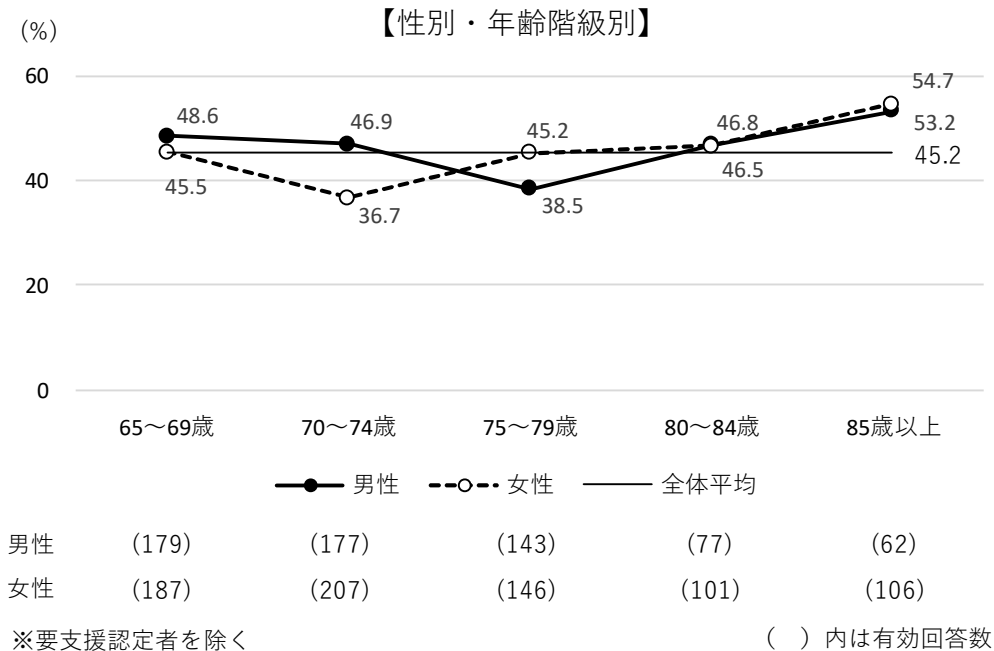
【該当状況】



（ ）内は有効回答数

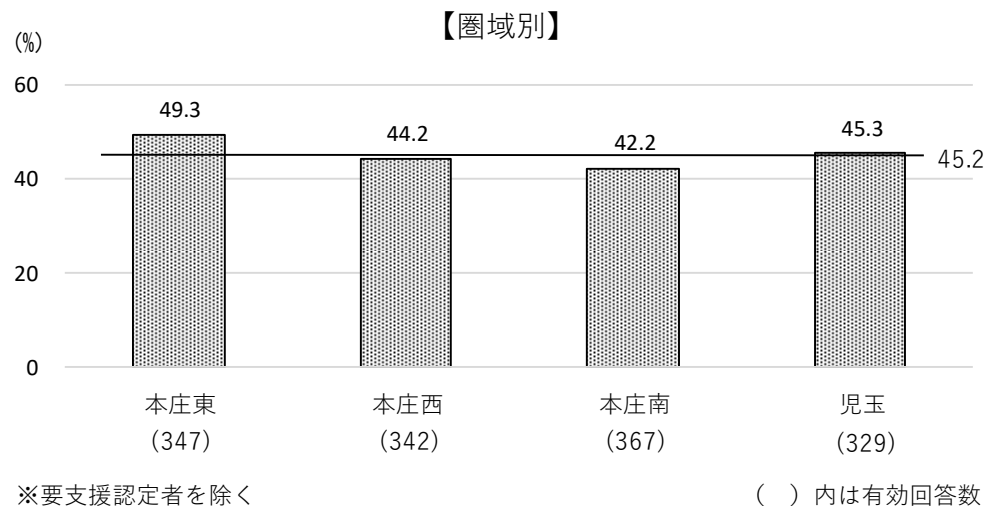
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、65～70歳の層で既に男性の45.5%、女性の48.6%に知的能動性の低下が認められる。
- ・80～84歳までは男女とも多少の変動はあるものの4割弱から5割弱の該当率で推移するが、85歳以上になると男性で53.2%、女性で54.7%と該当者が過半数を占める。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・本庄東中学校区と児玉中学校区で全体平均を上回った。
- ・知的能動性が低下していると判定された人の割合は本庄南中学校区（42.2%）で最も低く、最も高い本庄東中学校区（49.3%）との差は7.1ポイントであった。



（３）社会的役割判定

老研式活動能力指標には、高齢者の社会的役割に関する設問が４問あり、「社会的役割判定」として尺度化されている。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を１点として、４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価する。

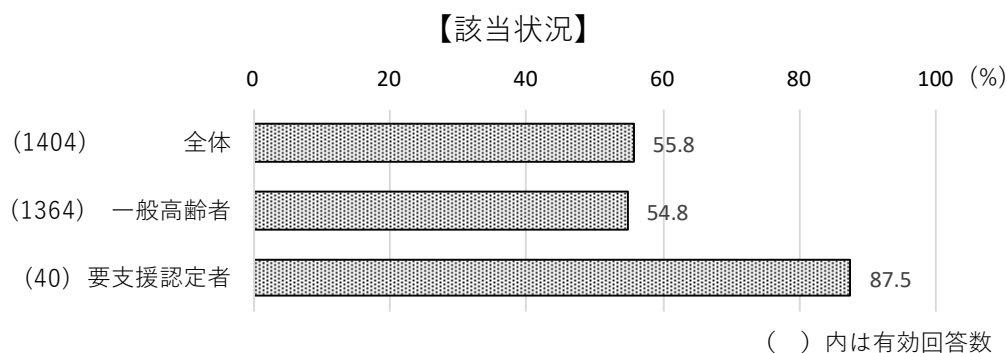
３点以下を社会的役割の低下者としてその割合を示した。

【判定設問】

問番号	質 問	配点と選択肢
問 34	友人の家を訪ねていますか。	１点：「１．はい」 ０点：「２．いいえ」
問 35	家族や友人の相談にのっていますか。	
問 36	病人を見舞うことができますか。	
問 37	若い人に自分から話しかけることがありますか。	

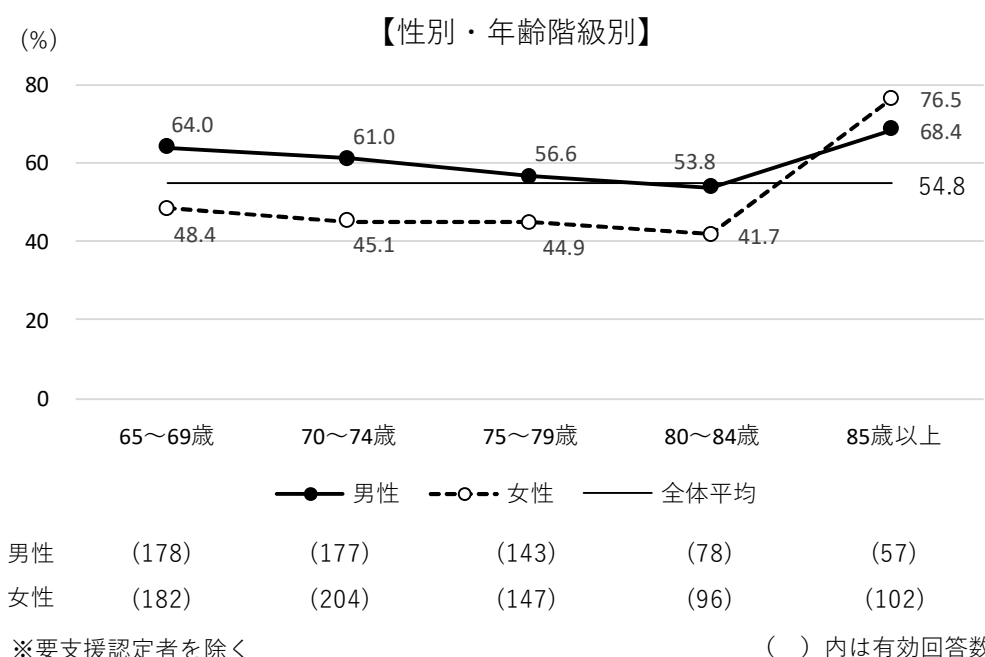
【判定状況】

- ・社会的役割が低下していると判定された高齢者は全体の 55.8%であった。
- ・一般高齢者で社会的役割が低下していると判定された人の割合は 54.8%であったが、要支援認定者では 87.5%となっている。



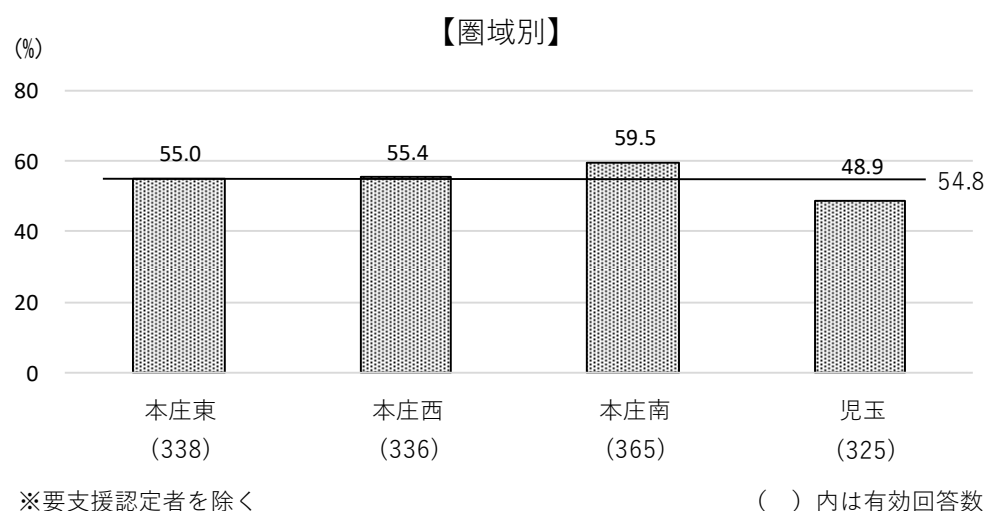
【一般高齢者の性別・年齢階級別判定状況】

- ・要支援認定者を除く一般高齢者の状況を見ると、65～70歳の層で既に男性の64.0%、女性の48.4%に社会的役割の低下が認められ、80～84歳まで若干ながら低下していくものの、男性の方が女性よりも該当者の割合が高い状態が続いている。
- ・85歳以上になると男性で68.4%、女性で76.5%と該当者の割合が大幅に上昇しており、特に女性の上昇が顕著である。



【一般高齢者の圏域別判定状況】

- ・児玉中学校区だけが全体平均を下回った。
- ・社会的役割が低下していると判定された人の割合は児玉中学校区（48.9%）で最も低く、最も高い本庄南中学校区（59.5%）との差は10.6ポイントであった。

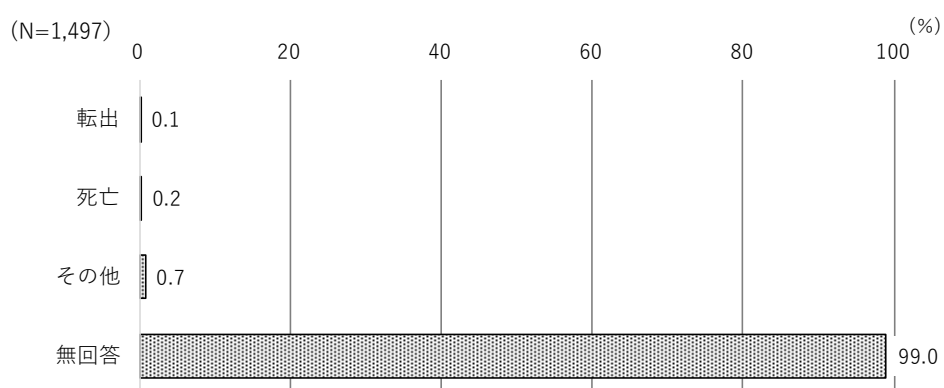


Ⅲ 調査結果

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

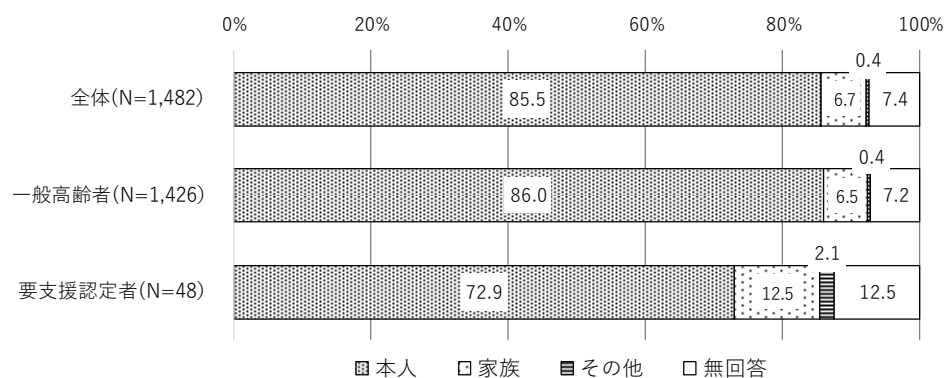
下記の理由等で回答ができない場合には、あてはまる番号に○印をつけて、そのままご返送願います。

- ・転出の割合が 0.1%、死亡の割合が 0.2%、その他の割合が 0.7%となっている。
- ・その他の具体的内容は、入院中、福祉施設入所等があげられている。



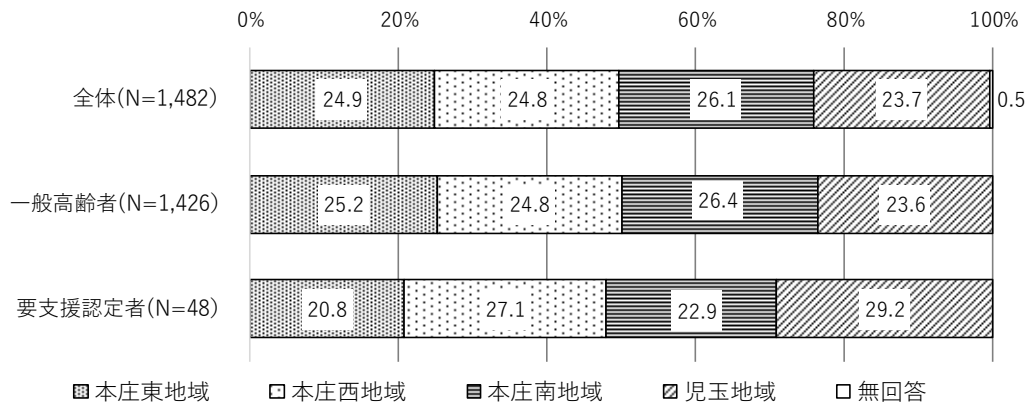
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- ・一般高齢者では、本人の割合が 86.0%と最も高くなっている。
- ・要支援認定者では、本人の割合が 72.9%と最も高くなっている。



あなたがお住いの地域はどちらですか。○をつけてください。

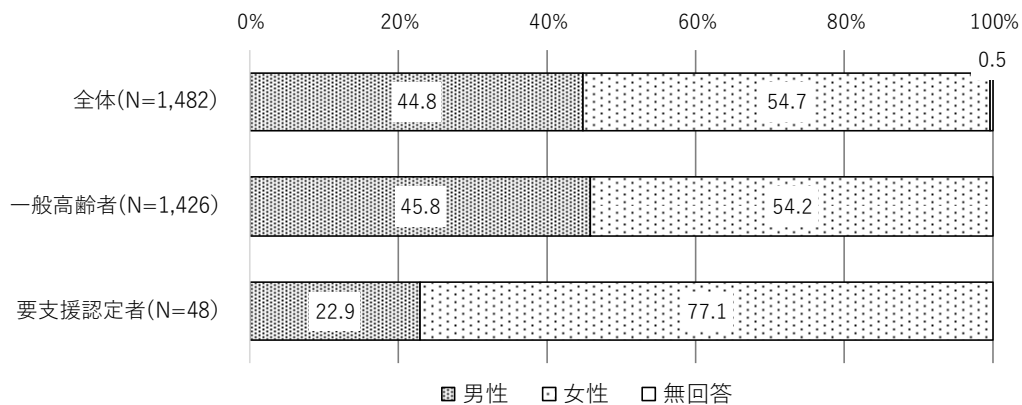
- ・全体でみると、各地域とも 25.0%前後になっているが、特に本庄南地域の割合は 26.1%と最も高くなっている。



(1) 回答者属性

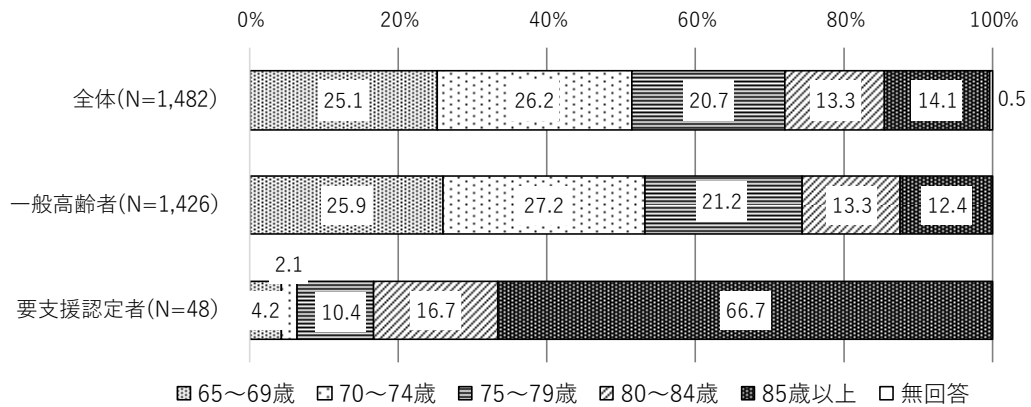
① 性別

- ・一般高齢者では、男性が 45.8%、女性が 54.2%。
- ・要支援認定者では、男性が 22.9%、女性が 77.1%。



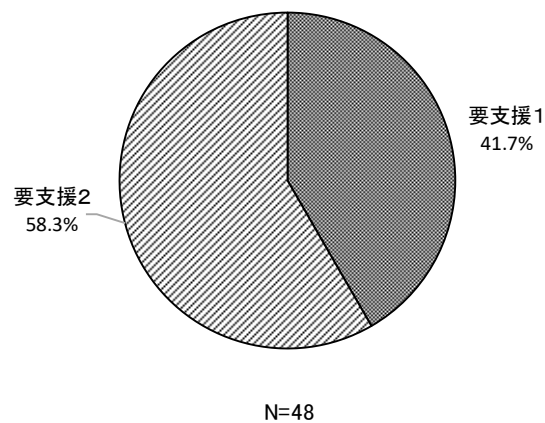
② 年齢

- ・一般高齢者では、70～74歳の割合が27.2%と最も高く、次いで65～69歳の割合が25.9%となっている。
- ・要支援認定者では、85歳以上の割合が66.7%と最も高く、次いで80～84歳の割合が16.7%となっている。



③ 要支援認定者の介護度

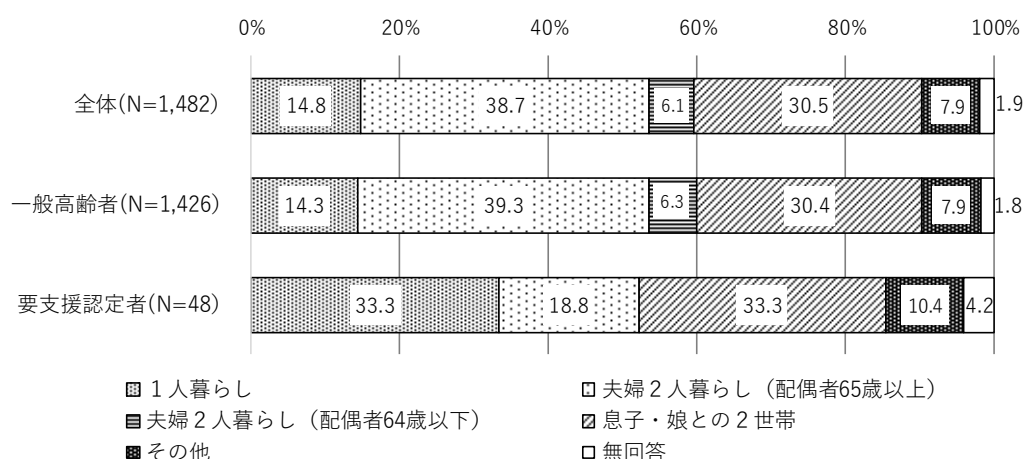
- ・要支援認定者では、要支援1の割合が41.7%、要支援2の割合が58.3%となっている。



(2) あなた自身（ご本人）のことについて

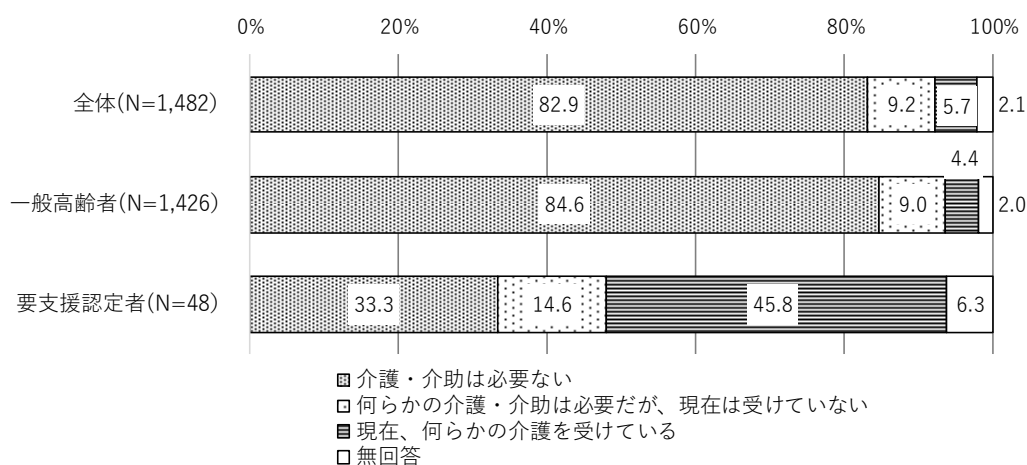
問1 家族構成をお教えてください。（1つを選択）

- ・一般高齢者では、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）の割合が39.3%と最も高く、次いで息子・娘との2世帯の割合が30.4%となっている。
- ・要支援認定者では、1人暮らし、息子・娘との2世帯の割合がともに33.3%となっている。



問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つを選択）

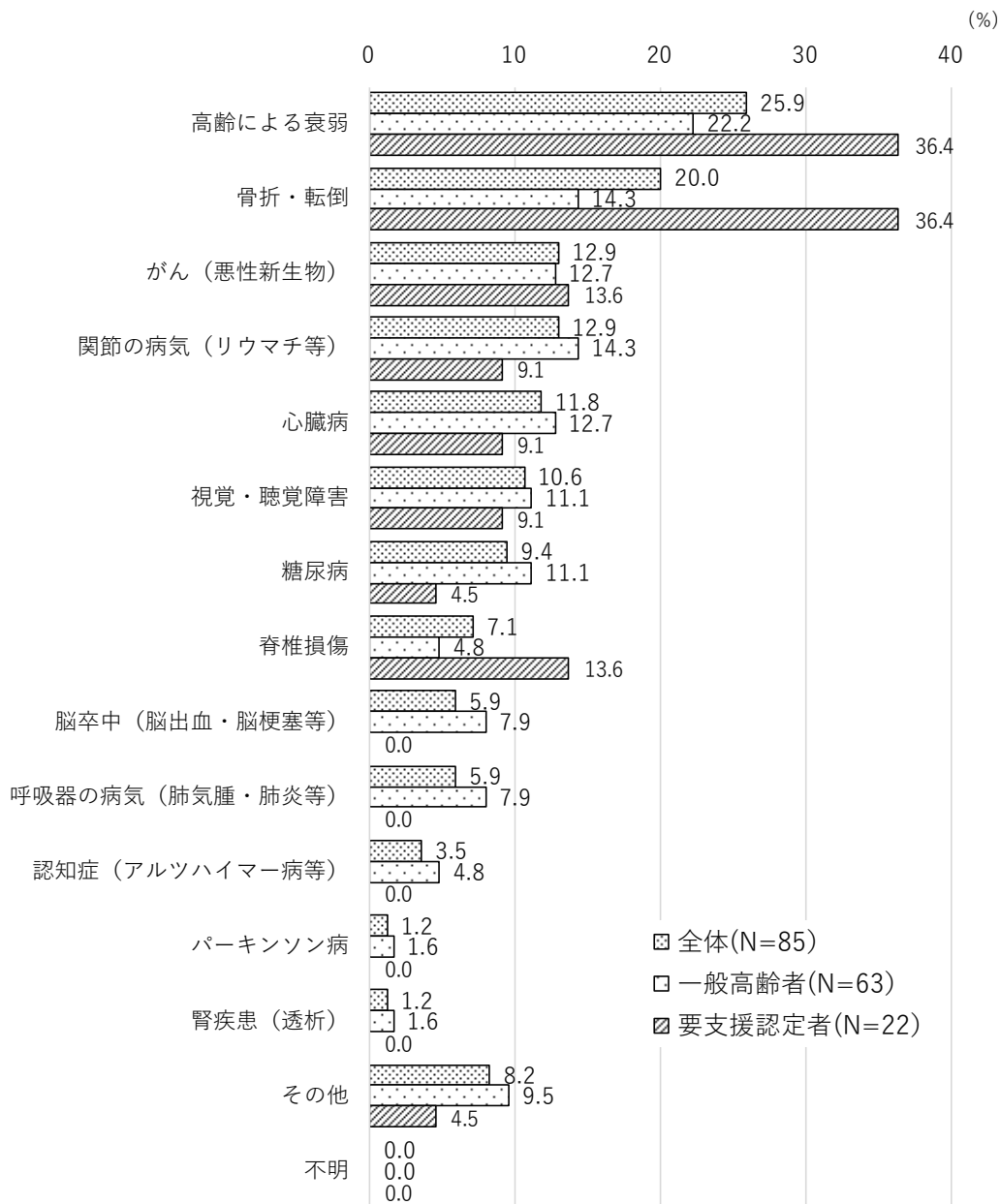
- ・一般高齢者では、介護・介助は必要ないの割合が84.6%と最も高くなっている。
- ・要支援認定者では、現在、何らかの介護を受けているの割合が45.8%と最も高く、次いで介護・介助は必要ないの割合が33.3%となっている。



問2で「3」と回答した方にお伺いします。

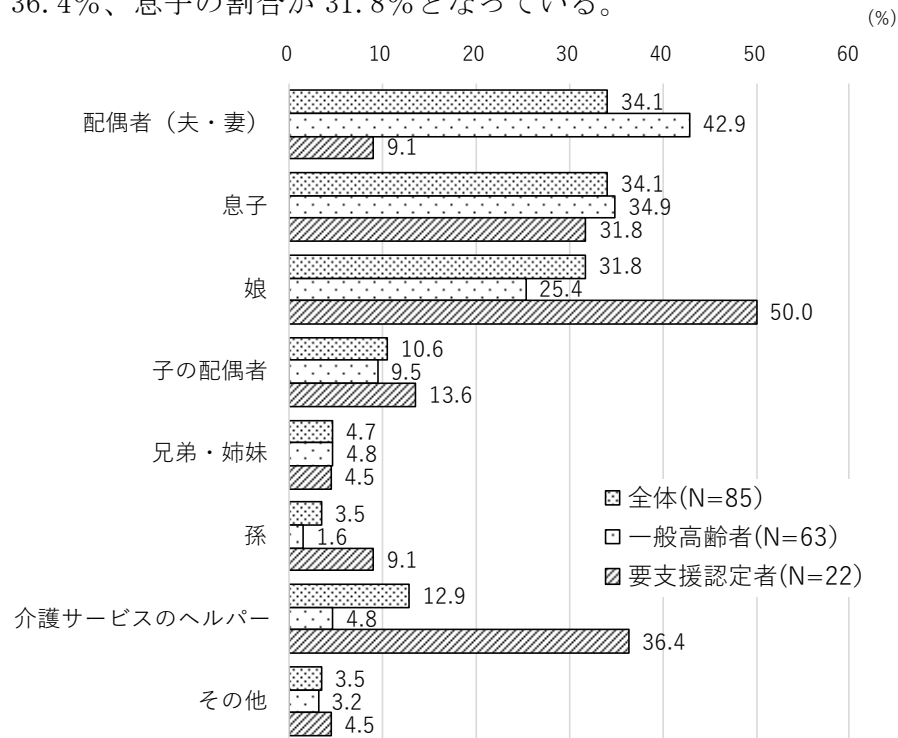
問2-1 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、高齢による衰弱の割合が最も高く 22.2%となっている。次いで、骨折・転倒と関節の病気（リウマチ等）の割合がともに 14.3%となっている。
- ・要支援認定者では、高齢による衰弱と骨折・転倒の割合がともに 36.4%で最も高く、次いで、がん（悪性新生物）と脊椎損傷の割合がともに 13.6%となっている。



問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(複数選択可)

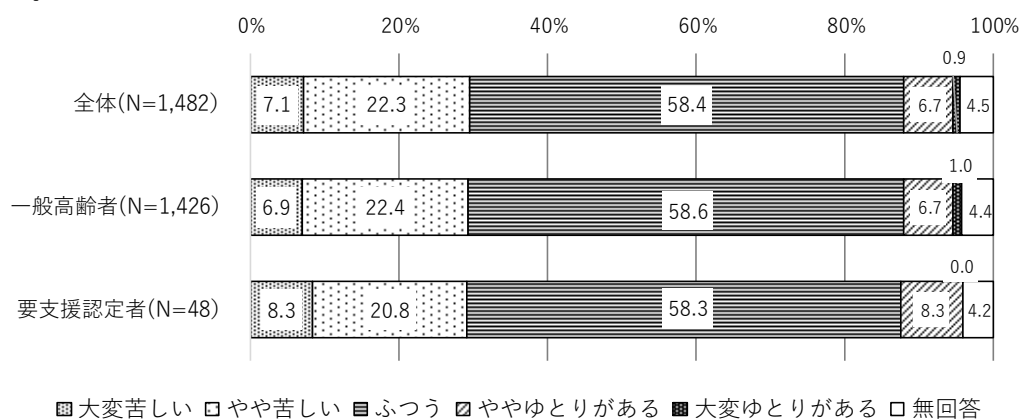
- ・一般高齢者では、配偶者（夫・妻）の割合が最も高く 42.9%となっている。次いで、息子の割合が 34.9%、娘の割合が 25.4%となっている。
- ・要支援認定者では、娘の割合が最も高く 50.0%となっている。次いで、介護サービスのヘルパーの割合が 36.4%、息子の割合が 31.8%となっている。



【主なその他の意見】 友人、グループホーム、デイサービス

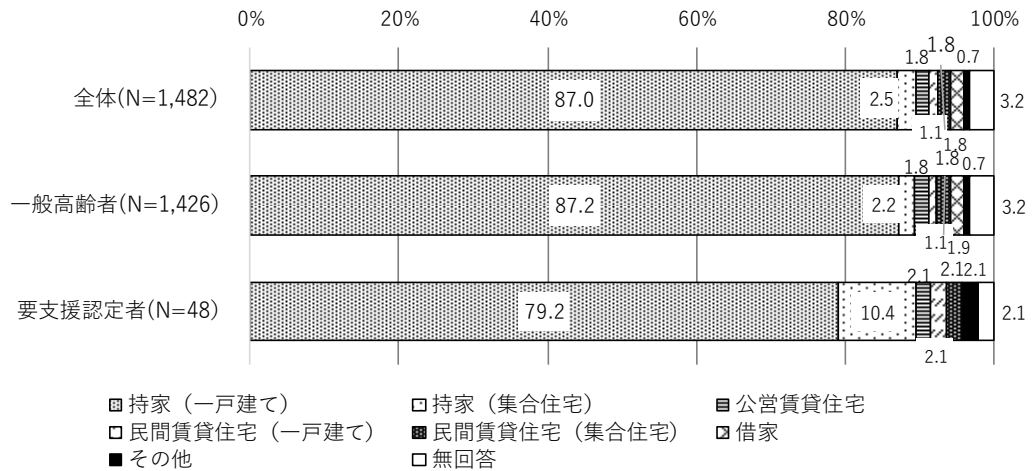
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つを選択)

- ・一般高齢者では、ふつうの割合が 58.6%と最も高く、次いで、やや苦しいの割合が 22.4%となっている。
- ・要支援認定者では、ふつうの割合が 58.3%と最も高く、次いで、やや苦しいの割合が 20.8%となっている。



問4 お住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つを選択)

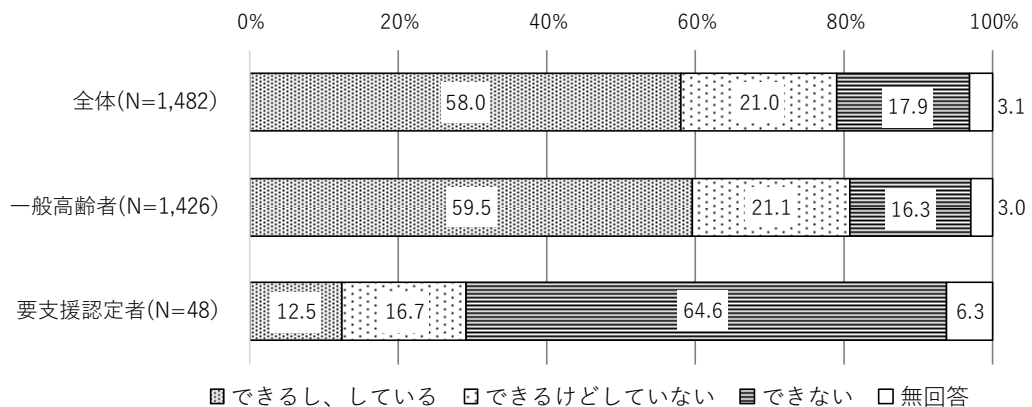
- ・一般高齢者では、持家（一戸建て）の割合が87.2%と最も高くなっている。
- ・要支援認定者では、持家（一戸建て）の割合が79.2%と最も高くなっている。



（３）からだを動かすことについて

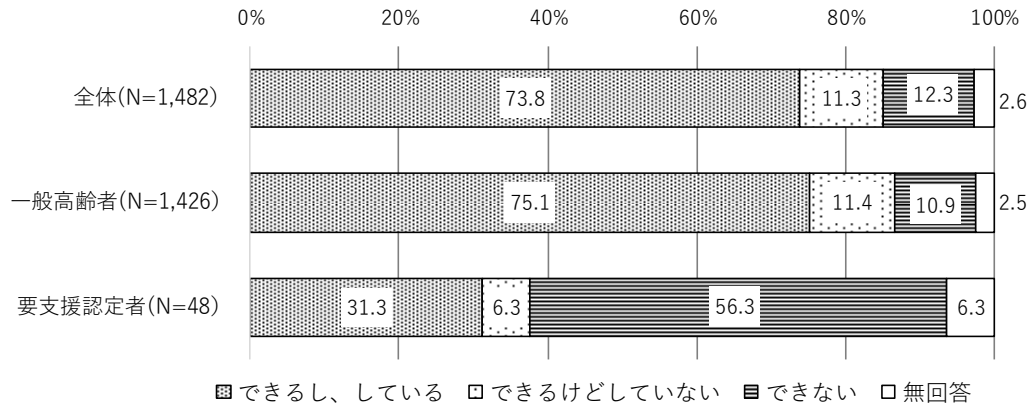
問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つを選択)

- ・できないの割合は、一般高齢者では16.3%、要支援認定者では64.6%となっており、48.3ポイントの差となっている。



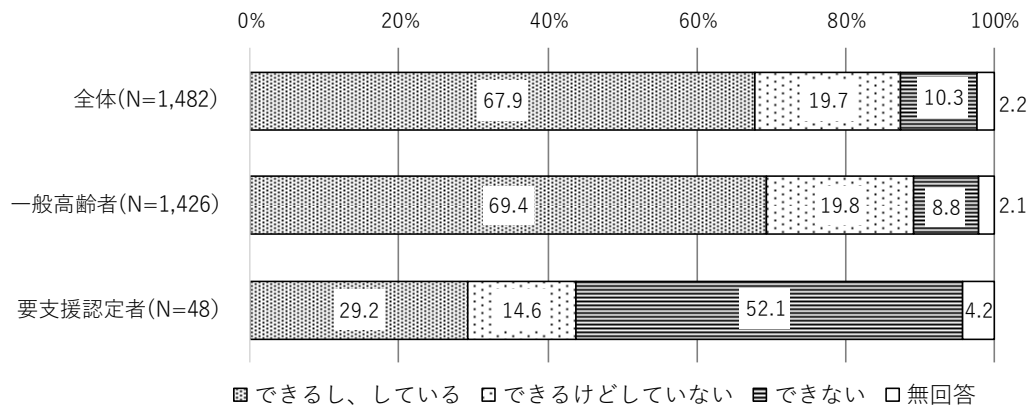
問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つを選択)

- できないの割合は、一般高齢者では 10.9%、要支援認定者では 56.3% となっており、45.4 ポイントの差となっている。



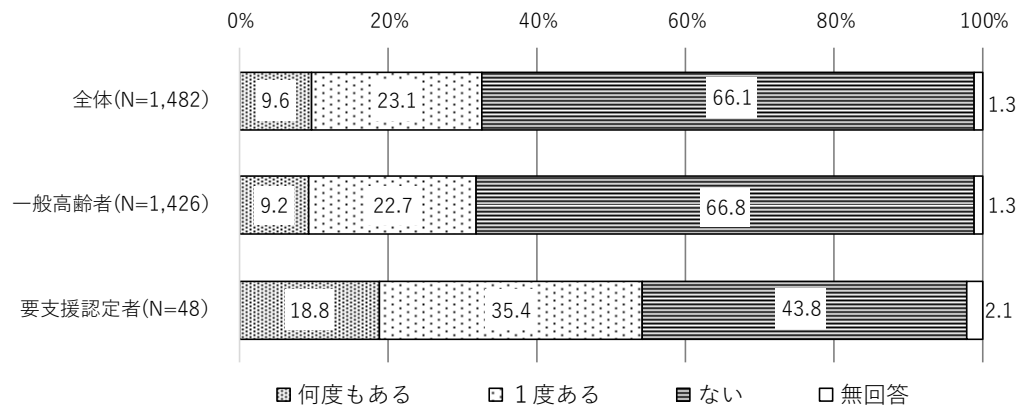
問7 15分位続けて歩いていますか。(1つを選択)

- できないの割合は、一般高齢者では 8.8%、要支援認定者では 52.1% となっており、43.3 ポイントの差となっている。



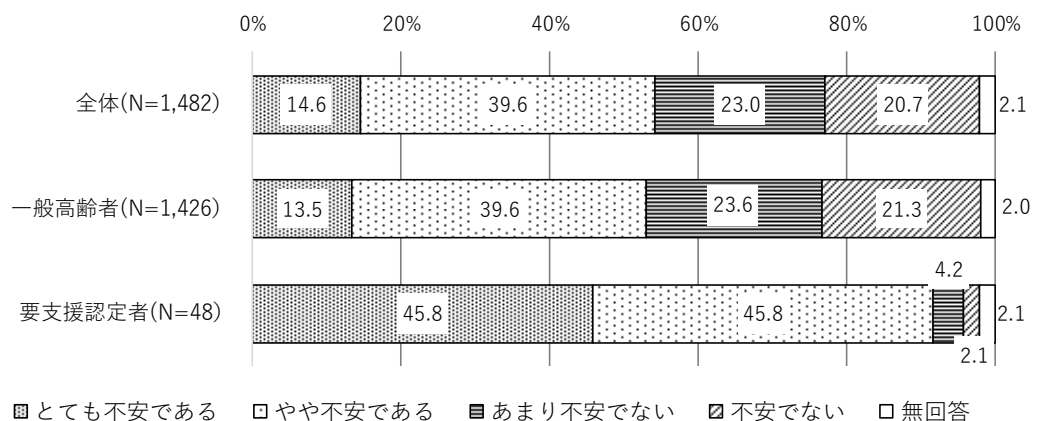
問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つを選択)

- ・ 何度もあると1度あるをあわせた「過去1年間に転んだ経験がある人」の割合は、一般高齢者で31.9%、要支援認定者で54.2%となっており、22.3ポイントの差となっている。



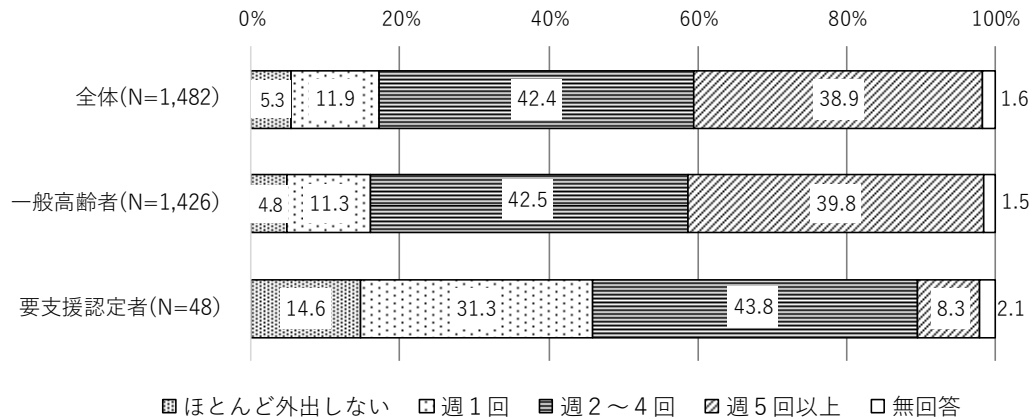
問9 転倒に対する不安は大きいですか。(1つを選択)

- ・ とても不安であるとやや不安であるをあわせた「転倒に対して不安な人」の割合は、一般高齢者で53.1%、要支援認定者で91.6%となっており、38.5ポイントの差となっている。



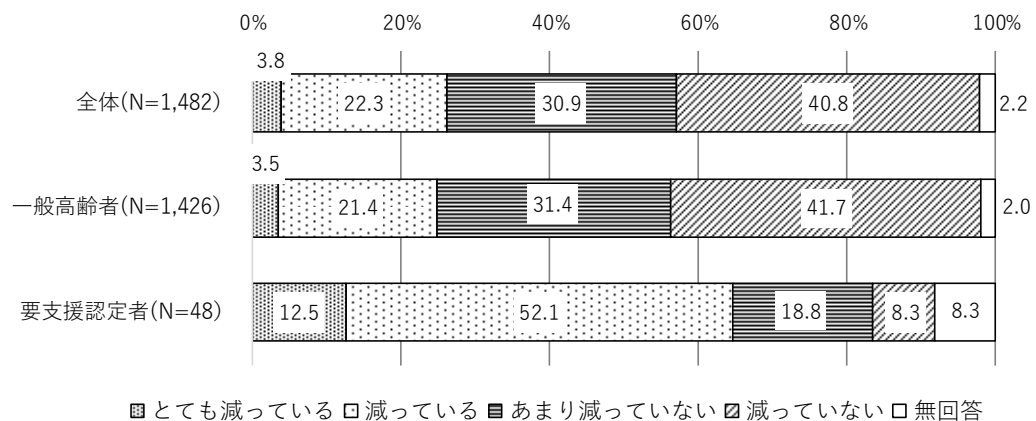
問 10 週に1回以上は外出していますか。(1つを選択)

- ・ほとんど外出しないと週1回をあわせた「閉じこもり傾向のある人」の割合は、一般高齢者で16.1%、要支援認定者で45.9%となっており、29.8ポイントの差となっている。



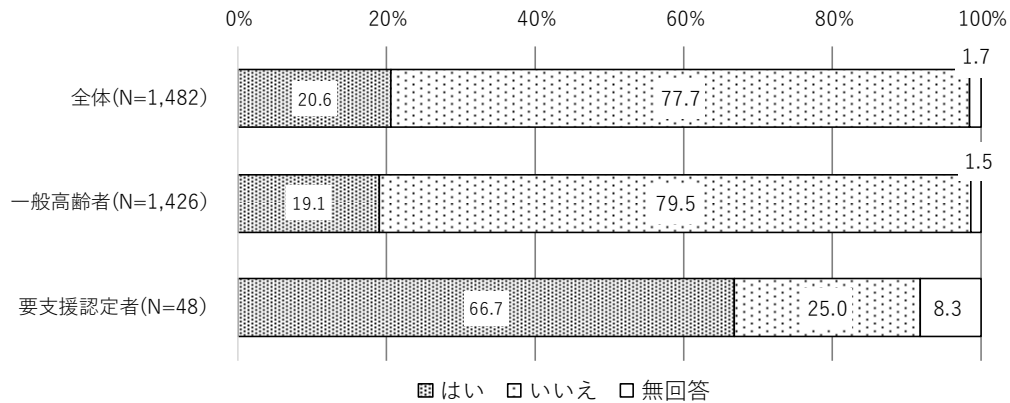
問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つを選択)

- ・とても減っていると減っているをあわせた「外出の回数が減っている人」の割合は、一般高齢者で24.9%、要支援認定者で64.6%となっており、39.7ポイントの差となっている。



問 12 外出を控えていますか。(1つを選択)

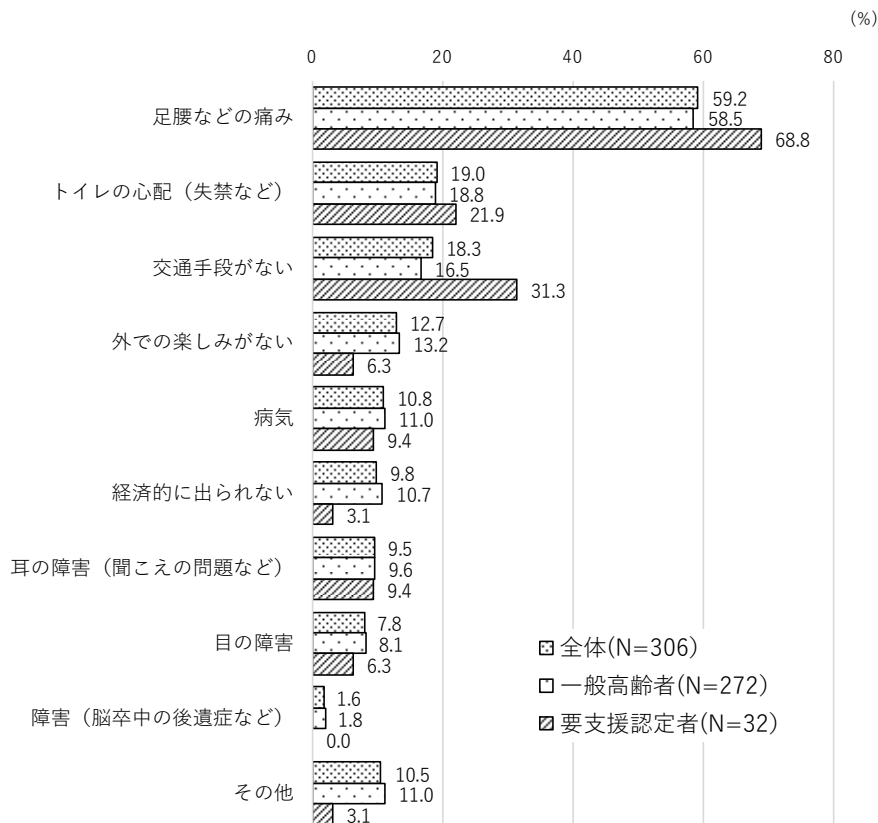
- ・ はいの割合は、一般高齢者で 19.1%、要支援認定者で 66.7%となっており、47.6ポイントの差となっている。



問 12 で「1」と回答した方にお伺いします。

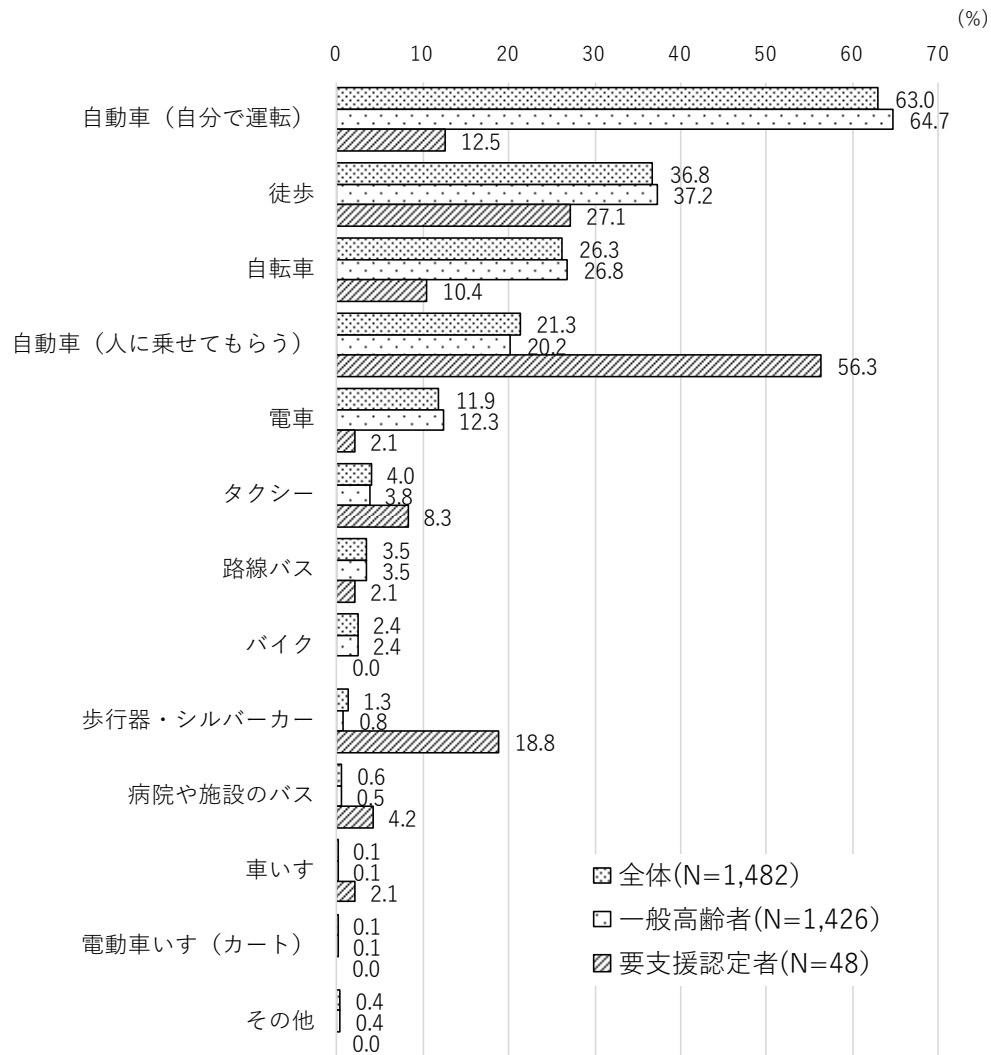
問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(複数選択可)

- ・ 一般高齢者では、足腰などの痛みの割合が最も高く 58.5%、次いで、トイレの心配（失禁など）の割合が 18.8%、交通手段がないの割合が 16.5%となっている。
- ・ 要支援認定者では、足腰などの痛みの割合が最も高く 68.8%、次いで、交通手段がないの割合が 31.3%、トイレの心配（失禁など）の割合が 21.9%となっている。



問 13 外出する際の移動手段は何ですか。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、自動車（自分で運転）の割合が最も高く 64.7%、次いで、徒歩の割合が 37.2%、自転車の割合が 26.8%となっている。
- ・要支援認定者では、自動車（人に乗せてもらう）の割合が最も高く 56.3%、次いで、徒歩の割合が 27.1%、歩行器・シルバーカーの割合が 18.8%となっている。

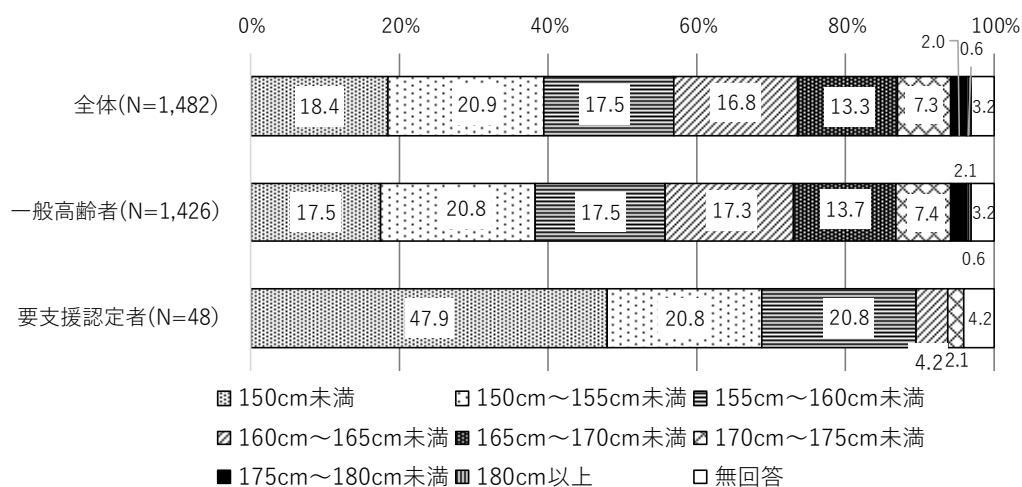


(4) 食べることについて

問 14 身長・体重をご記入ください

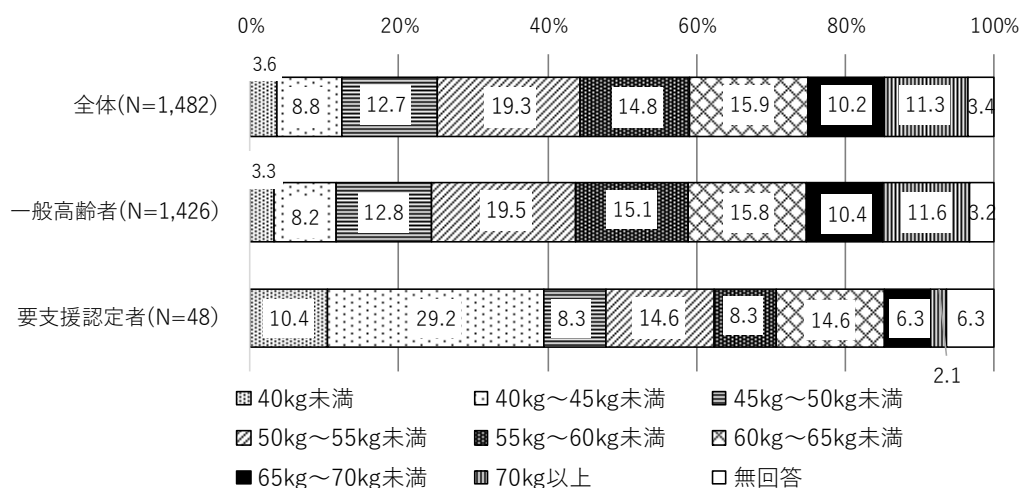
① 身長

- ・一般高齢者では、150cm～155cm 未満の割合が 20.8%と最も高く、次いで、150cm 未満と 155cm～160cm 未満の割合がともに 17.5%となっている。
- ・要支援認定者では、150cm 未満の割合が 47.9%と最も高く、次いで、150cm～155cm 未満と 155cm～160cm 未満の割合がともに 20.8%となっている。



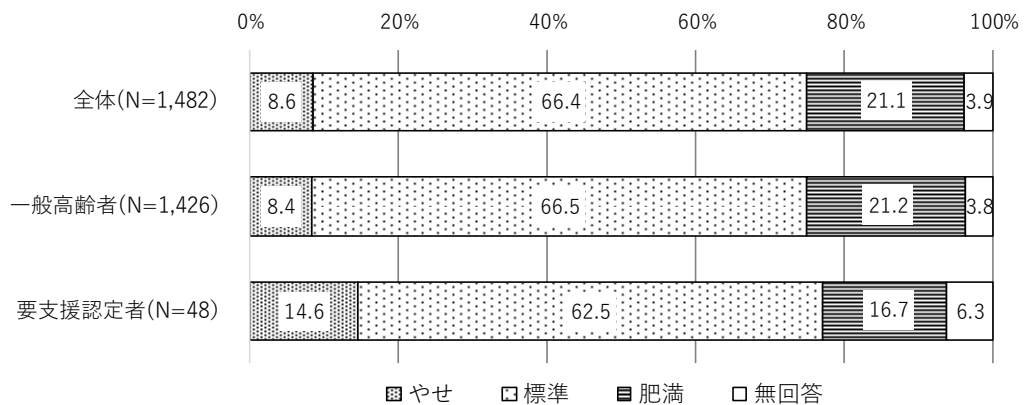
② 体重

- ・一般高齢者では、50kg～55kg 未満の割合が 19.5%と最も高く、次いで、60kg～65kg 未満の割合が 15.8%、55kg～60kg 未満の割合が 15.1%となっている。
- ・要支援認定者では、40kg～45kg 未満の割合が 29.2%と最も高く、次いで、50kg～55kg 未満と 60kg～65kg 未満の割合がともに 14.6%となっている。



BMI

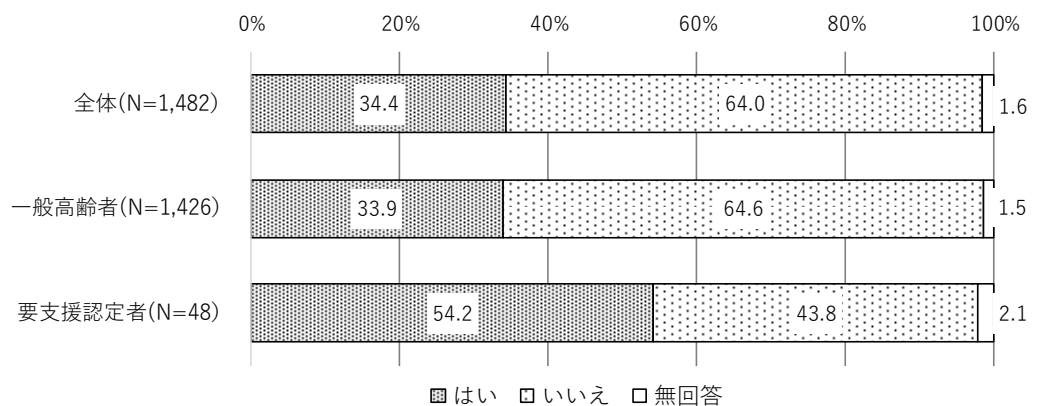
- ・ やせ（BMI 18.5 未満）の割合は、一般高齢者で 8.4%、要支援認定者で 14.6%。
- ・ 標準（BMI 18.5～25 未満）の割合は、一般高齢者で 66.5%、要支援認定者で 62.5%。
- ・ 肥満（BMI 25 以上）の割合は、一般高齢者で 21.2%、要支援認定者で 16.7%。



※ BMI＝体重（kg）÷ {身長（m）×身長（m）}

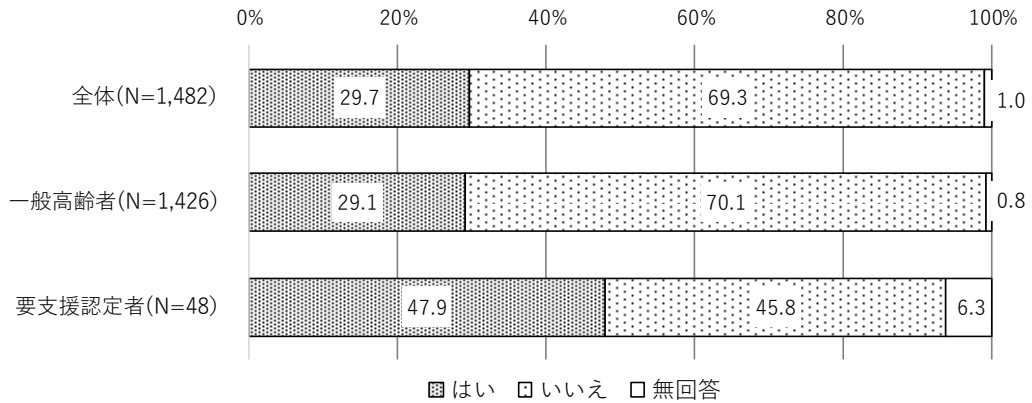
問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（1つを選択）

- ・ はいの割合は、一般高齢者で 33.9%、要支援認定者で 54.2%となっており、20.3ポイントの差となっている。



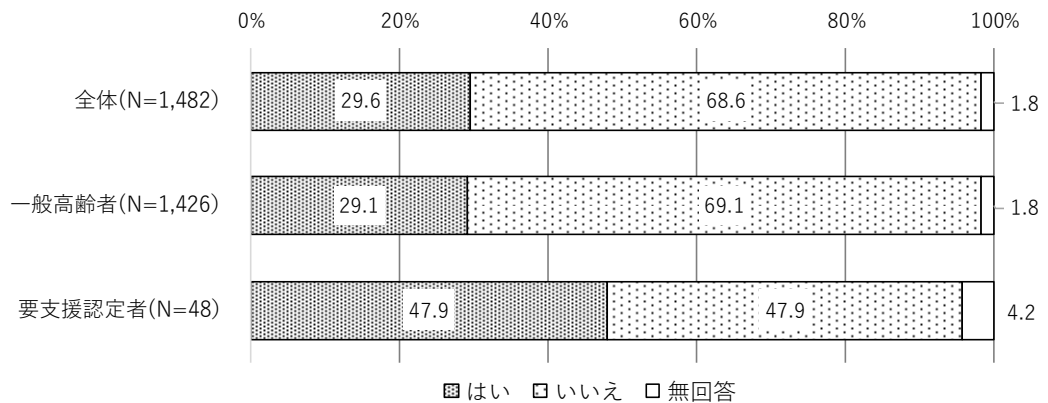
問 16 お茶や汁物でむせることがありますか。(1つを選択)

- ・ はいの割合は、一般高齢者で 29.1%、要支援認定者で 47.9%となっており、18.8ポイントの差となっている。



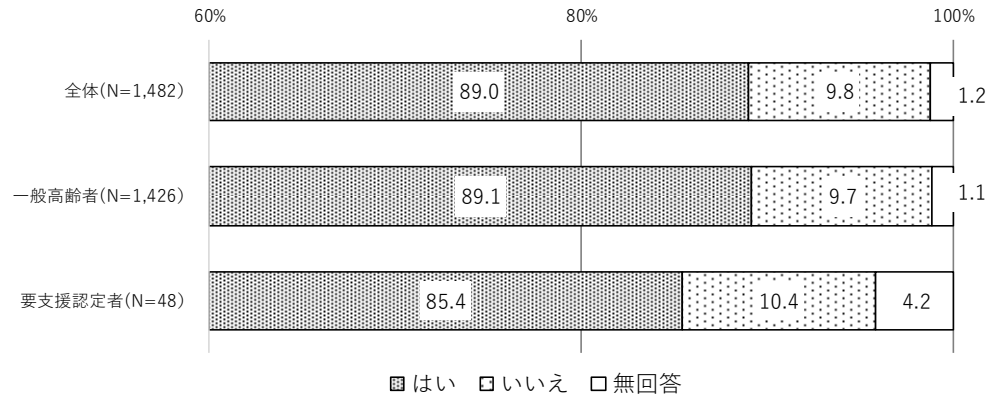
問 17 口の渇きが気になりますか。(1つを選択)

- ・ はいの割合は、一般高齢者で 29.1%、要支援認定者で 47.9%となっており、18.8ポイントの差となっている。



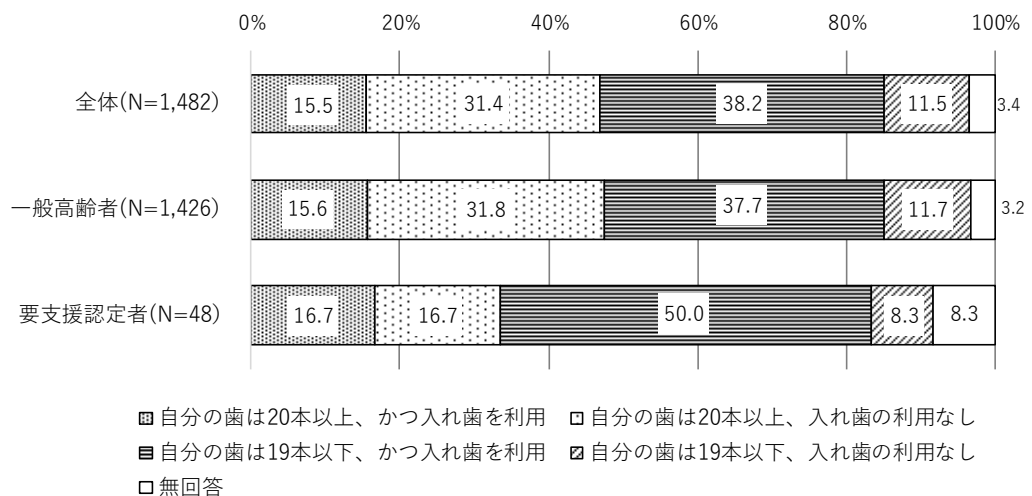
問 18 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 9.7%、要支援認定者で 10.4%となっており、0.7ポイントの差となっている。



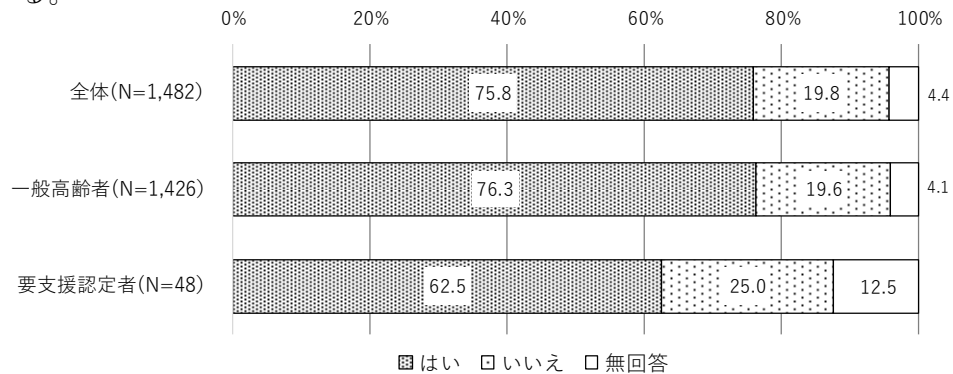
問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)(1つを選択)

- ・自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用と自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なしをあわせた「自分の歯は 20 本以上の人」の割合は、一般高齢者で 47.4%、要支援認定者で 33.4%となっており、14.0ポイントの差となっている。
- ・自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用と自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用をあわせた「入れ歯を利用している人」の割合は、一般高齢者で 53.3%、要支援認定者で 66.7%となっており、13.4ポイントの差となっている。



問 19-1 噛み合わせは良いですか。(1つを選択)

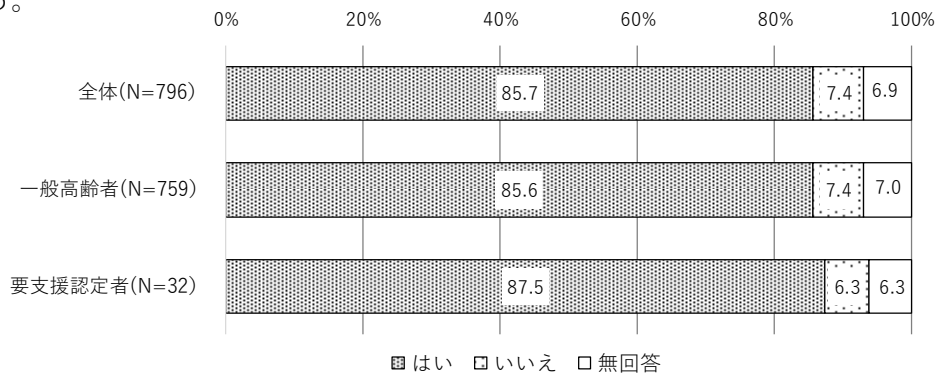
- ・いいえの割合は、一般高齢者で 19.6%、要支援認定者で 25.0%となっており、5.4ポイントの差となっている。



問 19 で「1」「3」と回答した方にお伺いします。

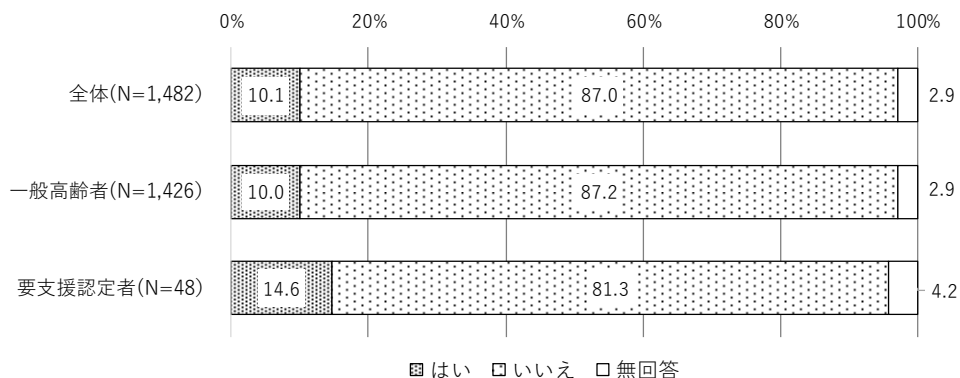
問 19-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 7.4%、要支援認定者で 6.3%となっており、1.1ポイントの差となっている。



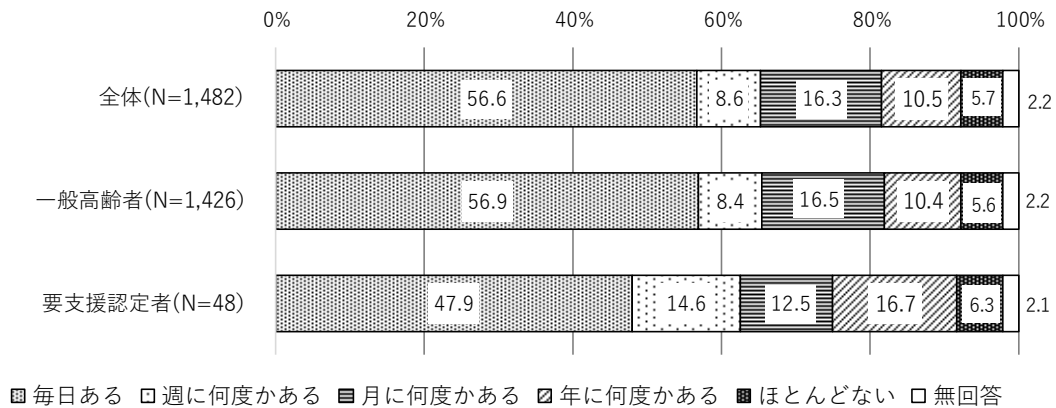
問 20 6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。(1つを選択)

- ・はいの割合は、一般高齢者で 10.0%、要支援認定者で 14.6%となっており、4.6ポイントの差となっている。



問 21 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

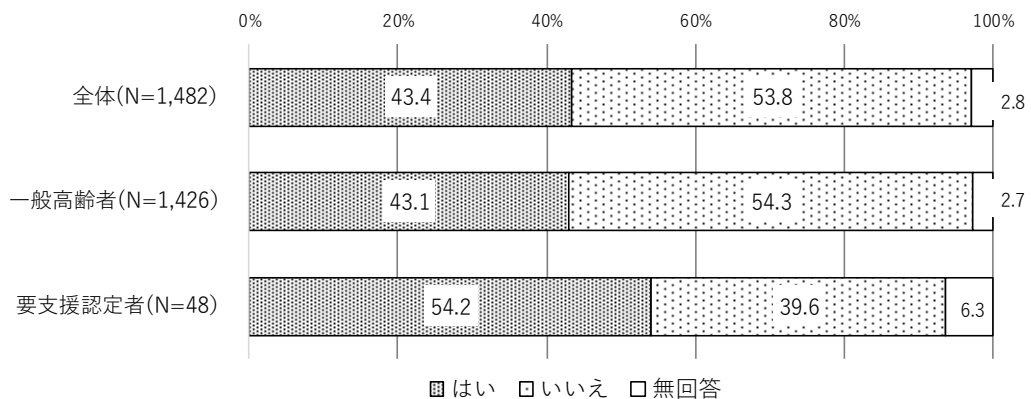
- ・ 毎日あるの割合は、一般高齢者で 56.9%、要支援認定者で 47.9%となっており、9.0ポイントの差となっている。
- ・ ほとんどないの割合は、一般高齢者で 5.6%、要支援認定者で 6.3%となっており、0.7ポイントの差となっている。



(5) 毎日の生活について

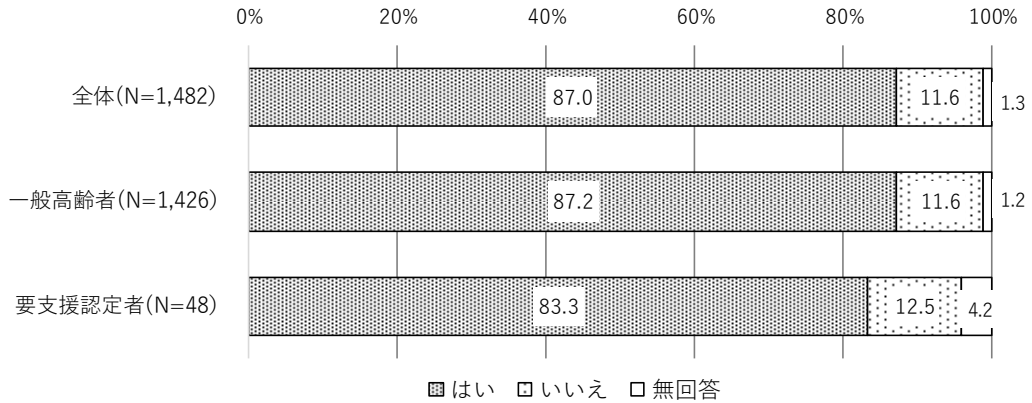
問 22 物忘れが多いと感じますか。(1つを選択)

- ・ はいの割合は、一般高齢者で 43.1%、要支援認定者で 54.2%となっており、11.1ポイントの差となっている。



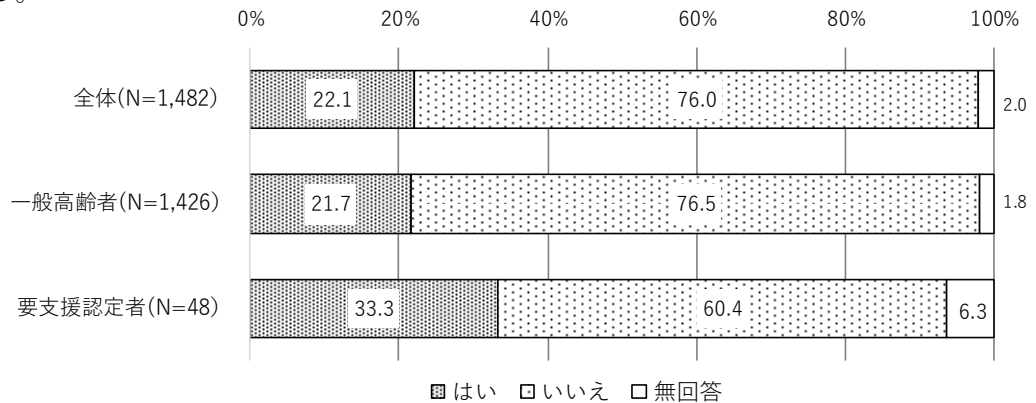
問 23 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 11.6%、要支援認定者で 12.5%となっており、0.9ポイントの差となっている。



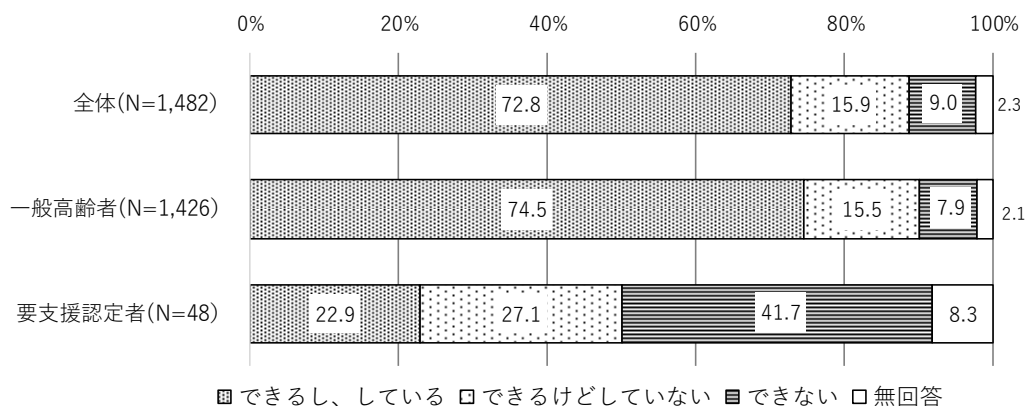
問 24 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つを選択)

- ・はいの割合は、一般高齢者で 21.7%、要支援認定者で 33.3%となっており、11.6ポイントの差となっている。



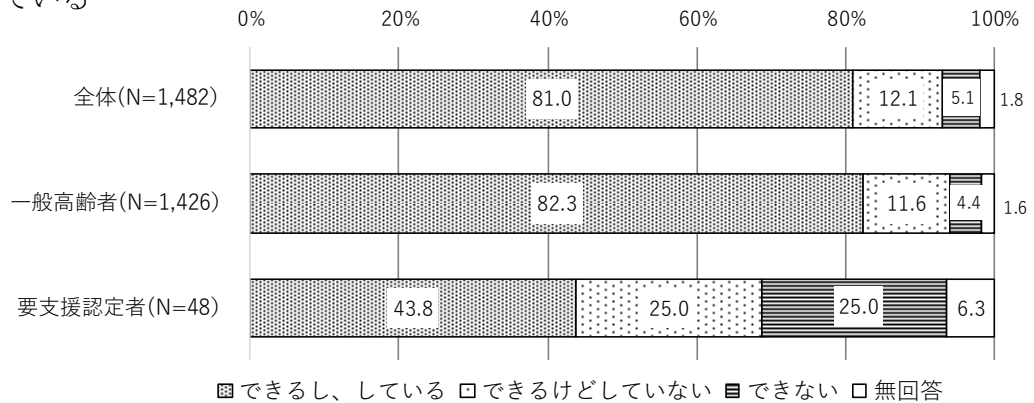
問 25 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つを選択)

- ・できないの割合は、一般高齢者で 7.9%、要支援認定者で 41.7%となっており、33.8ポイントの差となっている。



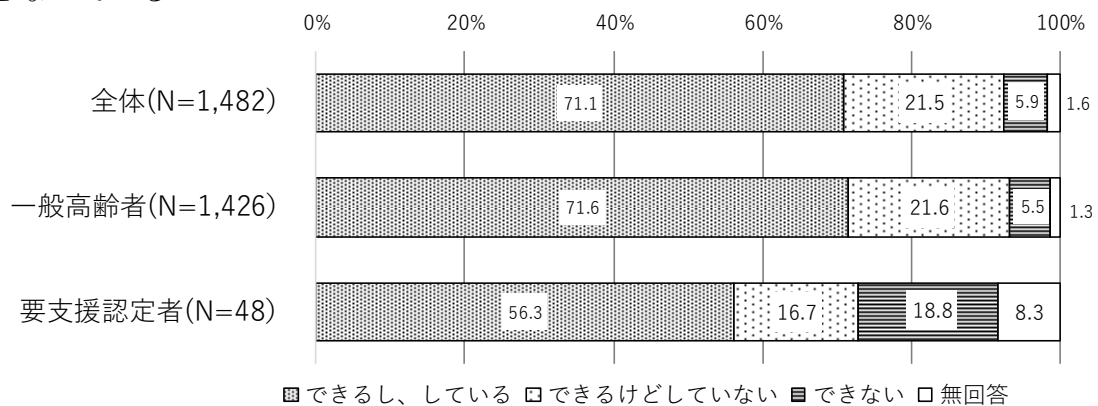
問 26 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つを選択)

- ・できないの割合は、一般高齢者で 4.4%、要支援認定者で 25.0%となっており、20.6ポイントの差となっている



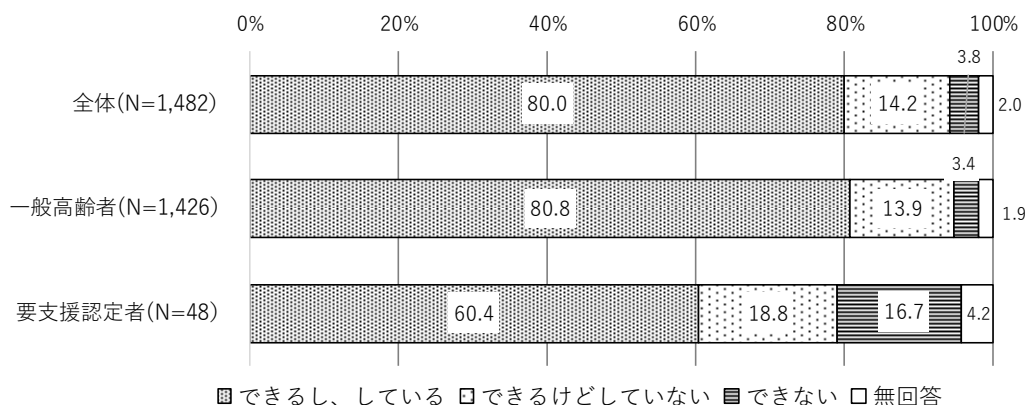
問 27 自分で食事の用意をしていますか。(1つを選択)

- ・できないの割合は、一般高齢者で 5.5%、要支援認定者で 18.8%となっており、13.3ポイントの差となっている



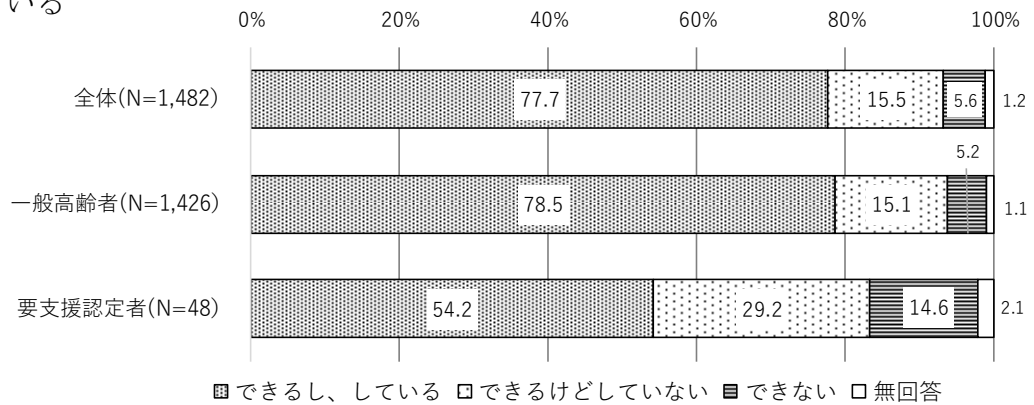
問 28 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つを選択)

- ・できないの割合は、一般高齢者で 3.4%、要支援認定者で 16.7%となっており、13.3ポイントの差となっている



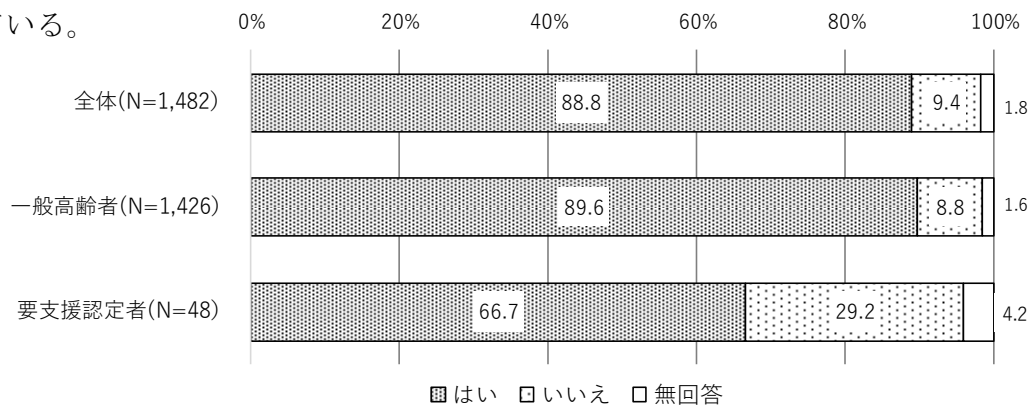
問 29 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つを選択)

- ・できないの割合は、一般高齢者で 5.2%、要支援認定者で 14.6%となっており、9.4ポイントの差となっている



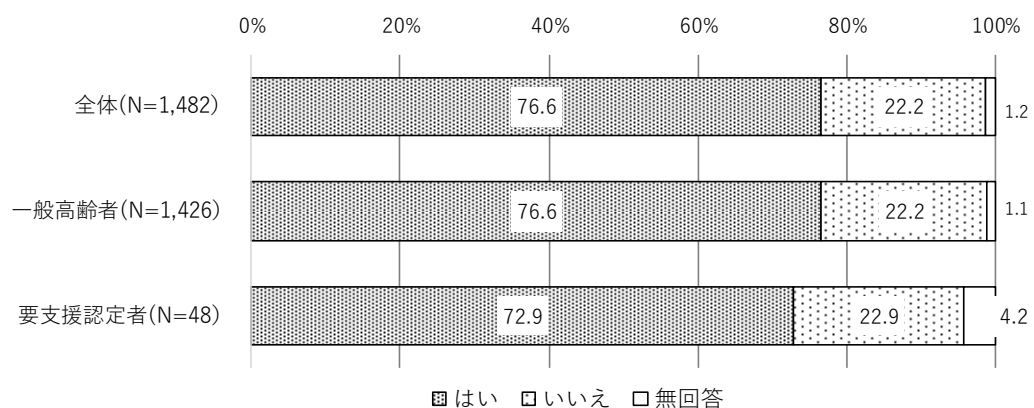
問 30 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 8.8%、要支援認定者で 29.2%となっており、20.4ポイントの差となっている。



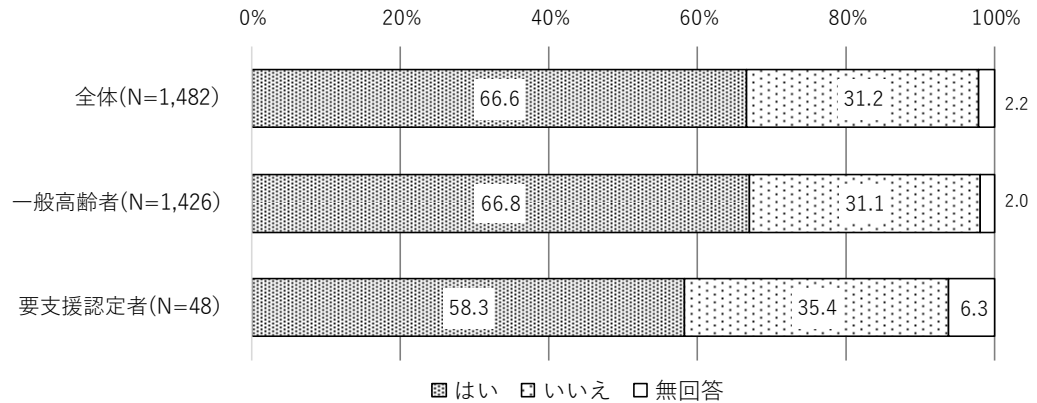
問 31 新聞を読んでいますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 22.2%、要支援認定者で 22.9%となっており、0.7ポイントの差となっている。



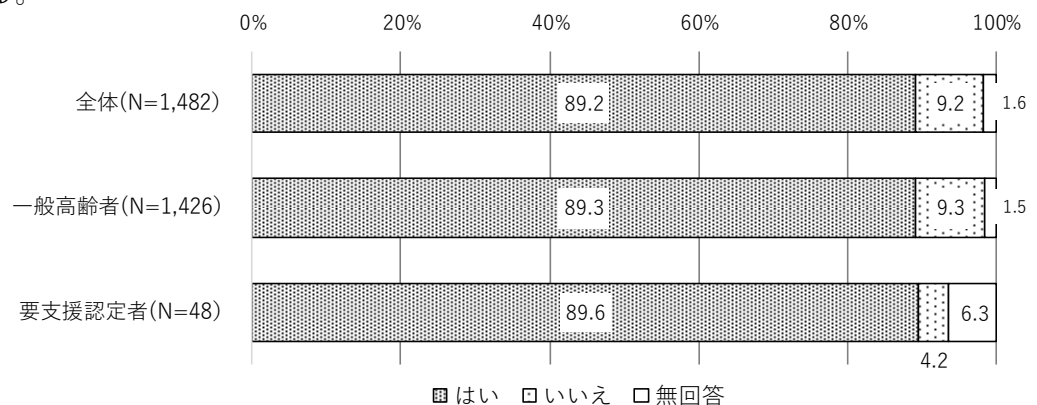
問 32 本や雑誌を読んでいますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 31.1%、要支援認定者で 35.4%となっており、4.3ポイントの差となっている。



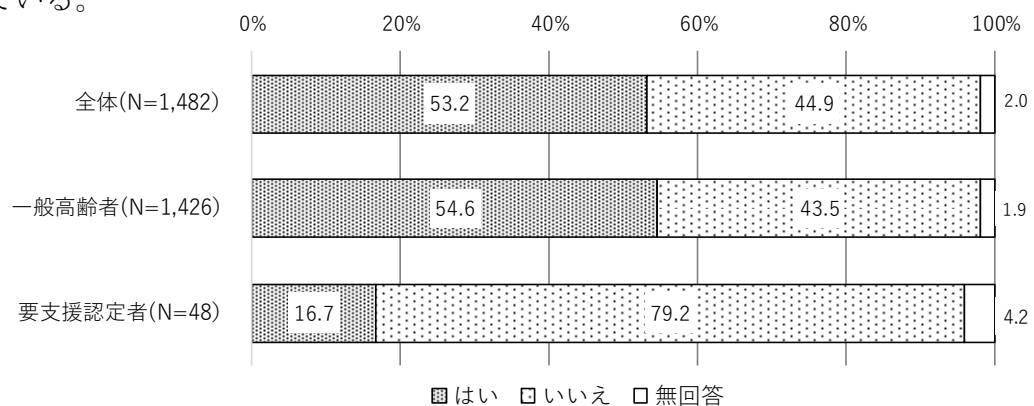
問 33 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 9.3%、要支援認定者で 4.2%となっており、5.1ポイントの差となっている。



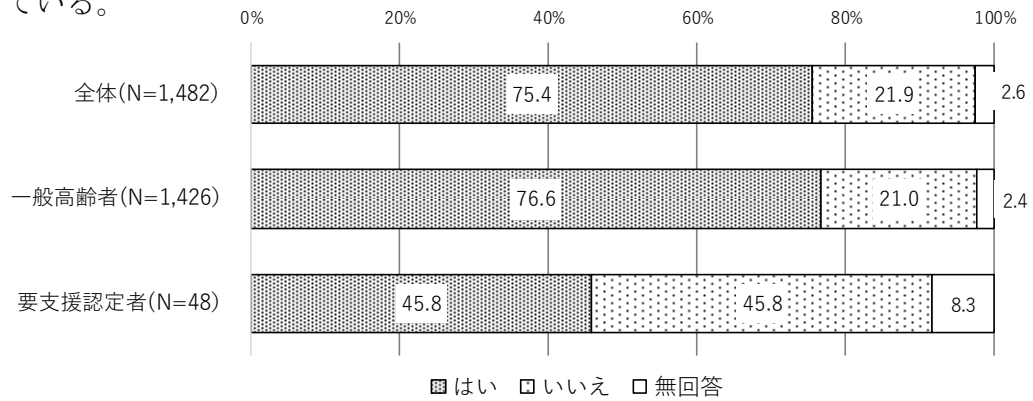
問 34 友人の家を訪ねていますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 43.5%、要支援認定者で 79.2%となっており、35.7ポイントの差となっている。



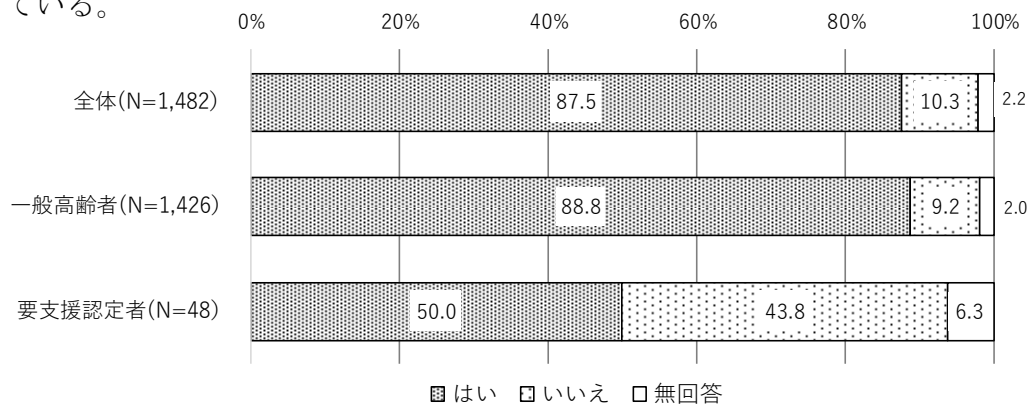
問 35 家族や友人の相談にのっていますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 21.0%、要支援認定者で 45.8%となっており、24.8ポイントの差となっている。



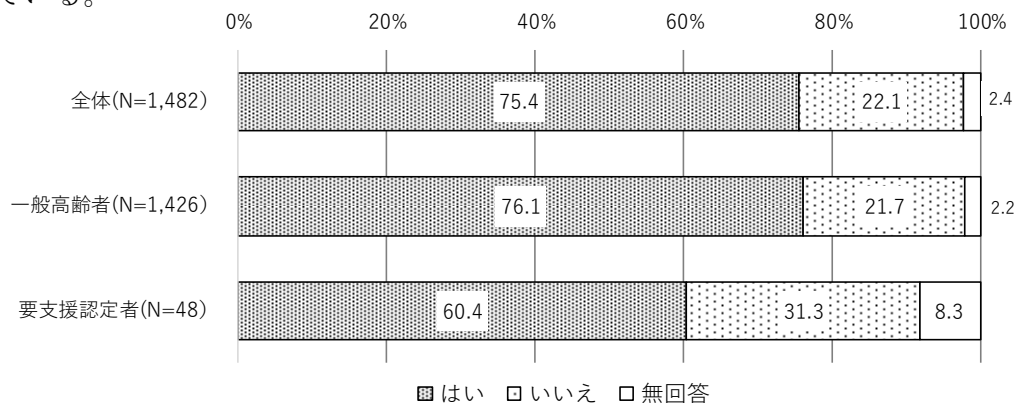
問 36 病人を見舞うことができますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 9.2%、要支援認定者で 43.8%となっており、34.6ポイントの差となっている。



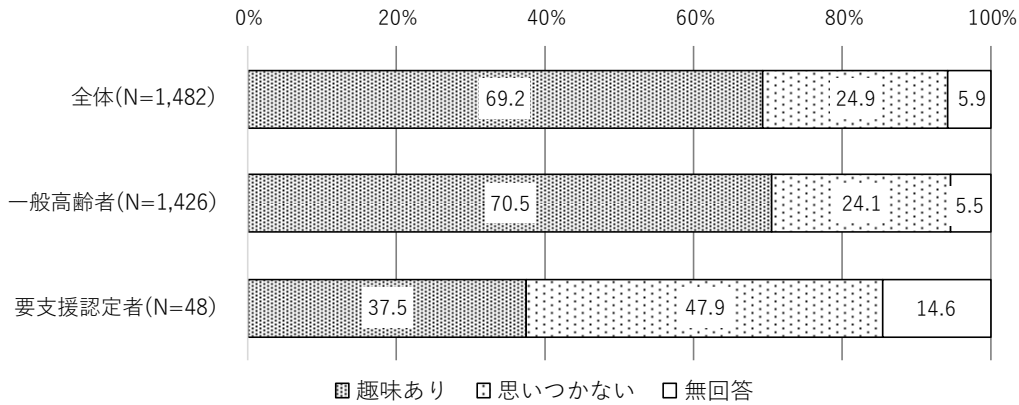
問 37 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 21.7%、要支援認定者で 31.3%となっており、9.6ポイントの差となっている。



問 38 趣味はありますか。ある場合は()内にご記入ください。(1つを選択)

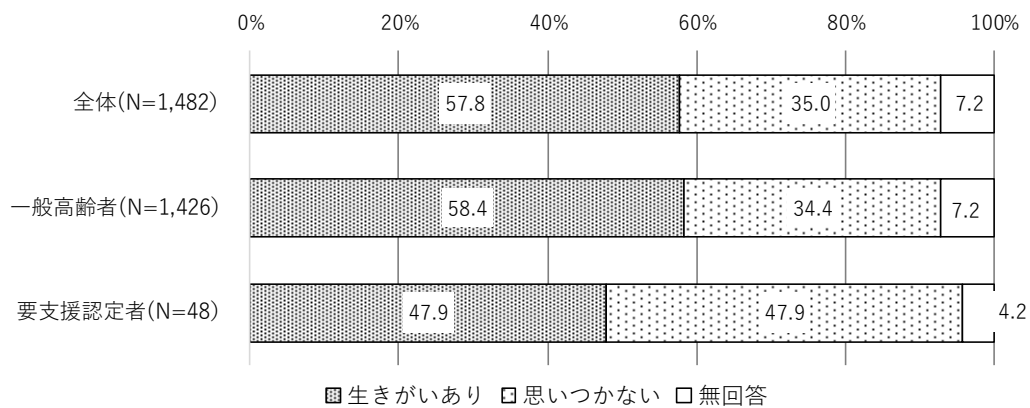
- ・いいえの割合は、一般高齢者で 24.1%、要支援認定者で 47.9%となっており、23.8ポイントの差となっている。



【趣味の主な内容】 ウォーキング、ガーデニング（園芸）、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ、卓球、運動（筋トレ含む）、スポーツ観戦、絵画、読書、手芸、旅行、釣り、カラオケ、音楽鑑賞 ほか

問 39 生きがいはありますか。ある場合は()内にご記入ください。(1つを選択)

- ・いいえの割合は、一般高齢者で 34.4%、要支援認定者で 47.9%となっており、13.5ポイントの差となっている。



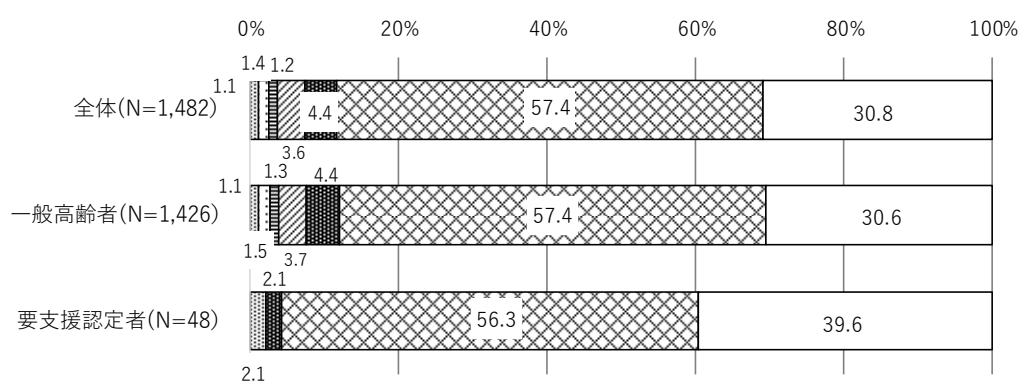
【生きがいの主な内容】 孫の成長、子ども、家族、仕事、趣味、旅行、友人（との交流）、農業、野菜作り ほか

（６）地域での活動について

問 40 以下の①～⑧の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
（それぞれ1つを選択）

① ボランティアのグループ

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が 57.4%と最も高く、次いで、年に数回の割合が 4.4%となっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が 56.3%と最も高くなっている。



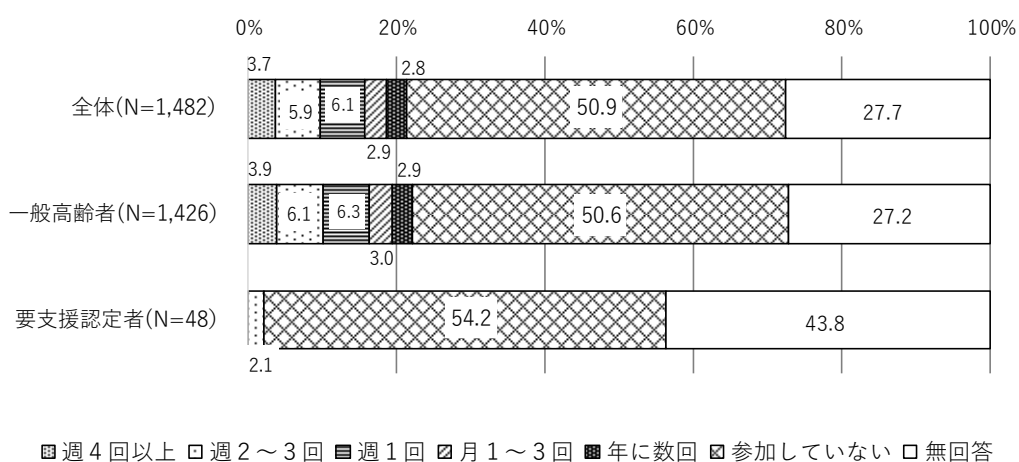
■ 週4回以上 □ 週2～3回 ■ 週1回 □ 月1～3回 ■ 年に数回 ■ 参加していない □ 無回答

単位：％

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1,482	1.1	1.4	1.2	3.6	4.4	57.4	30.8
一般高齢者	1,426	1.1	1.5	1.3	3.7	4.4	57.4	30.6
要支援認定者	48	2.1	—	—	—	2.1	56.3	39.6

② スポーツ関係のグループやクラブ

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が 50.6%と最も高く、次いで、週 1 回の割合が 6.3%、週 2～3 回の割合が 6.1%となっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が 54.2%と最も高くなっている。

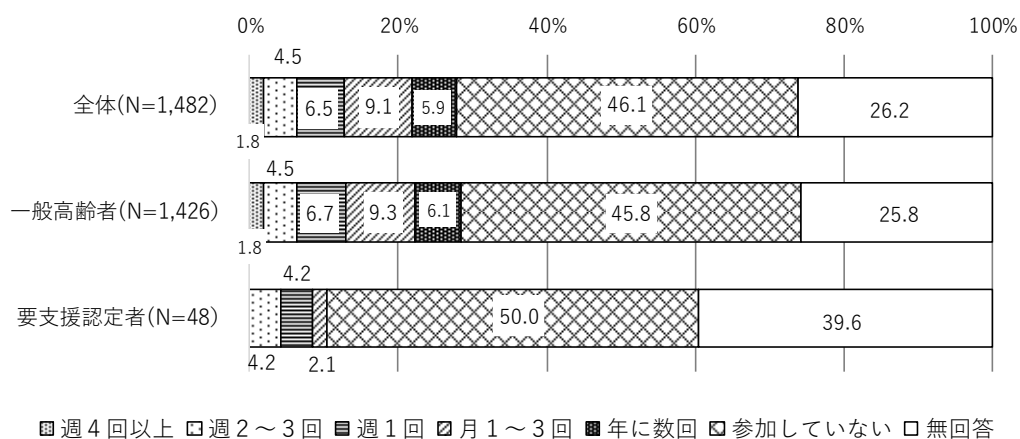


単位：%

区分	(件) 有効 回答 数	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体	1,482	3.7	5.9	6.1	2.9	2.8	50.9	27.7
一般高齢者	1,426	3.9	6.1	6.3	3.0	2.9	50.6	27.2
要支援認定者	48	—	2.1	—	—	—	54.2	43.8

③ 趣味関係のグループ

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が45.8%と最も高く、次いで、月1～3回の割合が9.3%、週1回の割合が6.7%となっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が50.0%と最も高くなっている。

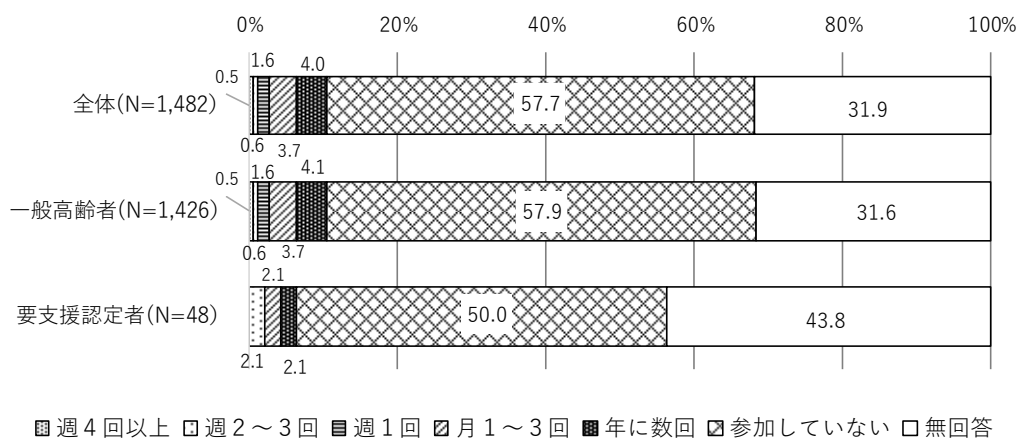


単位：%

区分	(件) 有効回答数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1,482	1.8	4.5	6.5	9.1	5.9	46.1	26.2
一般高齢者	1,426	1.8	4.5	6.7	9.3	6.1	45.8	25.8
要支援認定者	48	—	4.2	4.2	2.1	—	50.0	39.6

④ 学習・教養サークル

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が 57.9%と最も高く、次いで、年に数回の割合が 4.1%となっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が 50.0%と最も高くなっている。

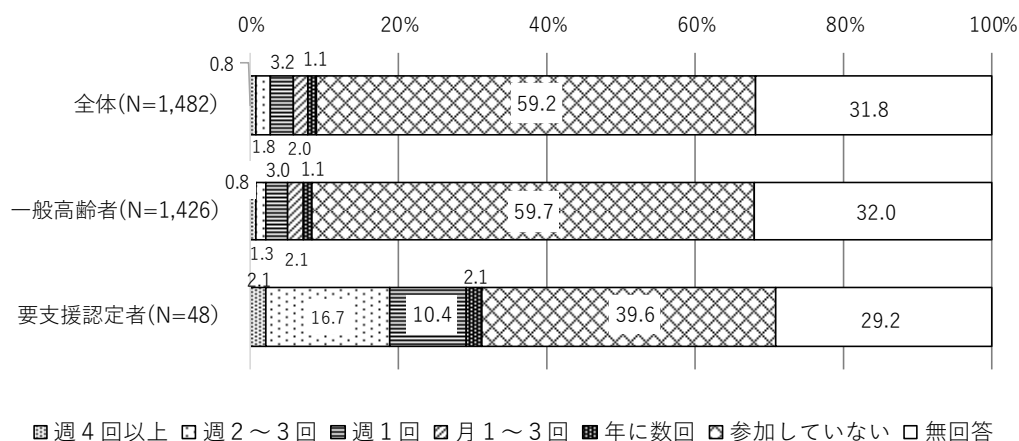


単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1,482	0.5	0.6	1.6	3.7	4.0	57.7	31.9
一般高齢者	1,426	0.5	0.6	1.6	3.7	4.1	57.9	31.6
要支援認定者	48	—	2.1	—	2.1	2.1	50.0	43.8

⑤ はにトレ教室など介護予防のための通いの場

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が 59.7%と最も高くなっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が 39.6%と最も高く、次いで週 2 ～ 3 回の割合が 16.7%、週 1 回の割合が 10.4%となっている。

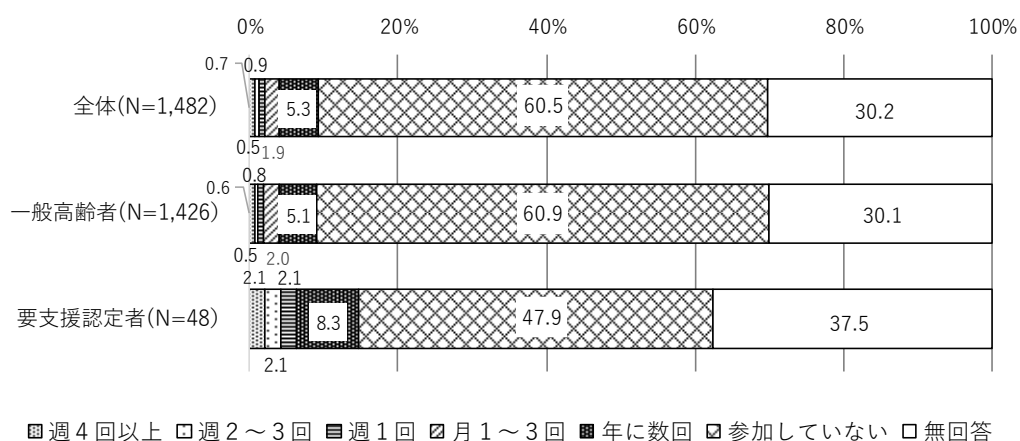


単位：%

区分	有効回答数 (件)	週 4 回以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1,482	0.8	1.8	3.2	2.0	1.1	59.2	31.8
一般高齢者	1,426	0.8	1.3	3.0	2.1	1.1	59.7	32.0
要支援認定者	48	2.1	16.7	10.4	—	2.1	39.6	29.2

⑥ 老人クラブ

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が60.9%と最も高く、次いで、年に数回の割合が5.1%となっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が47.9%と最も高く、次いで、年に数回の割合が8.3%となっている。

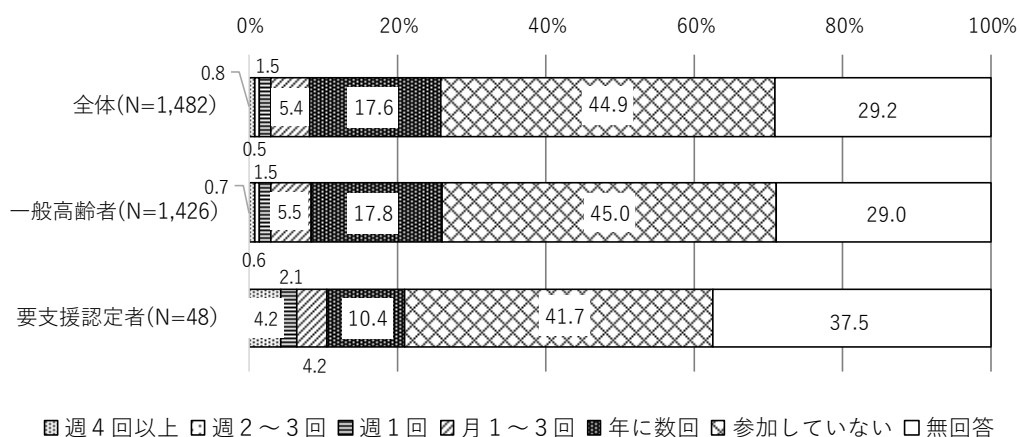


単位：%

区分	(件) 有効回答数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1,482	0.7	0.5	0.9	1.9	5.3	60.5	30.2
一般高齢者	1,426	0.6	0.5	0.8	2.0	5.1	60.9	30.1
要支援認定者	48	2.1	2.1	2.1	—	8.3	47.9	37.5

⑦ 町内会・自治会

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が45.0%と最も高く、次いで、年に数回の割合が17.8%、月1～3回の割合が5.5%となっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が41.7%と最も高く、次いで、年に数回の割合が10.4%となっている。

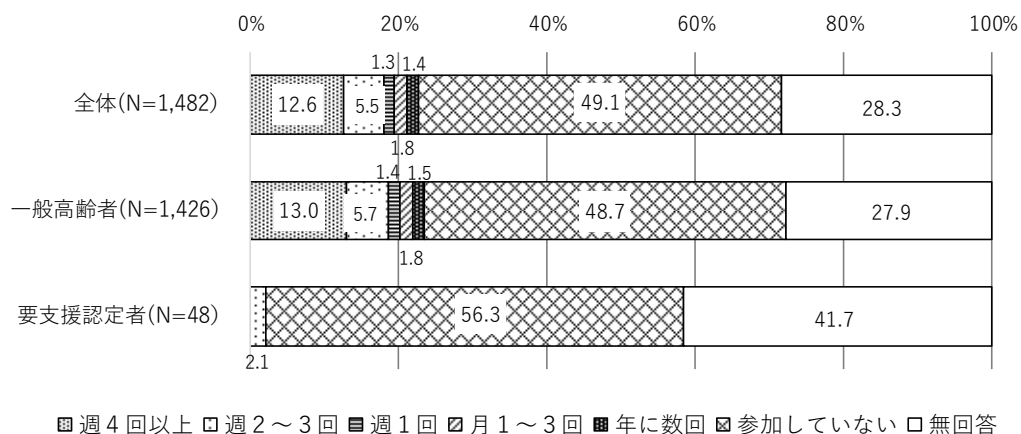


単位：%

区分	(件) 有効 回答 数	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体	1,482	0.8	0.5	1.5	5.4	17.6	44.9	29.2
一般高齢者	1,426	0.7	0.6	1.5	5.5	17.8	45.0	29.0
要支援認定者	48	4.2	—	2.1	4.2	10.4	41.7	37.5

⑧ 収入のある仕事

- ・一般高齢者では、参加していないの割合が48.7%と最も高く、次いで、週4回以上の割合が13.0%、週2～3回の割合が5.7%となっている。
- ・要支援認定者では、参加していないの割合が56.3%と最も高くなっている。



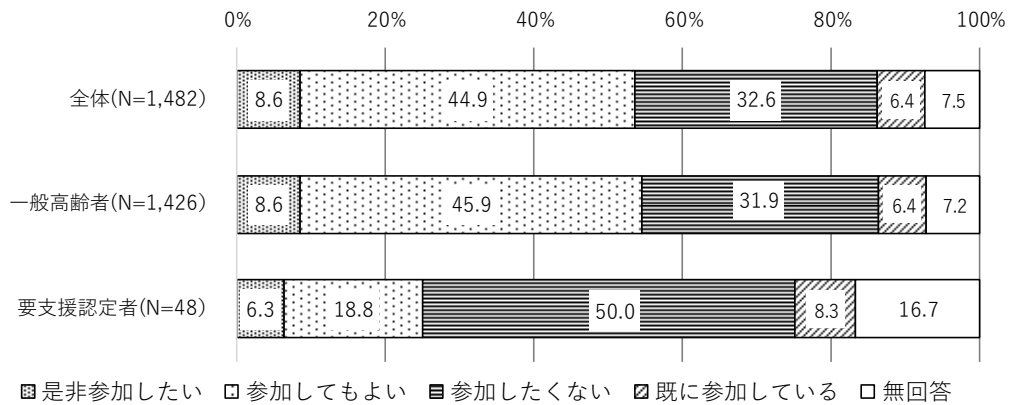
単位：%

区分	有効回答数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全 体	1,482	12.6	5.5	1.3	1.8	1.4	49.1	28.3
一般高齢者	1,426	13.0	5.7	1.4	1.8	1.5	48.7	27.9
要支援認定者	48	—	2.1	—	—	—	56.3	41.7

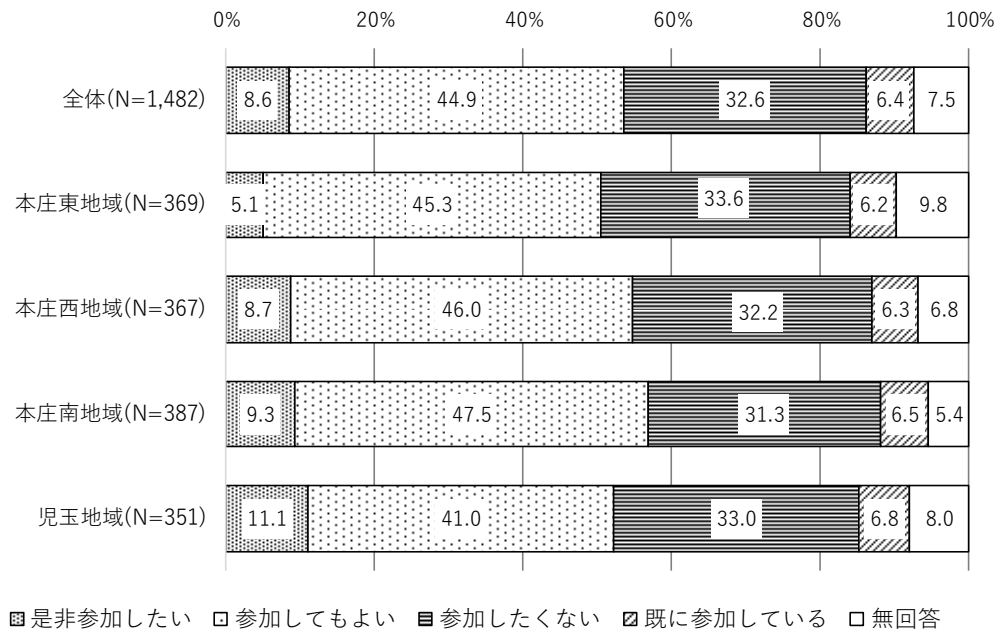
問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

- ・是非参加したいと参加してもよいをあわせた「参加」意向のある割合は、一般高齢者では 54.5%、要支援認定者では 25.1%となっている。
- ・日常生活圏域別に「参加」意向の割合をみると、本庄南地域で 56.8%、本庄西地域で 54.7%、児玉地域で 52.1%、本庄東地域で 50.4%となっている。

〔一般高齢者・要支援認定者別〕



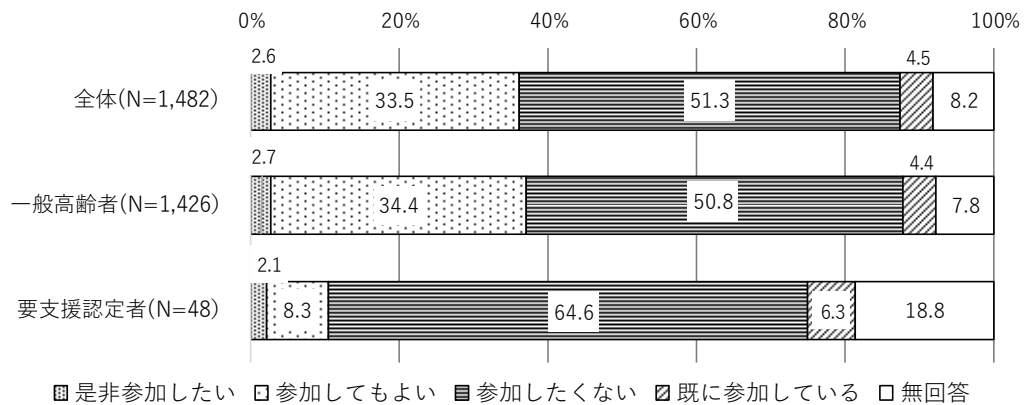
〔日常生活圏域別〕



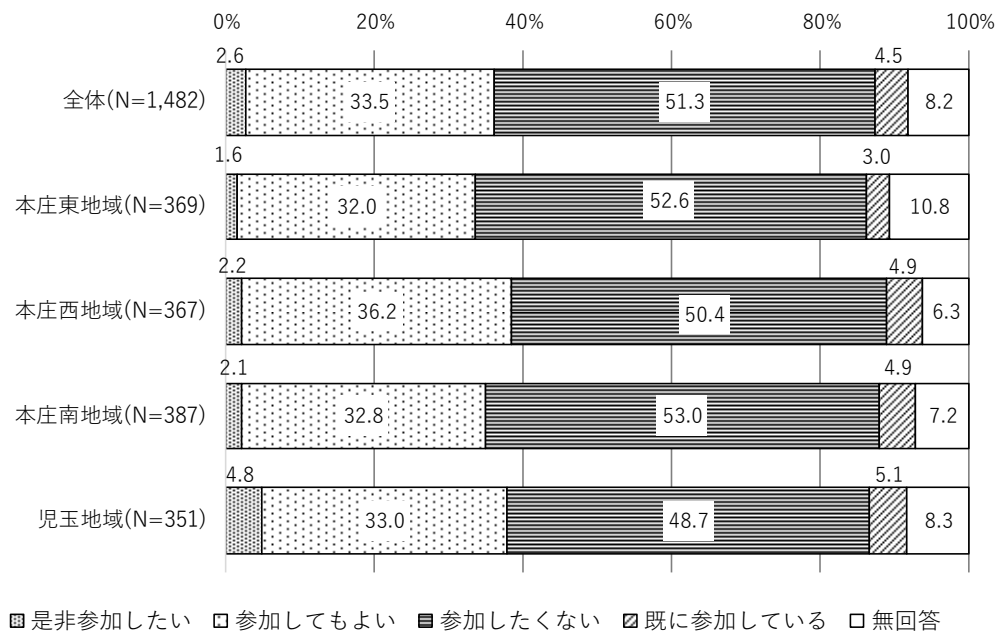
問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つを選択）

- ・是非参加したいと参加してもよいをあわせた「参加」意向のある割合は、一般高齢者では 37.1%、要支援認定者では 10.4%となっている。
- ・日常生活圏域別に「参加」意向の割合をみると、本庄西地域で 38.4%、児玉地域で 37.8%、本庄南地域で 34.9%、本庄東地域で 33.6%となっている。

〔一般高齢者・要支援認定者別〕



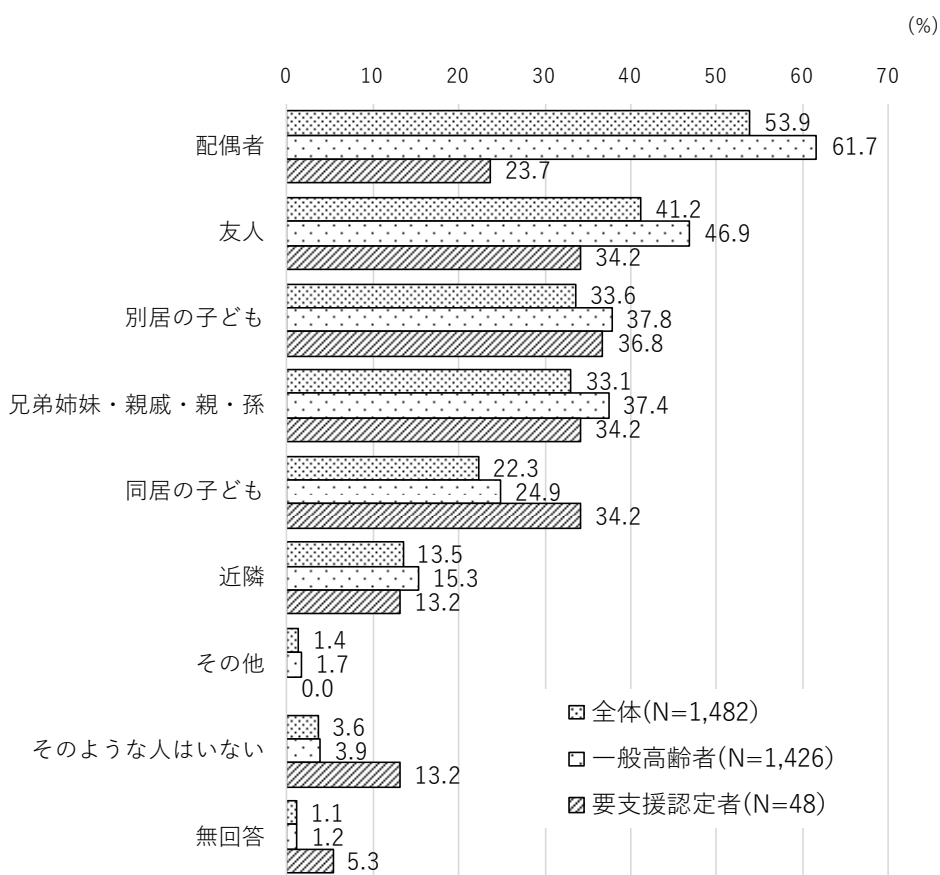
〔日常生活圏域別〕



(7) たすけあいについて

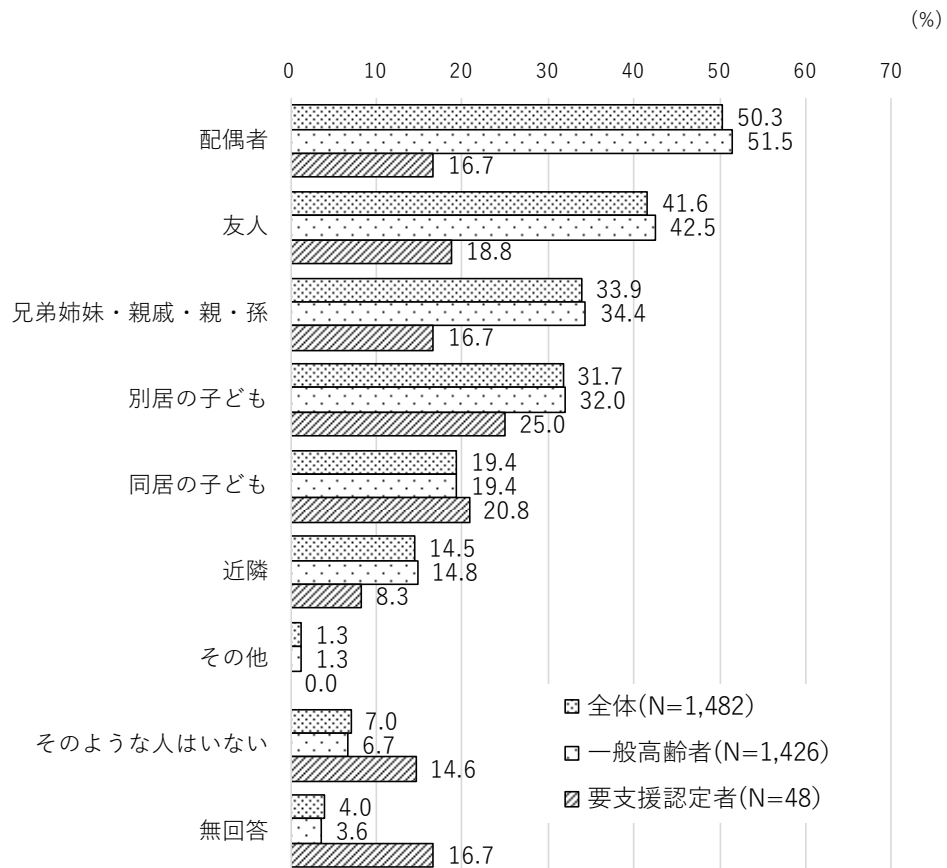
問 43 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、配偶者の割合が 61.7%で最も高く、次いで、友人の割合が 46.9%、別居の子どもの割合が 37.8%となっている。
- ・要支援認定者では、別居の子どもの割合が 36.8%で最も高く、次いで、友人、兄弟姉妹・親戚・親・孫、同居の子どもの割合がいずれも 34.2%となっている。



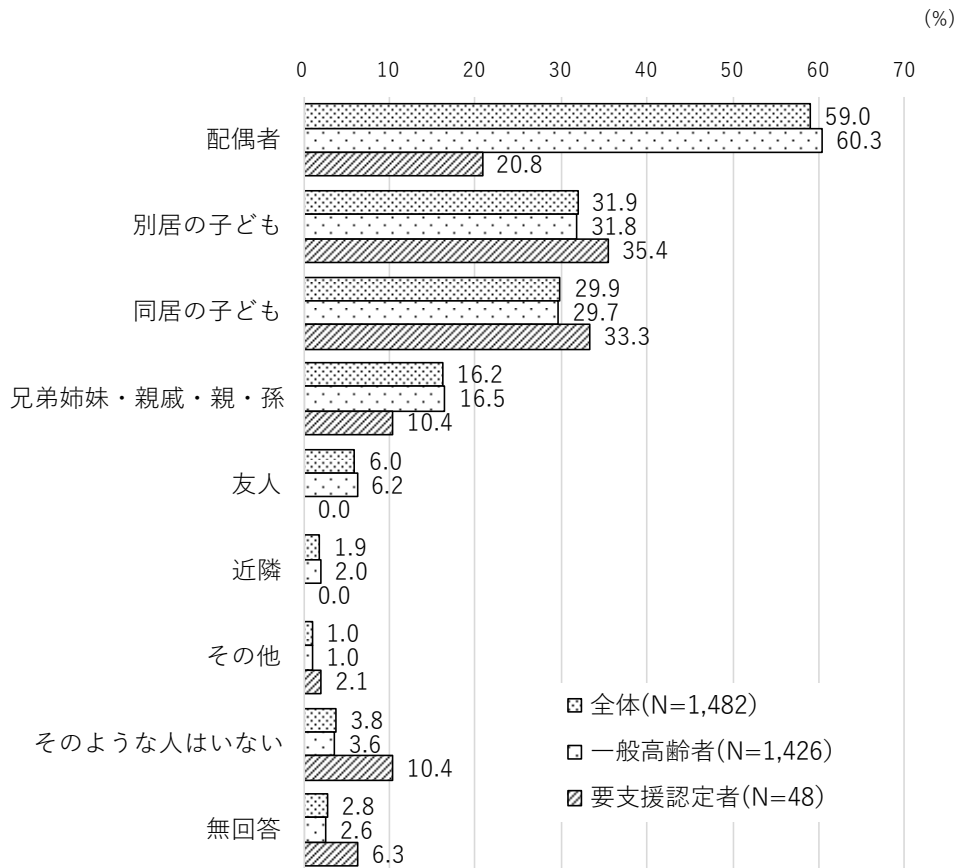
問 44 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、配偶者の割合が 51.5%で最も高く、次いで、友人の割合が 42.5%、兄弟姉妹・親戚・親・孫の割合が 34.4%となっている。
- ・要支援認定者では、別居の子どもの割合が 25.0%で最も高く、次いで、同居の子どもの割合が 20.8%、友人の割合が 18.8%となっている。



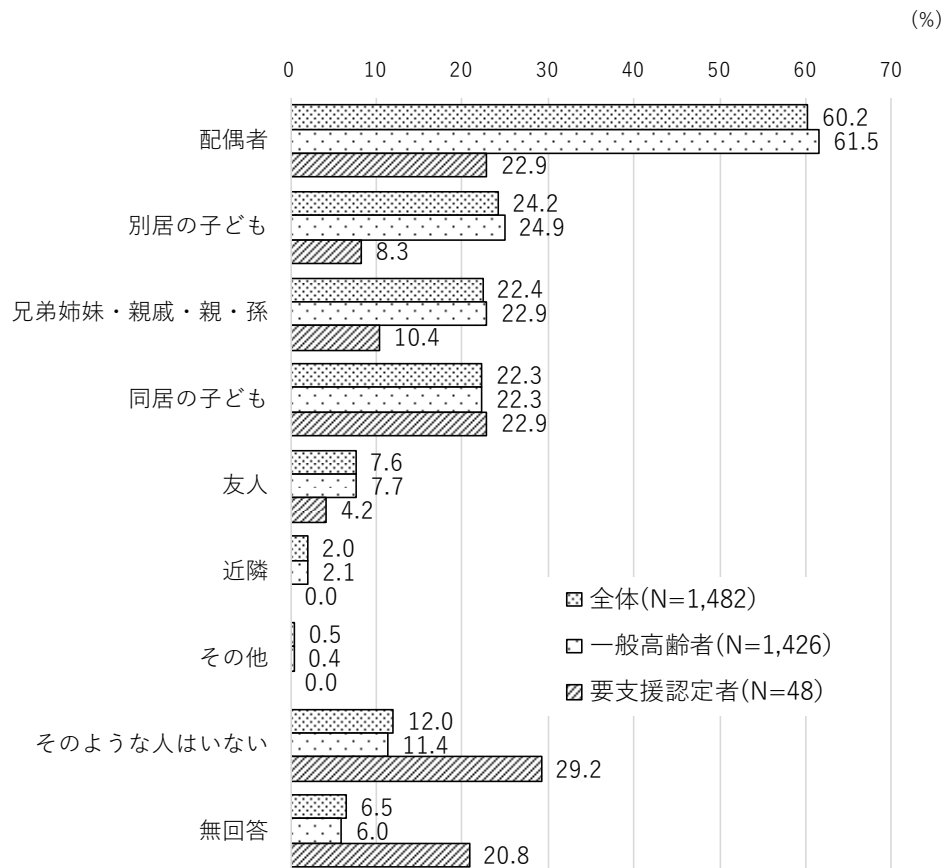
問 45 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、配偶者の割合が 60.3%で最も高く、次いで、別居の子どもの割合が 31.8%、同居の子どもの割合が 29.7%となっている。
- ・要支援認定者では、別居の子どもの割合が 35.4%で最も高く、次いで、同居の子どもの割合が 33.3%、配偶者の割合が 20.8%となっている。



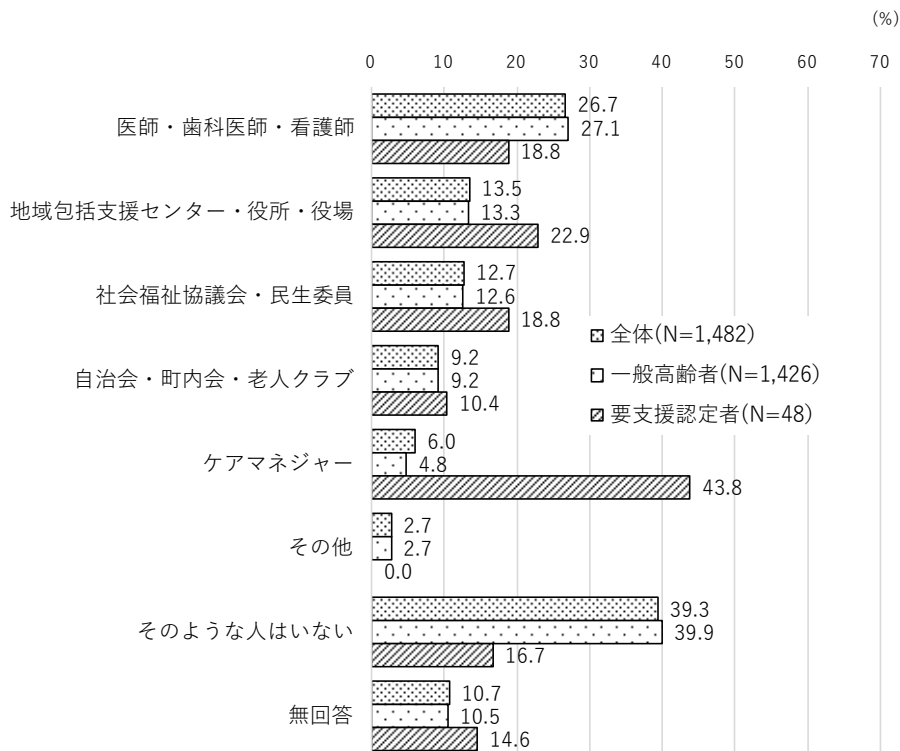
問 46 反対に、看病や世話をしてくれる人。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、配偶者の割合が 61.5%で最も高く、次いで、別居の子どもの割合が 24.9%、兄弟姉妹・親戚・親・孫の割合が 22.9%となっている。
- ・要支援認定者では、そのような人はいないの割合が 29.2%で最も高く、次いで、配偶者と同居の子どもの割合がともに 22.9%となっている。



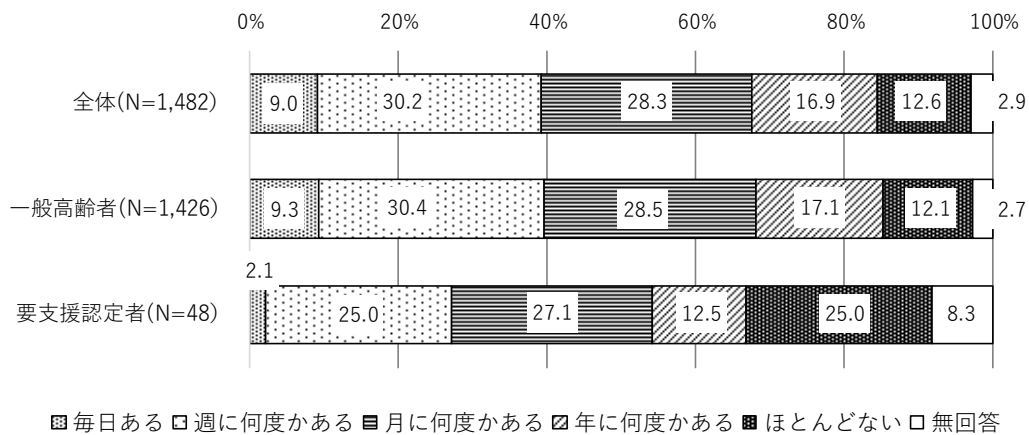
問 47 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、そのような人はいないの割合が 39.9%で最も高く、次いで、医師・歯科医師・看護師の割合が 27.1%、地域包括支援センター・役所・役場の割合が 13.3%となっている。
- ・要支援認定者では、ケアマネジャーの割合が 43.8%で最も高く、次いで、地域包括支援センター・役所・役場の割合 22.9%、医師・歯科医師・看護師、社会福祉協議会・民生委員がともに 18.8%となっている。



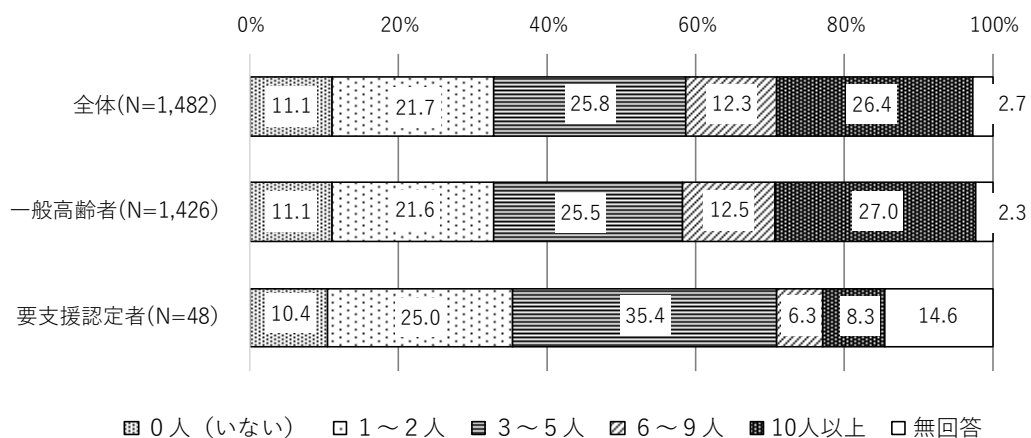
問 48 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つを選択)

- ・一般高齢者では、週に何度かあるの割合が 30.4%で最も高く、次いで、月に何度かあるの割合が 28.5%、年に何度かあるの割合が 17.1%となっている。
- ・要支援認定者では、月に何度かあるの割合が 27.1%で最も高く、次いで、週に何度かあるとほとんどないの割合がともに 25.0%となっている。



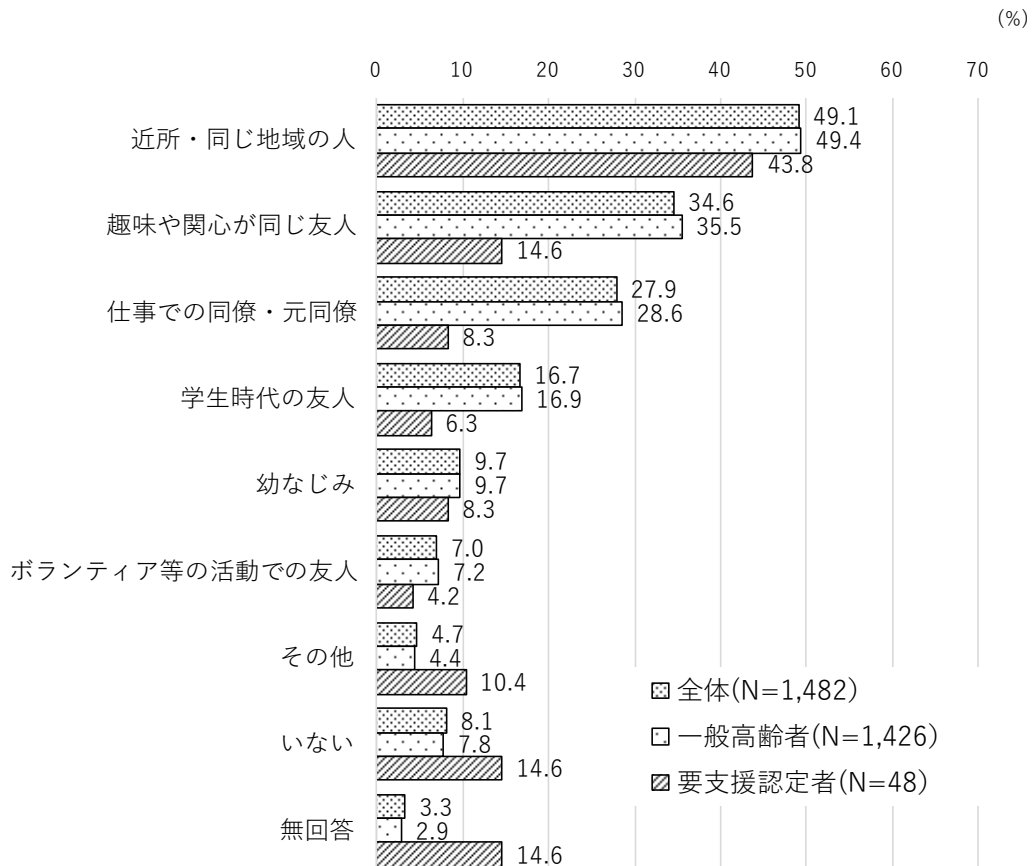
問 49 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つを選択)

- ・一般高齢者では、10人以上の割合が 27.0%で最も高く、次いで、3～5人の割合が 25.5%、1～2人の割合が 21.6%となっている。
- ・要支援認定者では、3～5人の割合が 35.4%で最も高く、次いで、1～2人の割合が 25.0%、0人(いない)の割合が 10.4%となっている。



問 50 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(複数選択可)

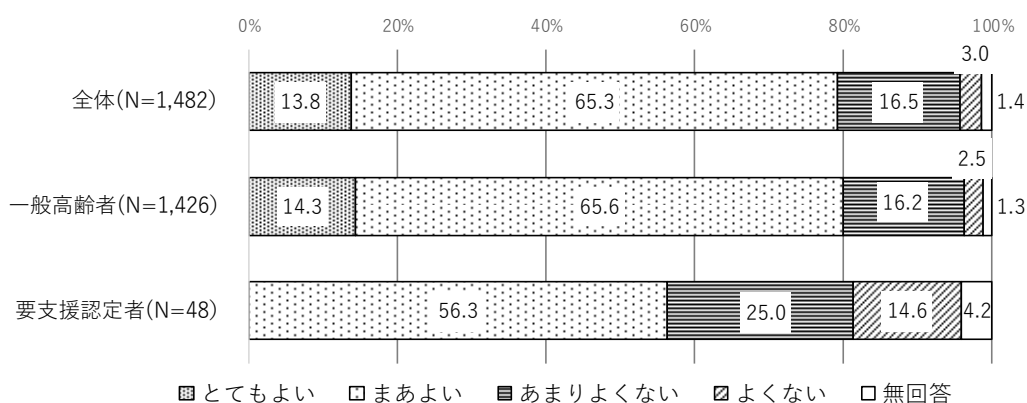
- ・一般高齢者では、近所・同じ地域の人割合が 49.4%で最も高く、次いで、趣味や関心が同じ友人の割合が 35.5%、仕事での同僚・元同僚の割合が 28.6%となっている。
- ・要支援認定者では、近所・同じ地域の人割合が 43.8%で最も高く、次いで、趣味や関心が同じ友人と知らないの割合がともに 14.6%となっている。



(8) 健康について

問 51 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

- ・とてもよいとまあよいをあわせた「健康状態がよい人」の割合は、一般高齢者で 79.9%、要支援認定者で 56.3%となっており、23.6ポイントの差となっている。
- ・あまりよくないとよくないをあわせた「健康状態がよくない人」の割合は、一般高齢者で 18.7%、要支援認定者で 39.6%となっており、20.9ポイントの差となっている。



問 52 あなたは、現在どの程度幸せですか。

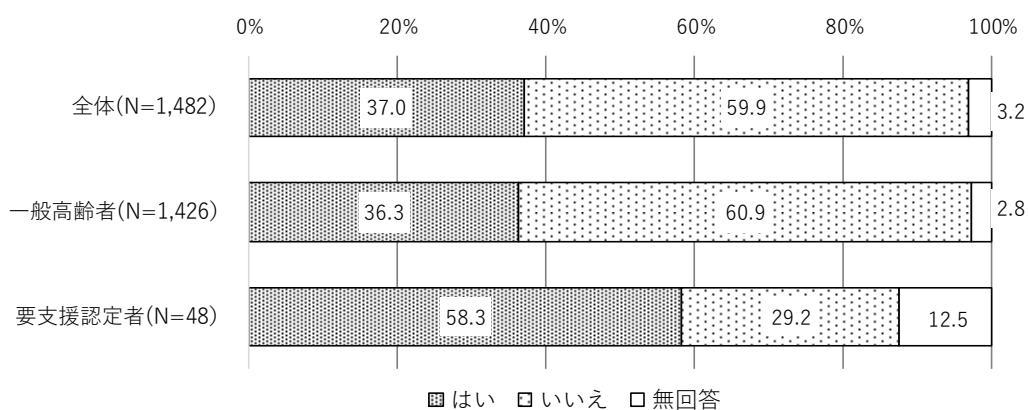
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○は1つだけつけてください)

- ・平均点は全体で 7.1 点、一般高齢者で 7.1 点、要支援認定者で 6.7 点となっている。

問 53 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

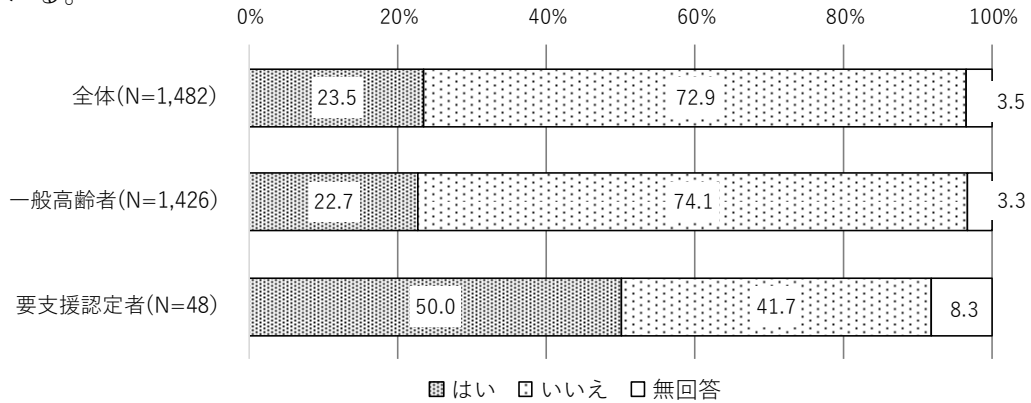
(1つを選択)

- ・はいの割合は、一般高齢者で 36.3%、要支援認定者で 58.3%となっており、22.0ポイントの差となっている。



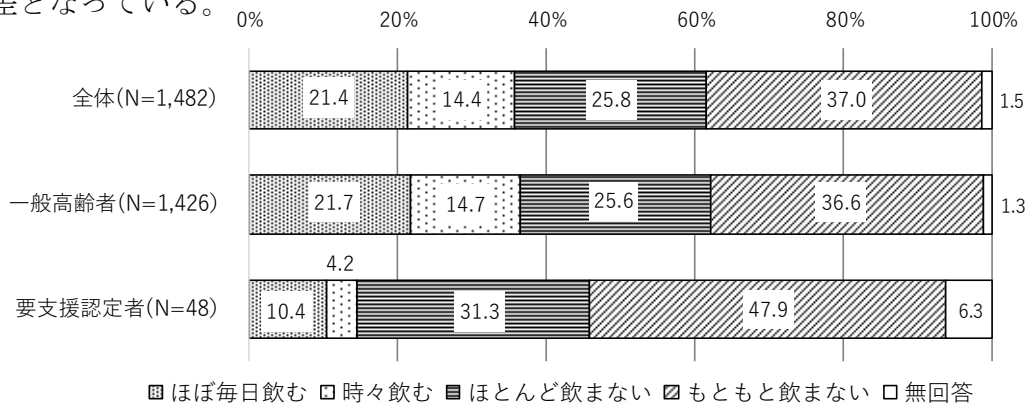
問 54 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

- ・ はいの割合は、一般高齢者で 22.7%、要支援認定者で 50.0%となっており、27.3ポイントの差となっている。



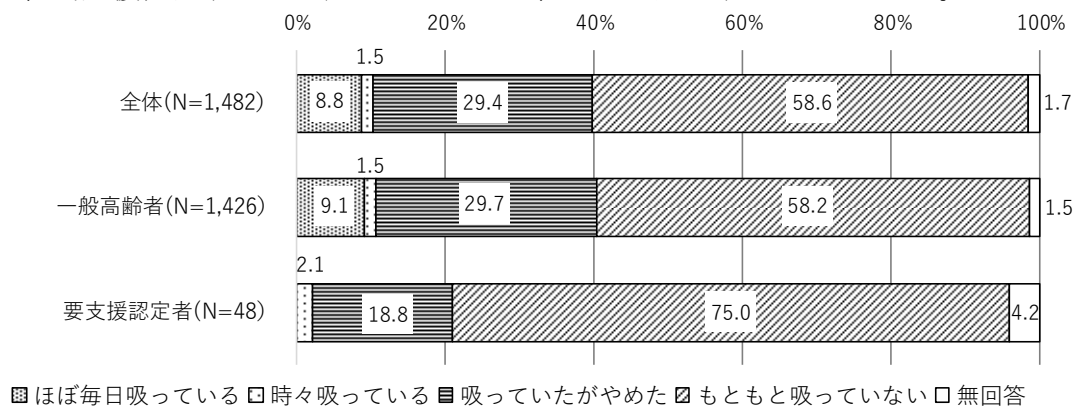
問 55 お酒は飲みますか。(1つを選択)

- ・ ほぼ毎日飲むの割合は、一般高齢者で 21.7%、要支援認定者で 10.4%となっており、11.3ポイントの差となっている。



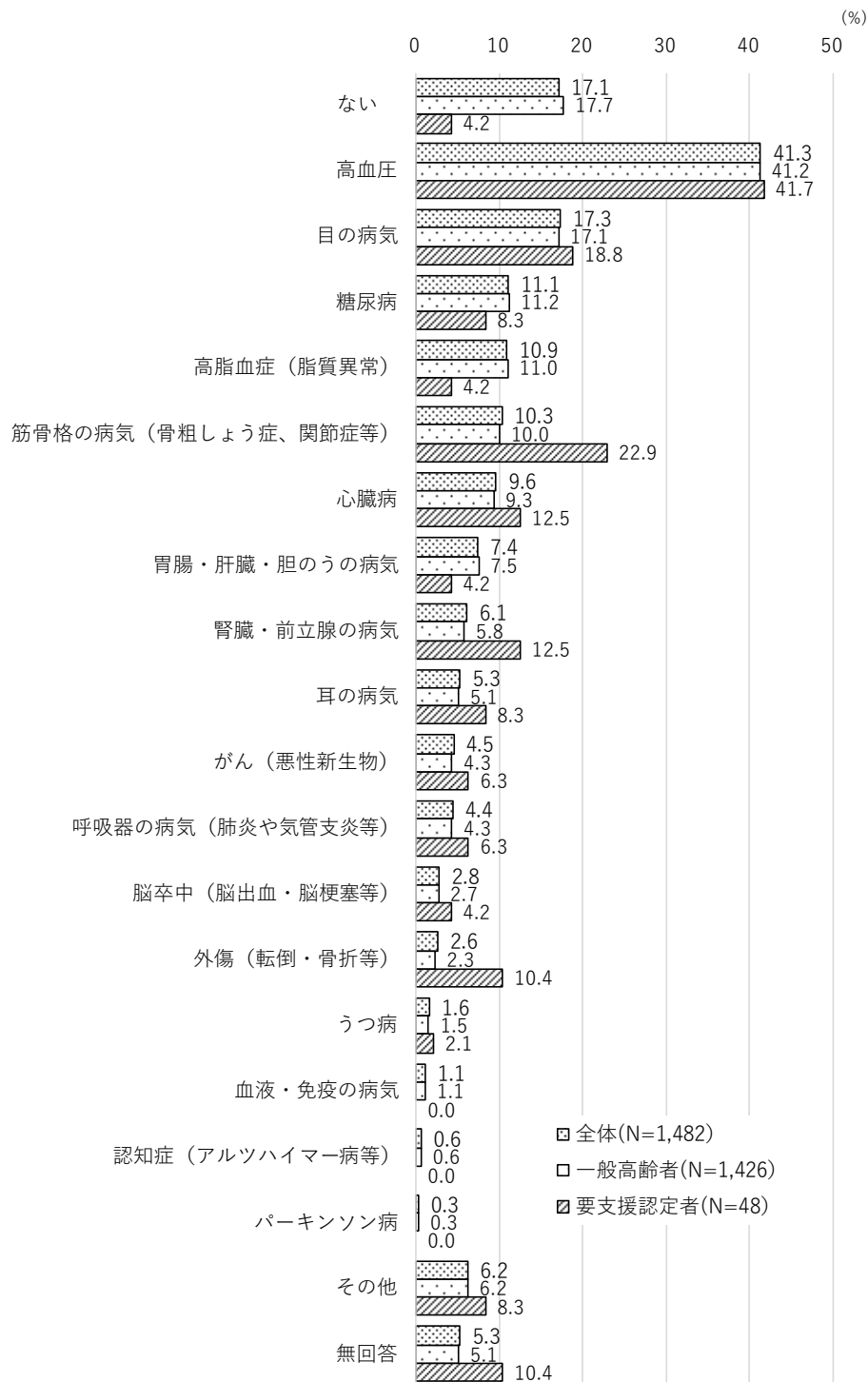
問 56 タバコは吸っていますか。(1つを選択)

- ・ ほぼ毎日吸っているとき々吸っているをあわせた「吸っている人」の割合は、一般高齢者で 10.6%、要支援認定者で 2.1%となっており、8.5ポイントの差となっている。



問 57 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

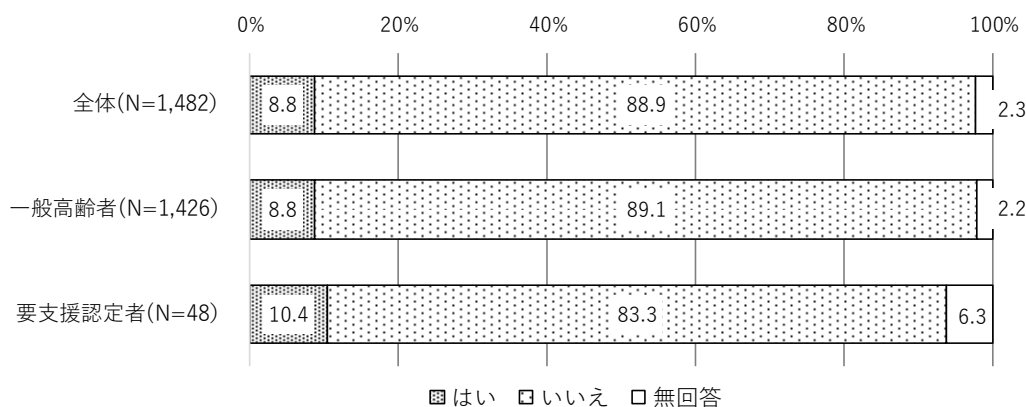
- ・一般高齢者では、高血圧の割合が 41.2%で最も高く、次いで、ないの割合が 17.7%、目の病気の割合が 17.1%となっている。
- ・要支援認定者では、高血圧の割合が 41.7%で最も高く、次いで、筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）の割合が 22.9%、目の病気の割合が 18.8%となっている。



（９）認知症にかかる相談窓口の把握について

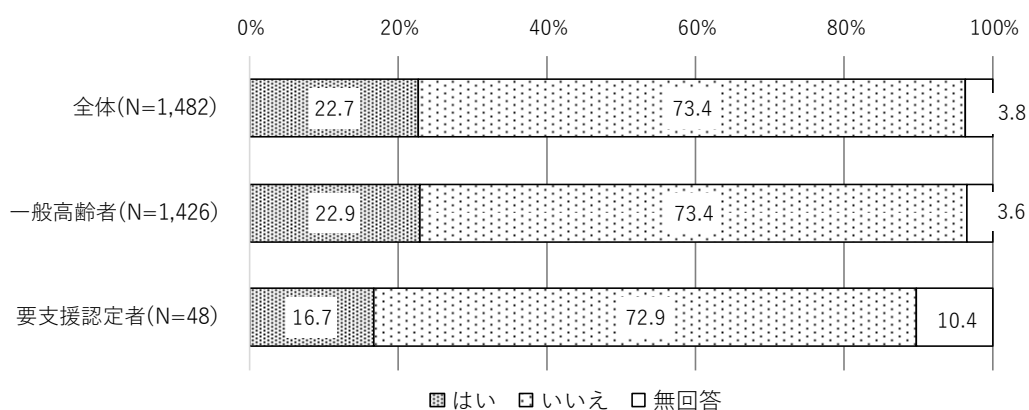
問 58 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（１つを選択）

- ・ はいの割合は、一般高齢者で 8.8%、要支援認定者で 10.4%となっており、1.6ポイントの差となっている。



問 59 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（１つを選択）

- ・ いいえの割合は、一般高齢者で 73.4%、要支援認定者で 72.9%となっており、0.5ポイントの差となっている。

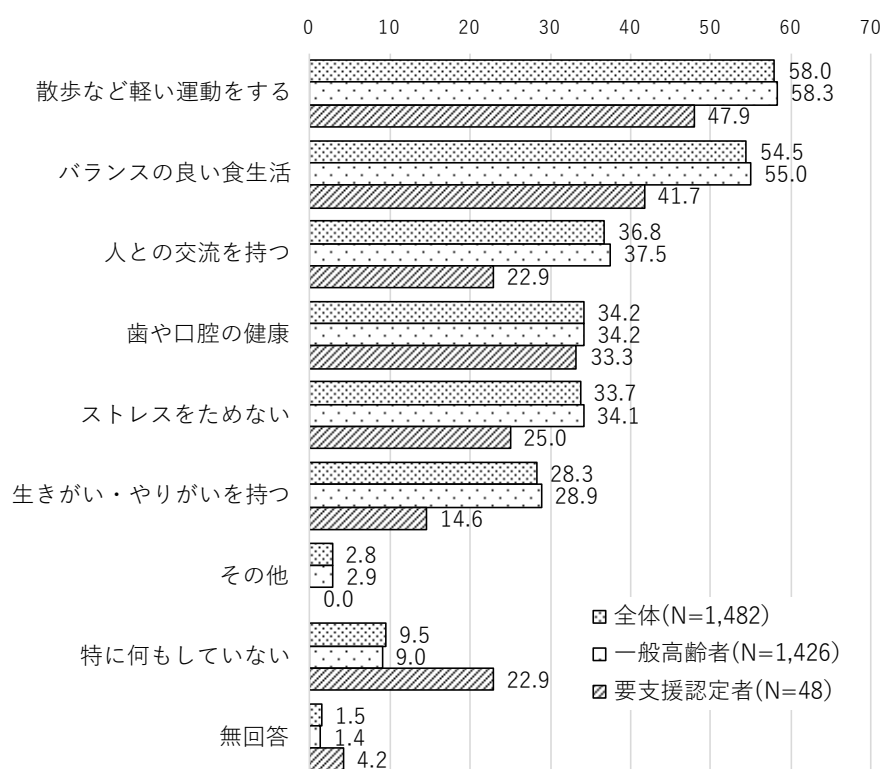


(10) 日ごろの生活について

問 60 健康のために特に気をつけていることは何ですか。(複数選択可)

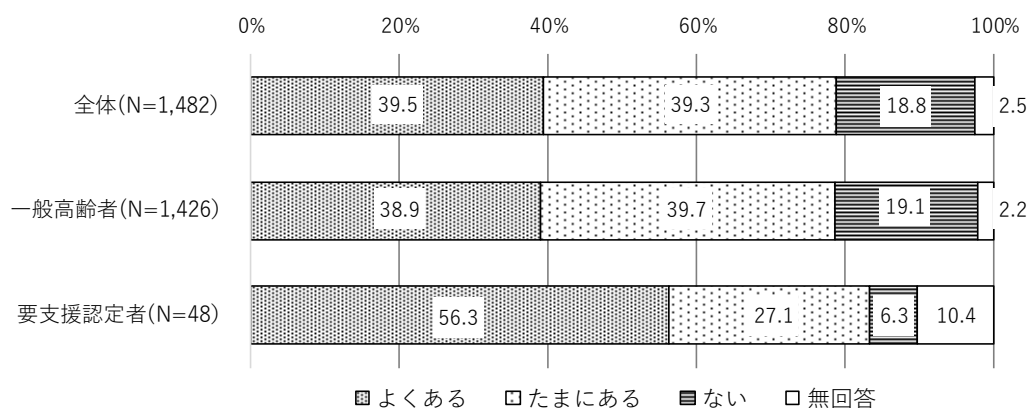
- ・一般高齢者では、散歩など軽い運動をするの割合が 58.3%で最も高く、次いで、バランスの良い食生活の割合が 55.0%、人との交流を持つ割合が 37.5%となっている。
- ・要支援認定者では、散歩など軽い運動をするの割合が 47.9%で最も高く、次いで、バランスの良い食生活の割合が 41.7%、歯や口腔の健康の割合が 33.3%となっている。

(%)



問 61 日中、1人になることがありますか。(1つを選択)

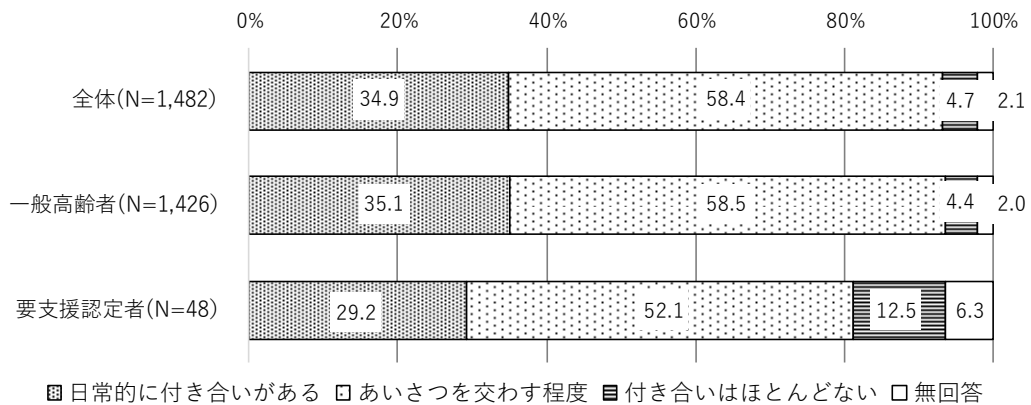
- ・よくあるの割合は、一般高齢者で 38.9%、要支援認定者で 56.3%となっており、17.4ポイントの差となっている。



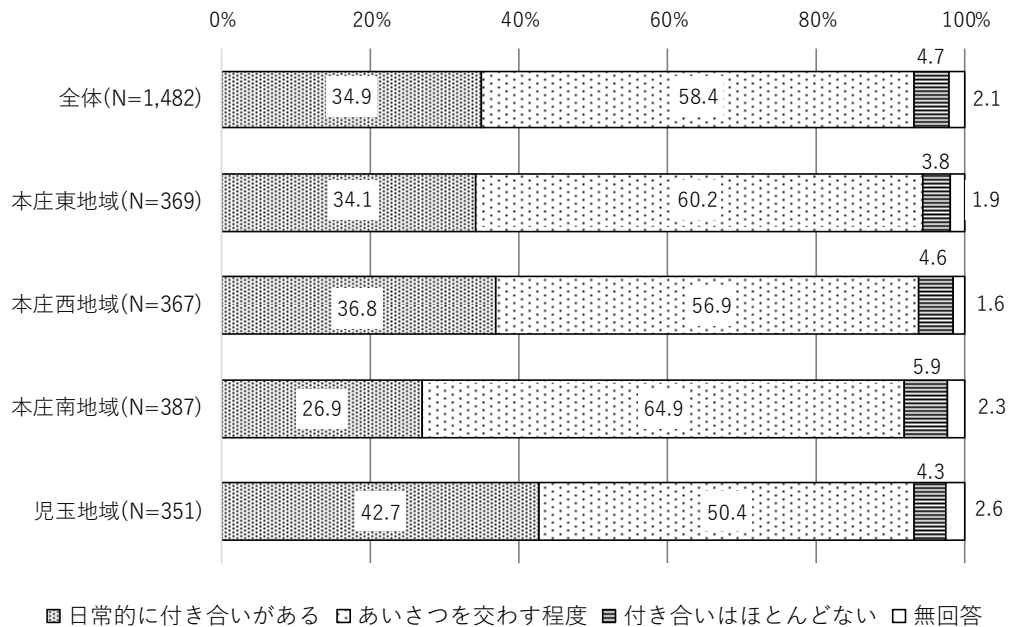
問 62 ご近所とお付き合いはどのような様子ですか。(1つを選択)

- ・日常的に付き合いがあるの割合は、一般高齢者では 35.1%、要支援認定者では 29.2%となっており、5.9ポイントの差となっている。
- ・日常生活圏域別に日常的に付き合いがあるの割合をみると、児玉地域で 42.7%、本庄西地域で 36.8%、本庄東地域で 34.1%、本庄南地域で 26.9%となっている。

〔一般高齢者・要支援認定者別〕

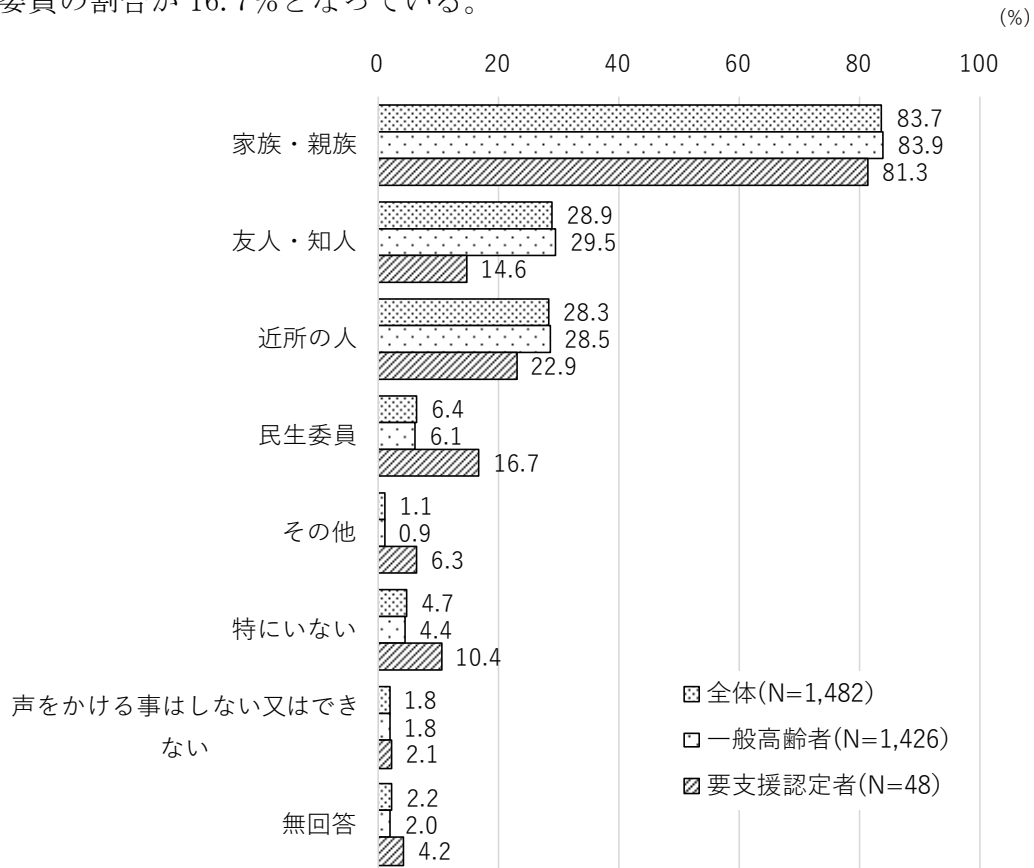


〔日常生活圏域別〕



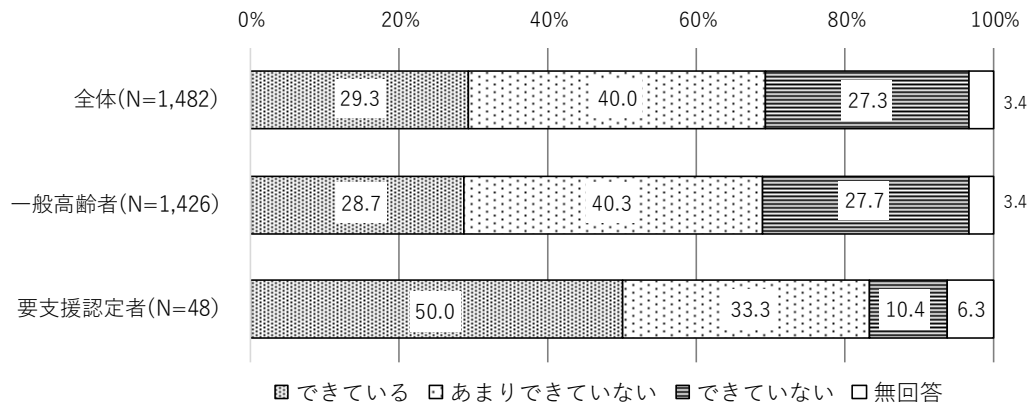
問 63 困った時に声をかければ、助けてくれたり、すぐに来てくれる人はいますか。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、家族・親族の割合が 83.9%で最も高く、次いで、友人・知人の割合が 29.5%、近所の人との割合が 28.5%となっている。
- ・要支援認定者では、家族・親族の割合が 81.3%で最も高く、次いで、近所の人との割合が 22.9%、民生委員の割合が 16.7%となっている。



問 64 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報を得ることができていますか。(1つを選択)

- ・あまりできていないとできていないをあわせた「情報を得ることができていない人」の割合は、一般高齢者で 68.0%、要支援認定者で 43.7%となっており、24.3ポイントの差となっている。



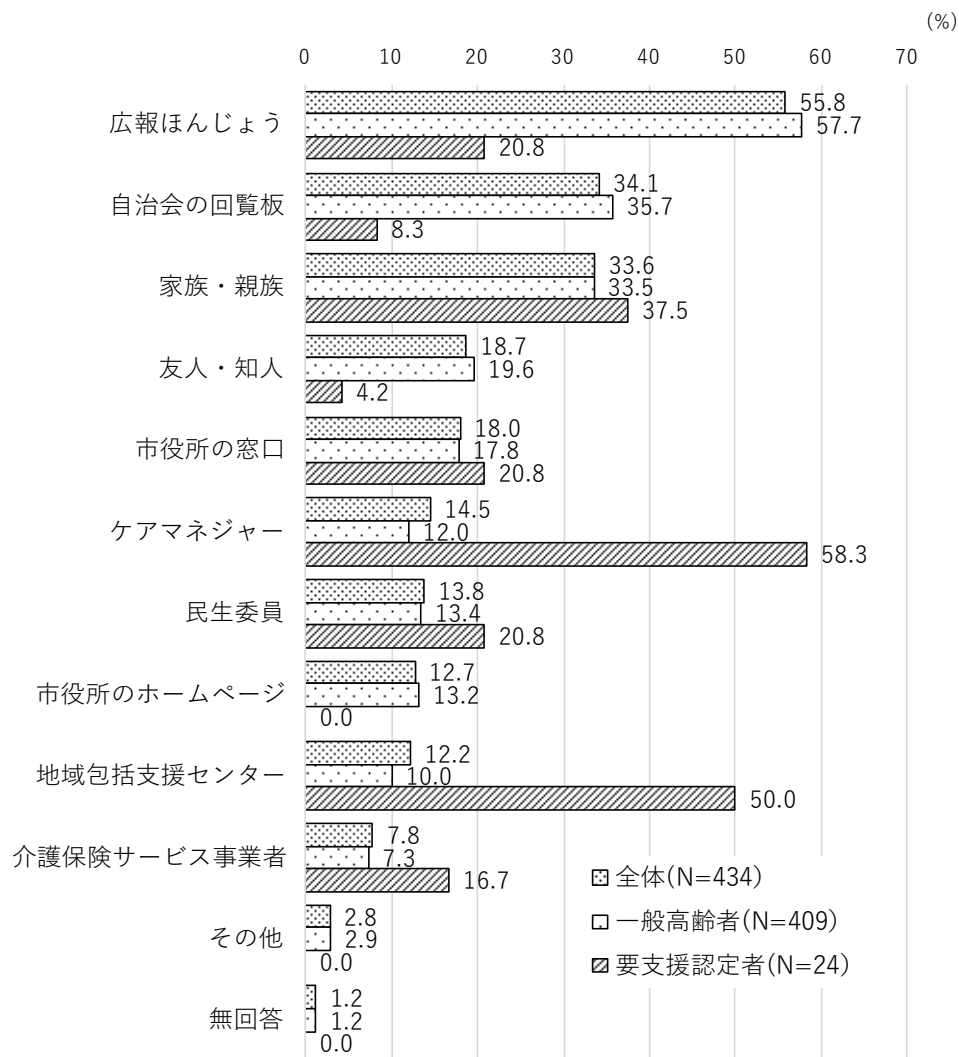
問 64 で「1. できている」と回答した方にお伺いします。

問 64-1 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか。

(複数選択可)

- ・一般高齢者では、広報ほんじょうの割合が 57.7%で最も高く、次いで、自治会の回覧板の割合が 35.7%、家族・親族の割合が 33.5%となっている。要支援認定者では、ケアマネジャーの割合が 58.3%で最も高く、次いで、地域包括支援センターの割合が 50.0%、家族・親族の割合が 37.5%となっている。
- ・日常生活圏域別にみると、広報ほんじょうの割合はどの圏域でも最も高くなっている。特に、本庄南地域では 66.1%と他圏域の中で最も高い割合となっている。自治会の回覧板の割合は児玉地域（38.0%）が高くなっている。家族・親族の割合は本庄西地域（38.4%）が高くなっている。

〔一般高齢者・要支援認定者別〕



〔日常生活圏域別〕

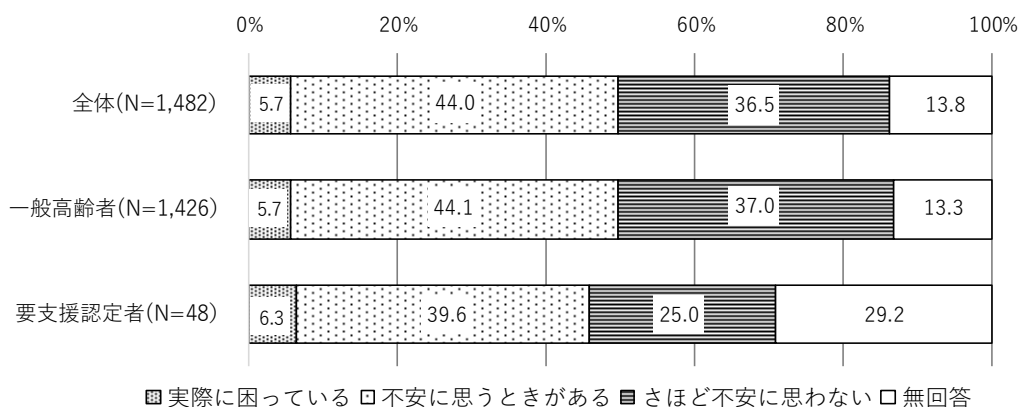
単位：％

区分	有効回答数（件）	広報ほんじょう	自治会の回覧板	家族・親族	友人・知人	市役所の窓口	ケアマネジャー	民生委員	市役所のホームページ	地域包括支援センター	介護保険サービス事業者	その他	無回答
全 体	434	55.8	34.1	33.6	18.7	18.0	14.5	13.8	12.7	12.2	7.8	2.8	1.2
本庄東地域	108	52.8	29.6	30.6	18.5	18.5	20.4	15.7	9.3	12.0	12.0	2.8	－
本庄西地域	99	53.5	31.3	38.4	25.3	23.2	13.1	11.1	12.1	13.1	6.1	3.0	4.0
本庄南地域	118	66.1	37.3	33.9	21.2	13.6	11.9	11.9	17.8	7.6	5.9	1.7	0.8
児玉地域	108	49.1	38.0	32.4	10.2	17.6	13.0	16.7	10.2	16.7	7.4	3.7	－

問 65 下記の事柄について、日頃不安に思うことはありますか。

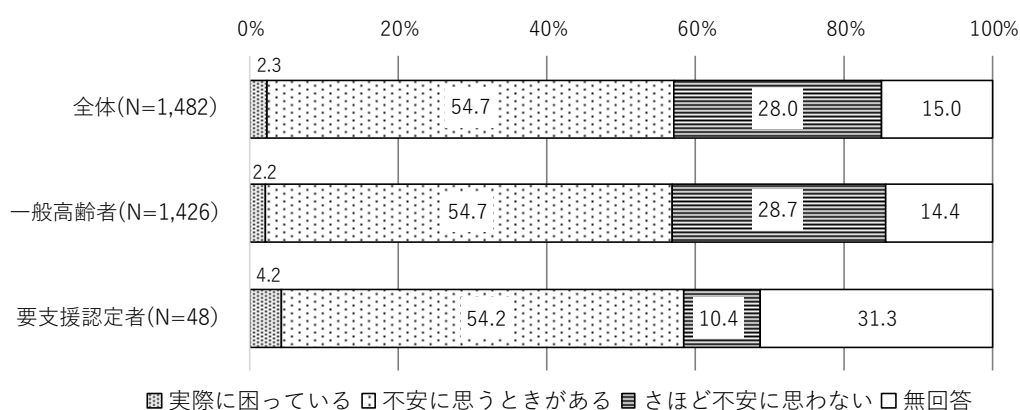
① 収入が不足して生活が苦しくなる

- ・実際に困っているの割合は、一般高齢者では 5.7％、要支援認定者では 6.3％となっており、0.6ポイントの差となっている。
- ・不安に思うときがあるの割合は、一般高齢者では 44.1％、要支援認定者では 39.6％となっており、4.5ポイントの差となっている。



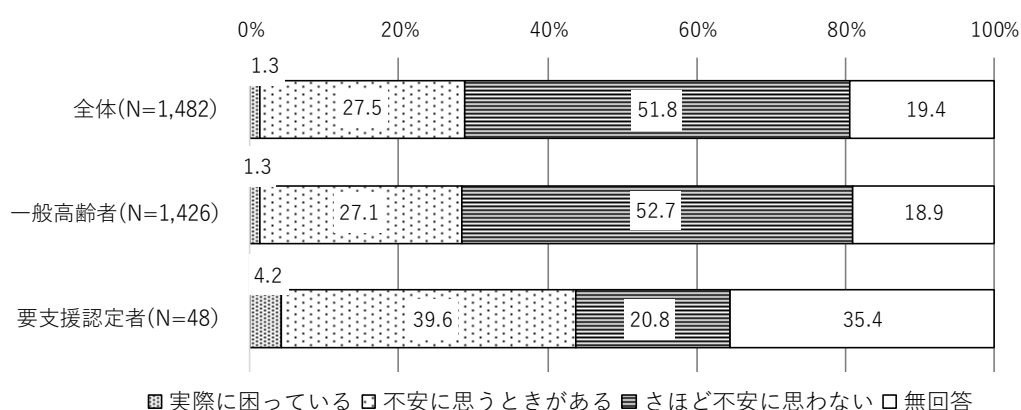
② 健康で自立した生活ができなくなる

- ・実際に困っているの割合は、一般高齢者では 2.2%、要支援認定者では 4.2%となっており、2.0ポイントの差となっている。
- ・不安に思うときがあるの割合は、一般高齢者では 54.7%、要支援認定者では 54.2%となっており、0.5ポイントの差となっている。



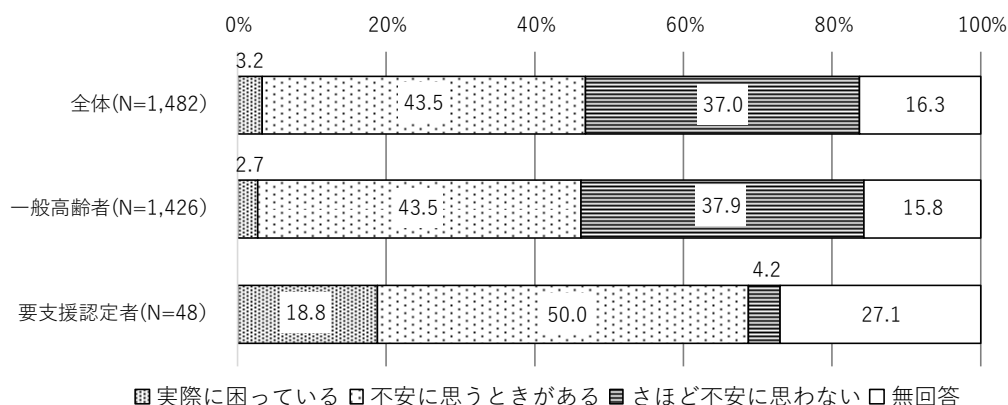
③ 社会から孤立した存在になる

- ・実際に困っているの割合は、一般高齢者では 1.3%、要支援認定者では 4.2%となっており、2.9ポイントの差となっている。
- ・不安に思うときがあるの割合は、一般高齢者では 27.1%、要支援認定者では 39.6%となっており、12.5ポイントの差となっている。



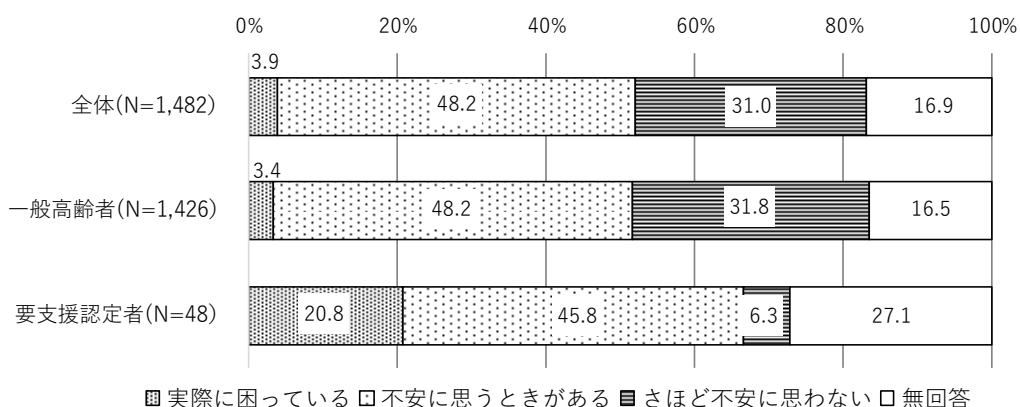
④ 災害の時に避難や対応ができなくなる

- ・実際に困っているの割合は、一般高齢者では 2.7%、要支援認定者では 18.8%となっており、16.1ポイントの差となっている。
- ・不安に思うときがあるの割合は、一般高齢者では 43.5%、要支援認定者では 50.0%となっており、6.5ポイントの差となっている。



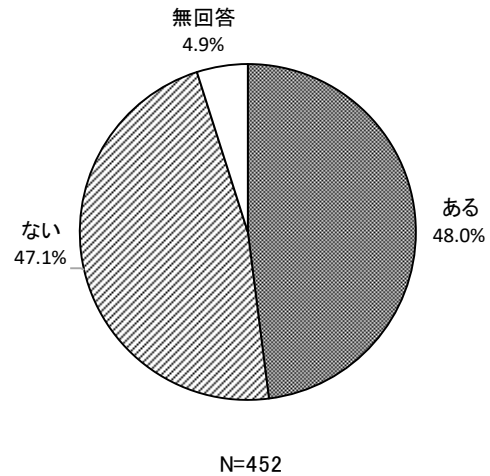
⑤ 家族が体調を崩したとき、その介護ができない

- ・実際に困っているの割合は、一般高齢者では 3.4%、要支援認定者では 20.8%となっており、17.4ポイントの差となっている。
- ・不安に思うときがあるの割合は、一般高齢者では 48.2%、要支援認定者では 45.8%となっており、2.4ポイントの差となっている。



問 66 お子さんと同居している方に伺います。お子さんの将来について不安がありますか。

- ・あるの割合は 48.0%、ないの割合は 47.1%となっている。



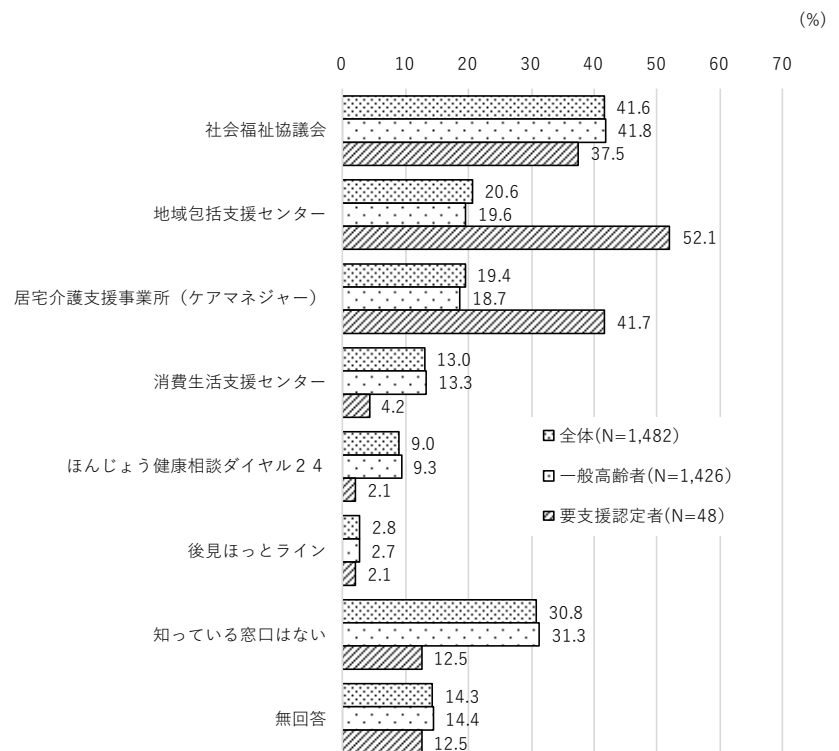
問 66 で「1. ある」と回答した方にお伺いします。

問 66-1 不安に思う内容を具体的に記入してください。

- ・不安に思う内容を分類すると、問 66 で「ある」と回答した 217 件中、未婚であることが 77 件、仕事をしていないが 22 件、収入が不安であるが 22 件、健康面が不安であるが 34 件となっている。

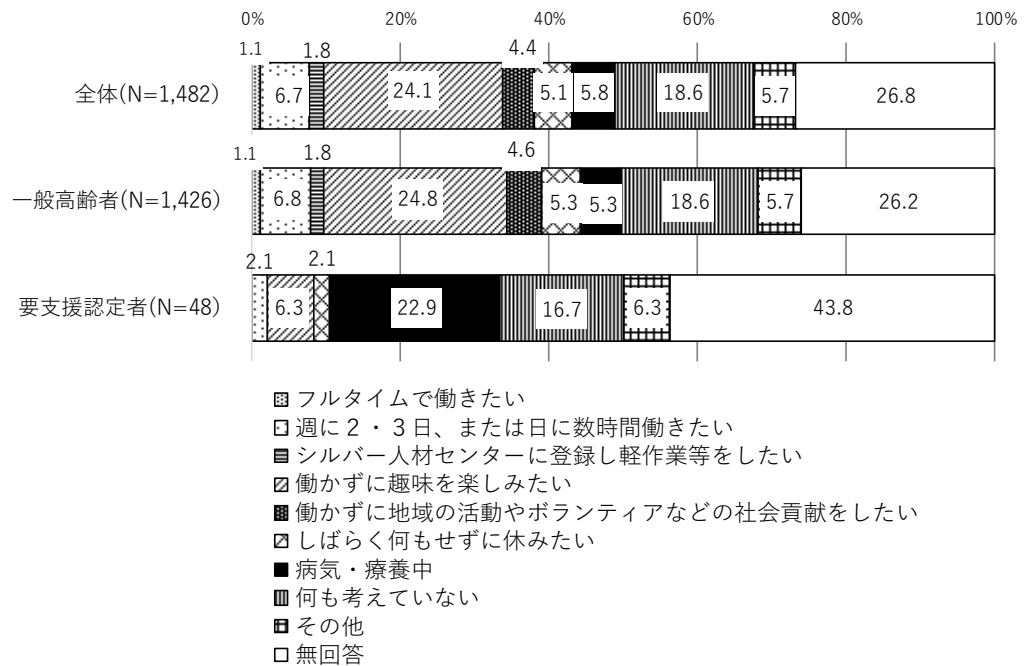
問 67 下記の相談窓口を知っていますか。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、社会福祉協議会の割合が 41.8%で最も高く、次いで、知っている窓口はないの割合が 31.3%、地域包括支援センターの割合が 19.6%となっている。
- ・要支援認定者では、地域包括支援センターの割合が 52.1%で最も高く、次いで、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）の割合が 41.7%、社会福祉協議会の割合が 37.5%となっている。



問 68 現在、仕事をしていない方、また、就業中の方は現在の仕事を退職(引退)後、どのようにしたいと思いますか。(1つを選択)

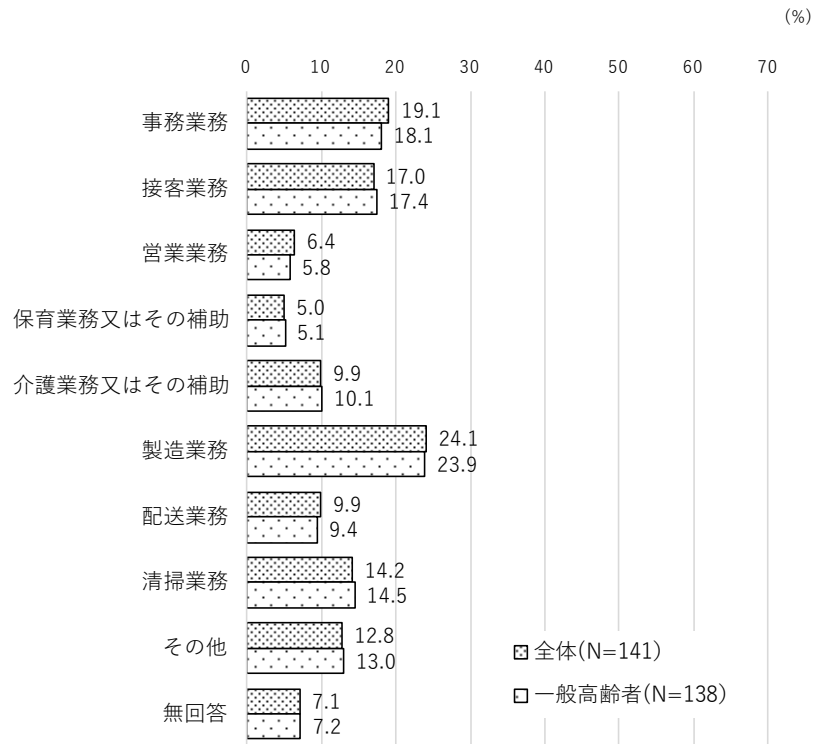
- ・一般高齢者では、働かずに趣味を楽しみたいの割合が 24.8%と最も高く、次いで、何も考えていないの割合が 18.6%となっている。なお、フルタイムで働きたい、週に 2・3 日、または日に数時間働きたい、シルバー人材センターに登録し軽作業等をしたいをあわせた「働きたい人」の割合は 9.7%となっている。
- ・要支援認定者では、病気・療養中の割合が 22.9%と最も高く、次いで、何も考えていないの割合が 16.7%となっている。なお、フルタイムで働きたい、週に 2・3 日、または日に数時間働きたい、シルバー人材センターに登録し軽作業等をしたいをあわせた「働きたい人」の割合は 2.1%となっている。



問 68 で「1、2、3」のいずれかを回答した方にお伺いします。

問 68-1 どのような業種で働きたいですか。

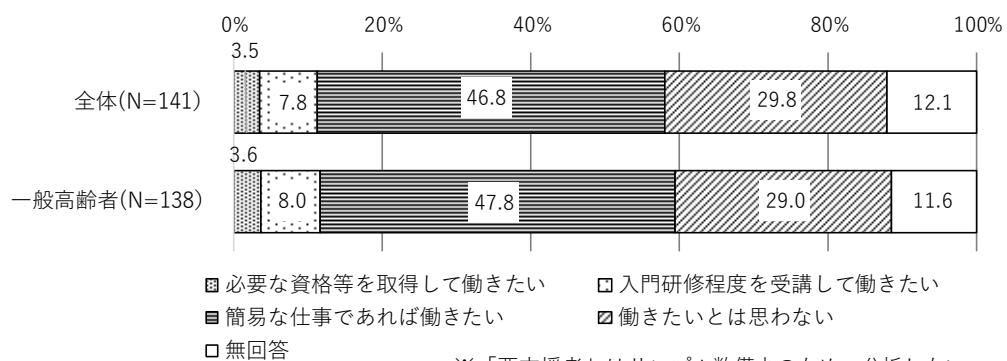
- ・一般高齢者では、製造業務の割合が 23.9%で最も高く、次いで、事務業務の割合が 18.1%、接客業務の割合が 17.4%となっている。



※「要支援者」はサンプル数僅少のため、分析しない

問 68-2 国の推計によると埼玉県では2025年には、介護人材が約 1 万 6 千人不足すると見込まれています。ますます増大する介護ニーズに対応するため、介護の担い手を確保しなければなりません。あなたは、介護施設等で働くことについてどのようなお考えをお持ちですか。(1つを選択)

- ・一般高齢者では、簡易な仕事であれば働きたいの割合が 47.8%で最も高く、次いで、働きたいとは思わないの割合が 29.0%となっている。

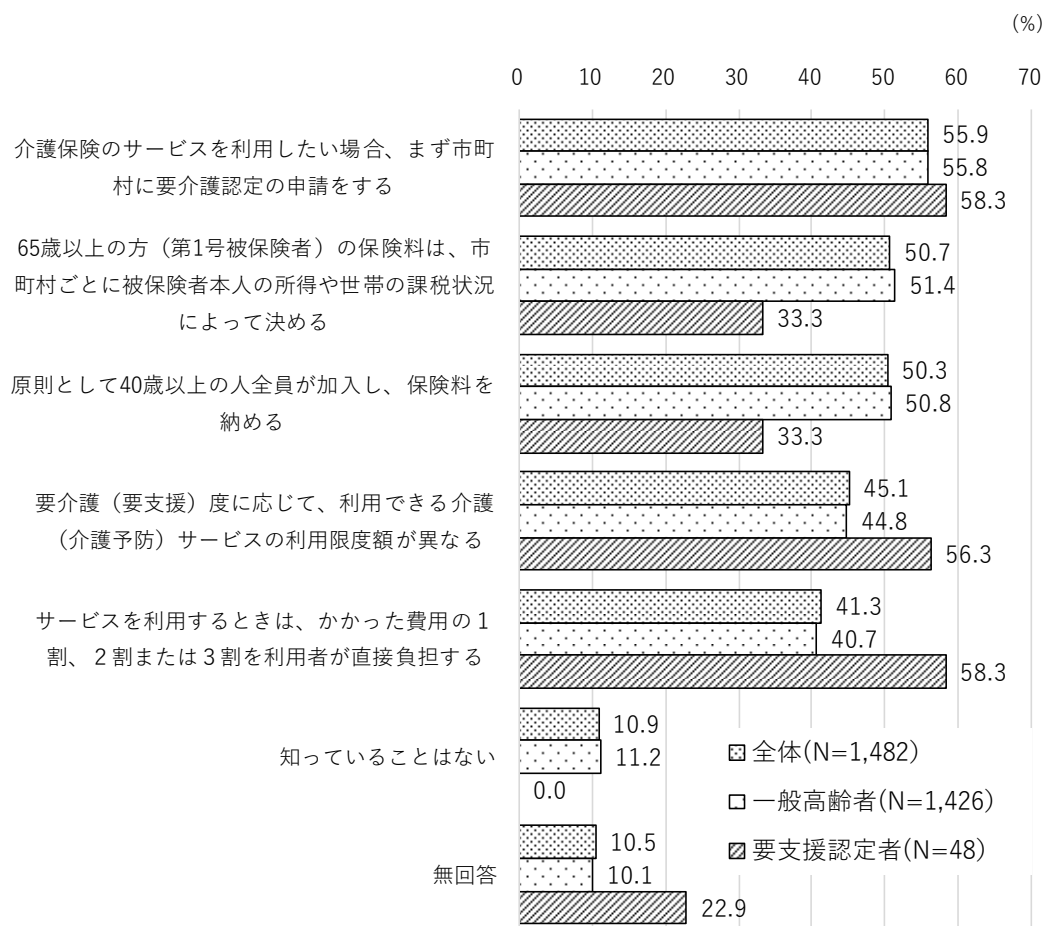


※「要支援者」はサンプル数僅少のため、分析しない

(11) 介護保険制度について

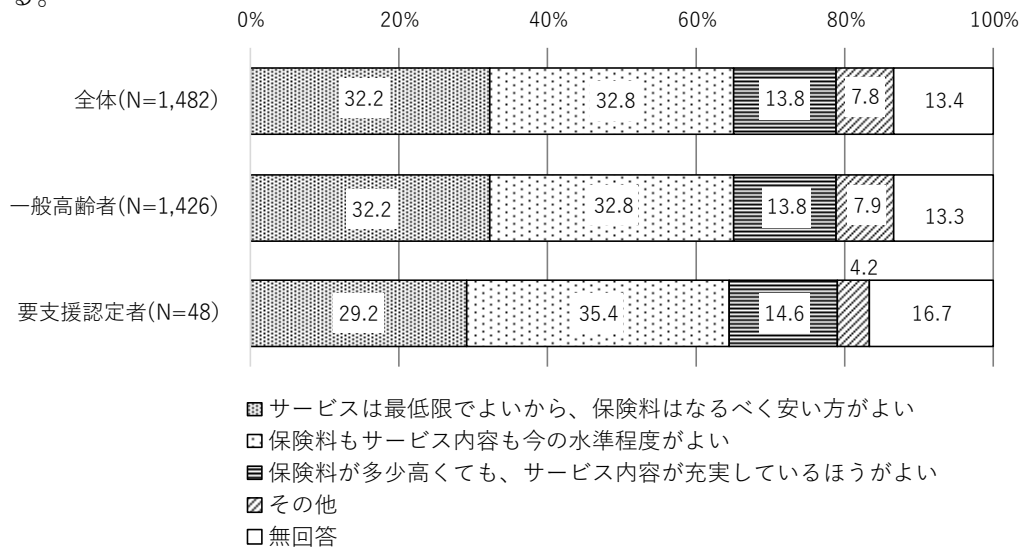
問 69 あなたは、介護保険制度についてどの程度ご存知ですか。下記の中から、ご存知のものをお選びください。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、「介護保険のサービスを利用したい場合、まず市町村に要介護認定の申請をする」の割合が 55.8%で最も高く、次いで、「65 歳以上の方（第 1 号被保険者）の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める」の割合が 51.4%、「原則として 40 歳以上の人全員が加入し、保険料を納める」の割合が 50.8%となっている。
- ・要支援認定者では、「介護保険のサービスを利用したい場合、まず市町村に要介護認定の申請をする」と「サービスを利用するときは、かかった費用の 1 割、2 割または 3 割を利用者が直接負担する」の割合がともに 58.3%で最も高く、次いで、「要介護（要支援）度に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる」の割合が 56.3%となっている。



問 70 あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのようにお考えですか。
(1つを選択)

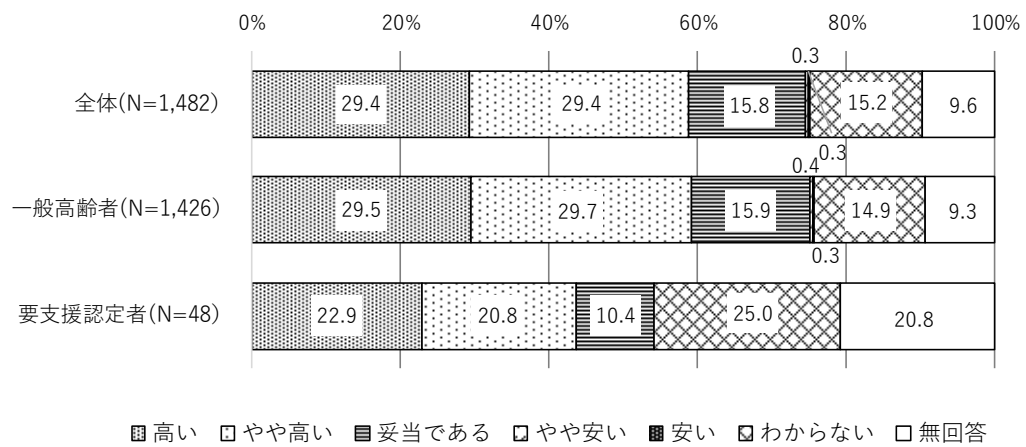
- ・一般高齢者では、保険料もサービス内容も今の水準程度がよいの割合が 32.8%で最も高く、次いで、サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安い方がよいの割合が 32.2%となっている。
- ・要支援認定者では、保険料もサービス内容も今の水準程度がよいの割合が 35.4%で最も高く、次いで、サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安い方がよいの割合が 29.2%となっている。



問 71 あなたは、介護保険料について、どのように感じていますか。(1つを選択)

※平成 30～令和 2 年度は、1号被保険者(65 歳以上)基準月額 5,100 円(所得に応じて 0.5 倍～2.0 倍)

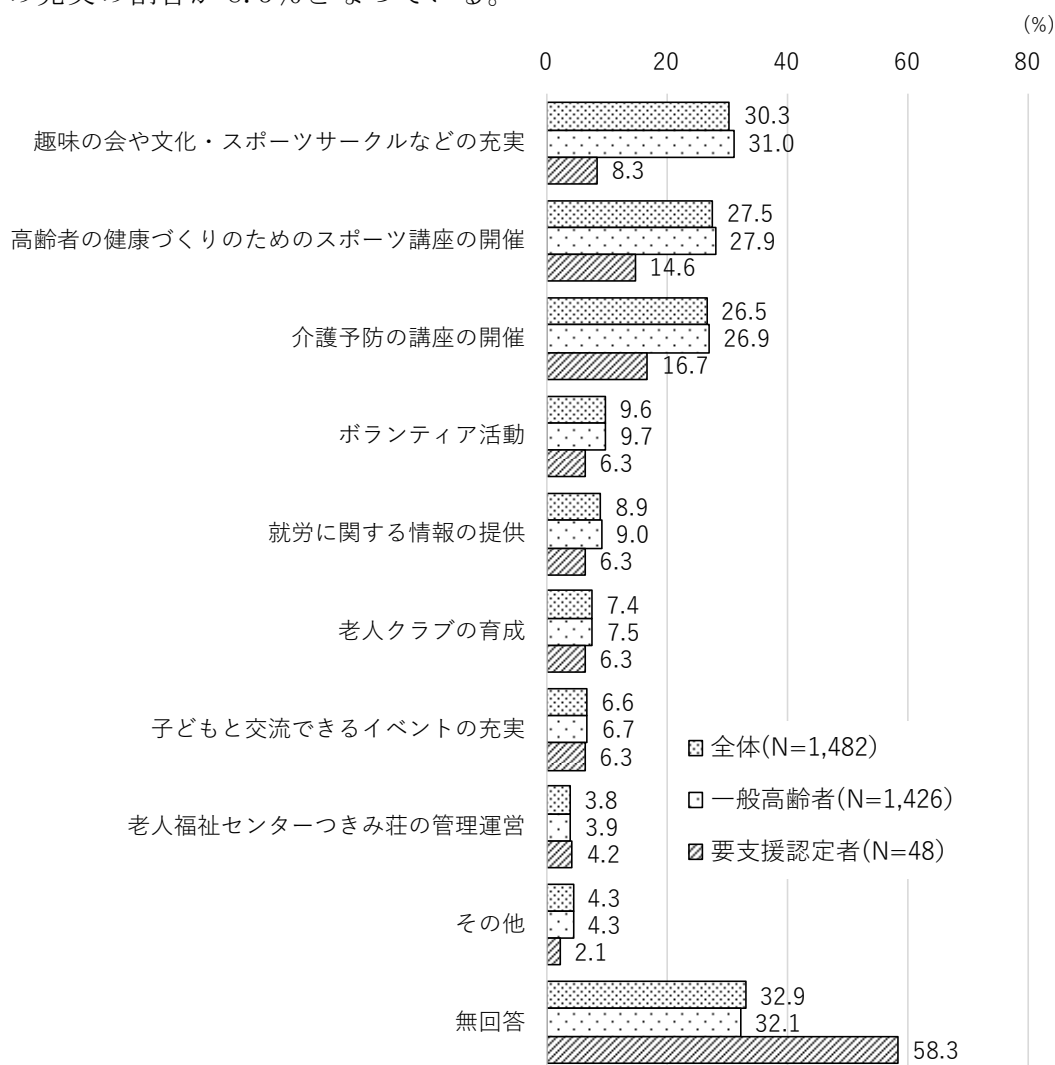
- ・高いとやや高いをあわせた「高いと感じる人」の割合は、一般高齢者で 59.2%、要支援認定者で 43.7%となっており、15.5ポイントの差となっている。
- ・妥当であるの割合は、一般高齢者で 15.9%、要支援認定者で 10.4%となっており、5.5ポイントの差となっている。
- ・やや安いと安いをあわせた「安いと感じる人」の割合は、一般高齢者で 0.7%、要支援認定者で 0.0%となっており、0.7ポイントの差となっている。



(12) 高齢者に関する施策について

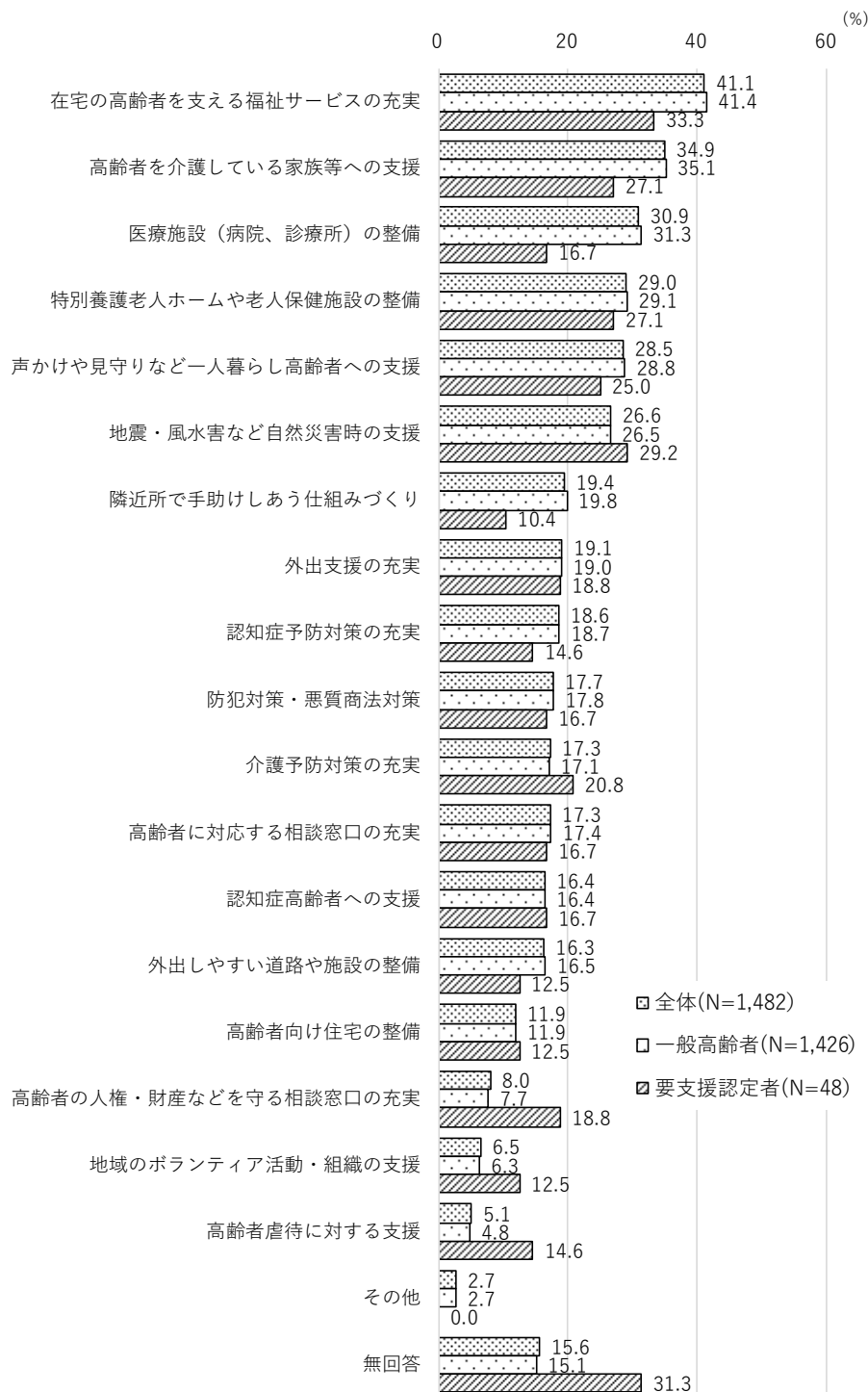
問 72 高齢者の健康づくりや生きがいがいづくりとして、今後、充実させてほしいことは何ですか。
(複数選択可)

- ・一般高齢者では、趣味の会や文化・スポーツサークルなどの充実の割合が 31.0%で最も高く、次いで、高齢者の健康づくりのためのスポーツ講座の開催の割合が 27.9%、介護予防の講座の開催の割合が 26.9%となっている。
- ・要支援認定者では、介護予防の講座の開催の割合が 16.7%と最も高く、次いで、高齢者の健康づくりのためのスポーツ講座の開催の割合が 14.6%、趣味の会や文化・スポーツサークルなどの充実の割合が 8.3%となっている。



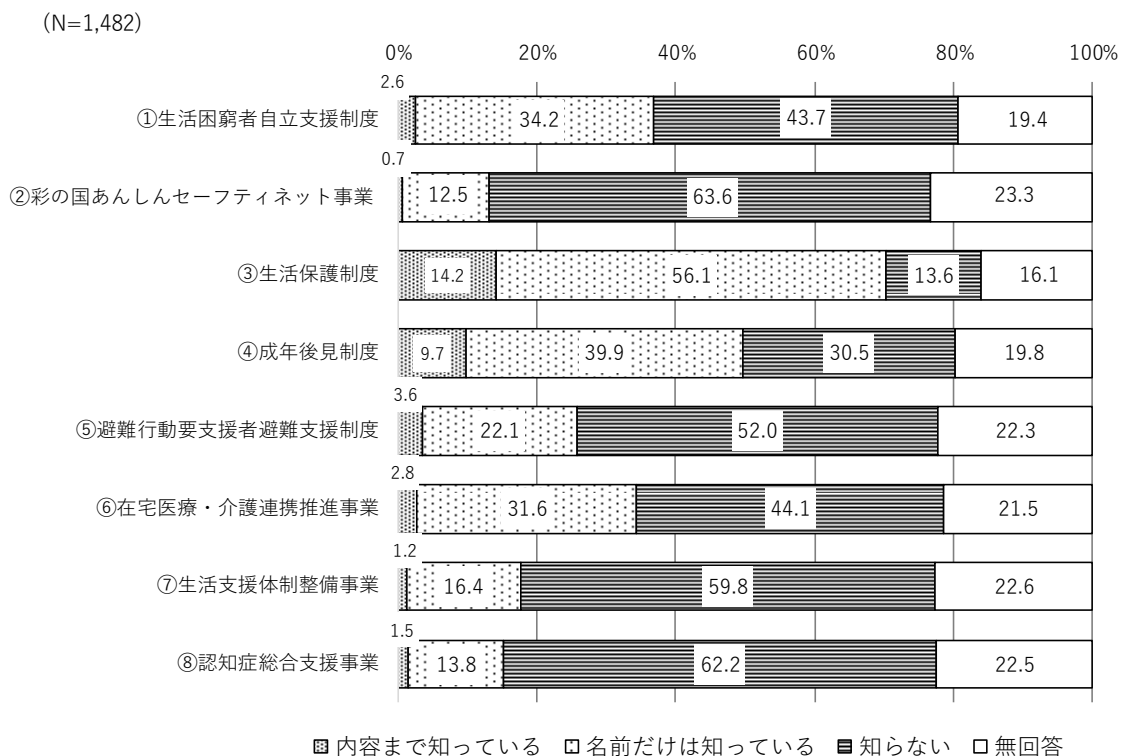
問 73 高齢者の施策として、今後、充実させてほしいことは何ですか。(複数選択可)

- ・一般高齢者では、在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実の割合が 41.4%で最も高く、次いで、高齢者を介護している家族等への支援の割合が 35.1%、医療施設（病院、診療所）の整備の割合が 31.3%となっている。
- ・要支援認定者では、在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実の割合が 33.3%と最も高く、次いで、地震・風水害など自然災害時の支援の割合が 29.2%、高齢者を介護している家族等への支援と特別養護老人ホームや老人保健施設の整備の割合がともに 27.1%となっている。



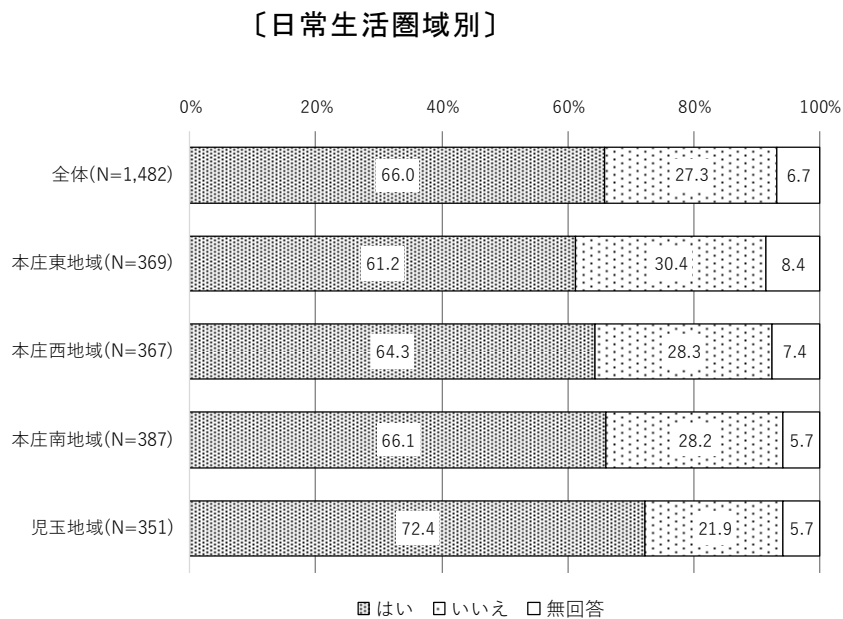
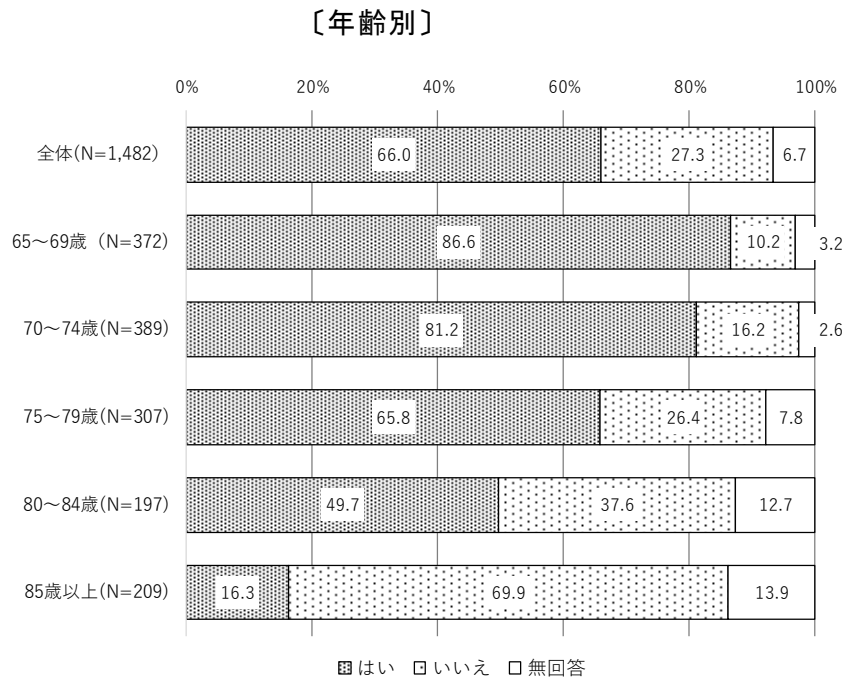
問 74 以下の制度や事業を知っていますか。(それぞれ1つを選択)

- ・①生活困窮者自立支援制度について、内容まで知っていると言前だけは知っているをあわせた「知っている人」の割合は 36.8%となっている。
- ・②彩の国あんしんセーフティネット事業について、「知っている人」の割合は 13.2%となっている。
- ・③生活保護制度について、「知っている人」の割合は 70.3%となっている。
- ・④成年後見制度について、「知っている人」の割合は 49.6%となっている。
- ・⑤避難行動要支援者避難支援制度について、「知っている人」の割合は 25.7%となっている。
- ・⑥在宅医療・介護連携推進事業について、「知っている人」の割合は 34.4%となっている。
- ・⑦生活支援体制整備事業について、「知っている人」の割合は 17.6%となっている。
- ・⑧認知症総合支援事業について、「知っている人」の割合は 15.3%となっている。
- ・認知度が最も高い制度・事業は③生活保護制度（「知っている人」：70.3%）で、次いで④成年後見制度（「知っている人」：49.6%）となっている。



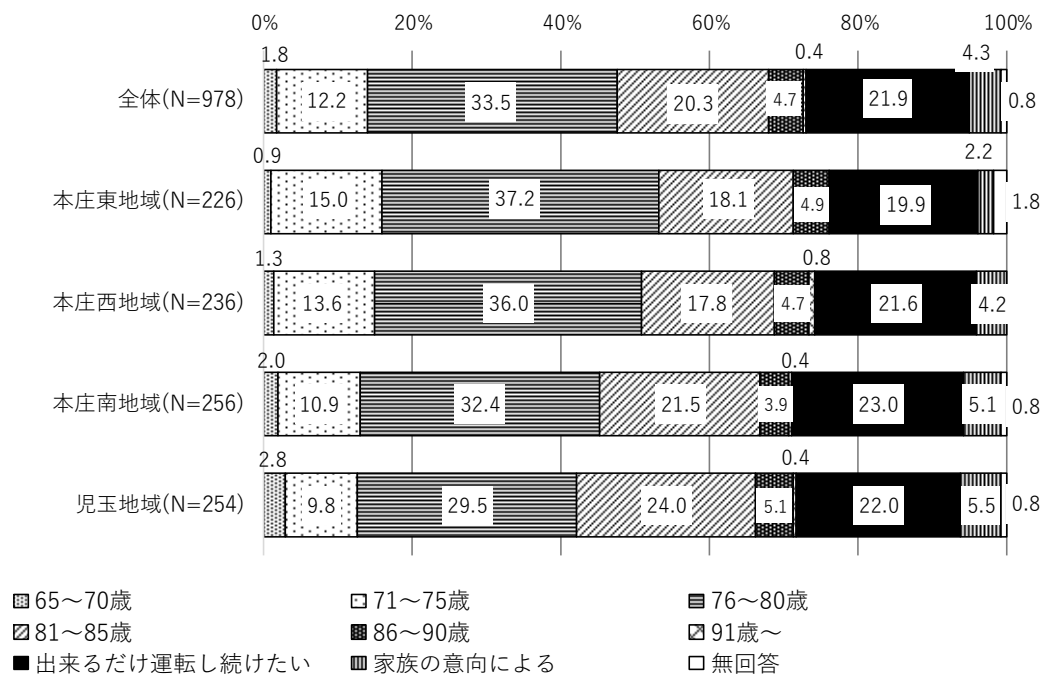
問 75 現在車の運転をしていますか。

- ・年齢別にみると、「はい」の割合は65～69歳で86.6%、70～74歳で81.2%、75～79歳で65.8%、80～84歳で49.7%、85歳以上で16.3%となっている。
- ・日常生活圏域別にみると、「はい」の割合は児玉地域が72.4%で最も高く、次いで、本庄南地域で66.1%、本庄西地域で64.3%、本庄東地域で61.2%となっている。



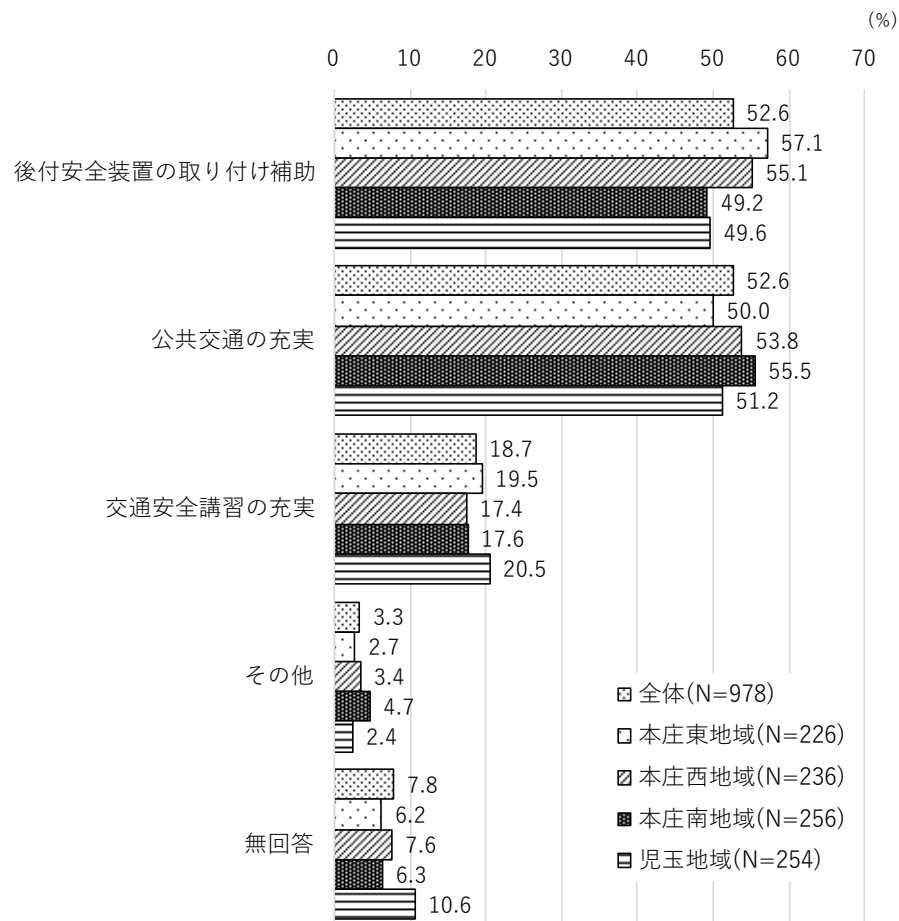
問 75-1 何歳まで車の運転をしたいと思いますか。(1つを選択)

- ・日常生活圏域別にみると、65～70歳は最も割合が高い児玉地域でも2.8%にとどまっている。
- ・71～75歳の割合は、本庄東地域が15.0%と最も高く、次いで、本庄西地域（13.6%）、本庄南地域（10.9%）、児玉地域（9.8%）となっている。
- ・76～80歳については各圏域において全年代中で最も高い割合を占めている。本庄東地域の割合が37.2%と最も高く、次いで、本庄西地域（36.0%）、本庄南地域（32.4%）、児玉地域（29.5%）となっている。
- ・出来るだけ運転し続けたいの割合は、各圏域で20%前後となっている。



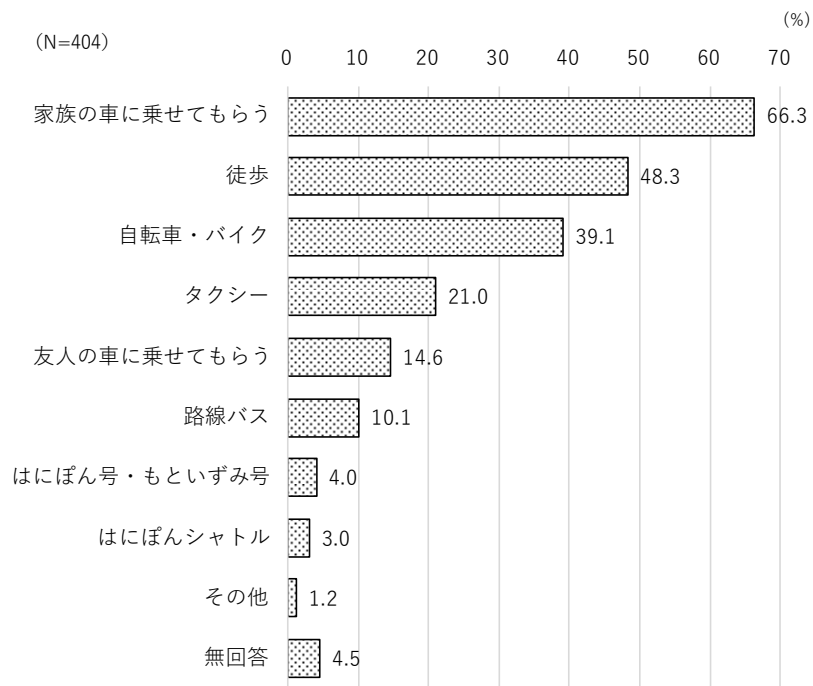
問 75-2 今後、充実させてほしい交通施策は何ですか。(複数選択可)

- ・各圏域で、後付安全装置の取り付け補助と公共交通の充実の割合は50%前後となっている。
- ・本庄東地域では、後付安全装置の取り付け補助の割合が57.1%と最も高く、次いで、公共交通の充実の割合が50.0%となっている。
- ・本庄西地域では、後付安全装置の取り付け補助の割合が55.1%と最も高く、次いで、公共交通の充実の割合が53.8%となっている。
- ・本庄南地域では、公共交通の充実の割合が55.5%と最も高く、次いで、後付安全装置の取り付け補助の割合が49.2%となっている。
- ・児玉地域では、公共交通の充実の割合が51.2%と最も高く、次いで、後付安全装置の取り付け補助の割合が49.6%となっている。



問 75-3 市内を移動する際の移動手段についてお答え下さい。(複数選択可)

- ・問 75 で「いいえ」と回答した人(車を運転しない人)を対象に移動手段について尋ねたところ、家族の車に乗せてもらうの割合が 66.3%で最も高く、次いで、徒歩の割合が 48.3%、自転車・バイクの割合が 39.1%となっている。
- ・日常生活圏域別にみると、家族の車に乗せてもらうの割合が最も高いのは本庄西地域(72.1%)となっている。徒歩の割合が最も高いのは本庄東地域(50.9%)となっている。自転車・バイクの割合が最も高いのは、本庄南地域(44.0%)となっている。



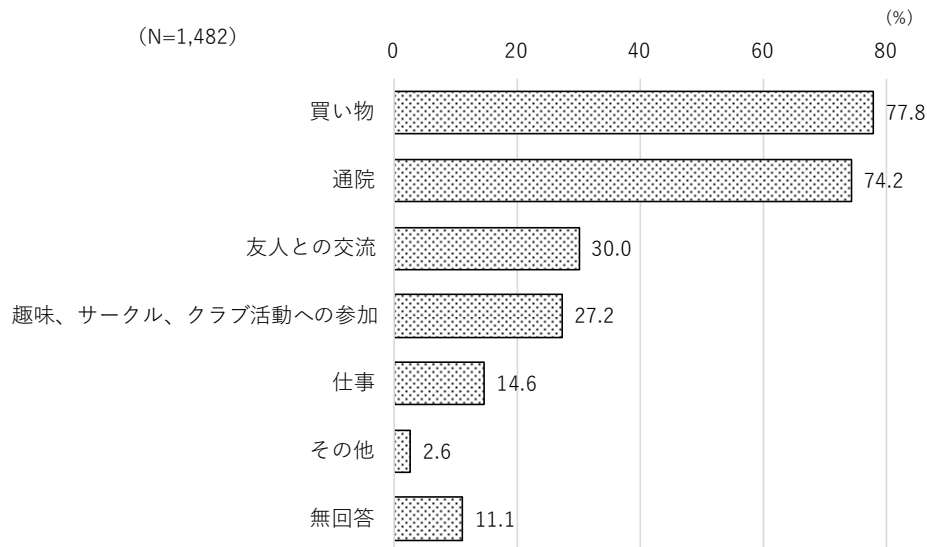
〔日常生活圏域別〕

単位: %

区分	有効回答数(件)	家族の車に乗せてもらう	徒歩	自転車・バイク	タクシー	友人の車に乗せてもらう	路線バス	はにぼん号・もといずみ号	はにぼんシャトル	その他	無回答
全 体	404	66.3	48.3	39.1	21.0	14.6	10.1	4.0	3.0	1.2	4.5
本庄東地域	112	66.1	50.9	42.9	22.3	17.0	4.5	2.7	4.5	0.9	4.5
本庄西地域	104	72.1	48.1	36.5	22.1	10.6	3.8	4.8	1.0	-	5.8
本庄南地域	109	60.6	50.5	44.0	25.7	11.0	10.1	2.8	3.7	2.8	0.9
児玉地域	77	67.5	41.6	28.6	11.7	22.1	27.3	6.5	2.6	1.3	7.8

問 76 車の運転をしていない、若しくは運転をしなくなった際に困ることはありますか。(複数選択可)

- ・全体では、買い物の割合が 77.8%で最も高く、次いで、通院の割合が 74.2%、友人との交流の割合が 30.0%となっている。
- ・日常生活圏域別にみると、買い物の割合が最も高いのは本庄南地域（80.1%）となっている。通院の割合が最も高いのは本庄南地域（76.0%）となっている。友人との交流の割合が最も高いのは、児玉地域（34.8%）となっている。



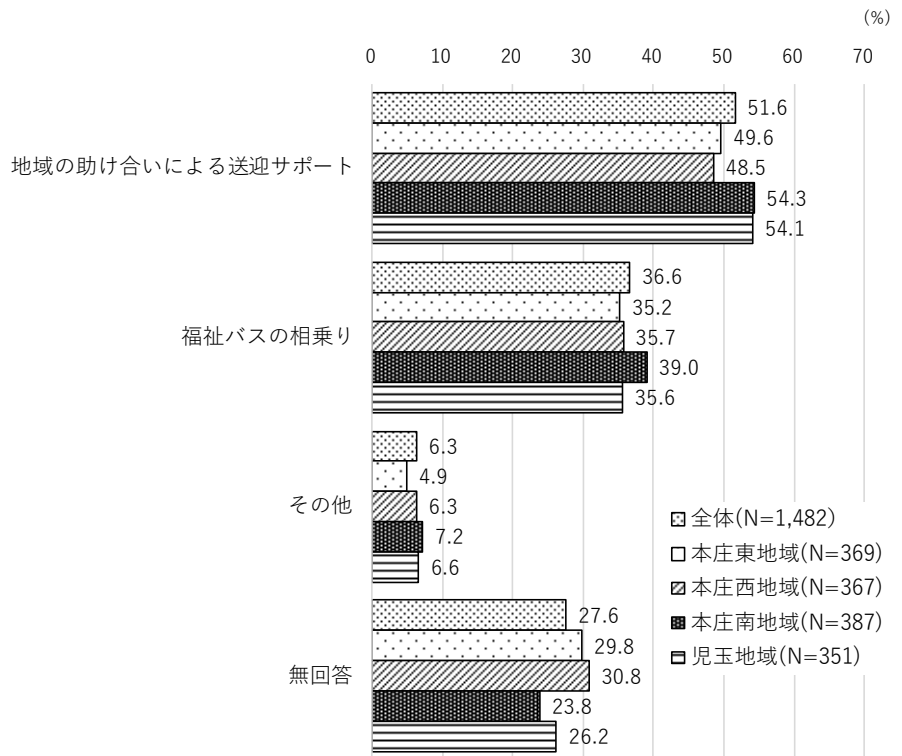
〔日常生活圏域別〕

単位：%

区分	有効回答数(件)	買い物	通院	友人との交流	趣味、サークル、クラブ活動への参加	仕事	その他	無回答
全 体	1,482	77.8	74.2	30.0	27.2	14.6	2.6	11.1
本庄東地域	369	74.5	71.3	26.6	24.4	12.7	2.2	13.3
本庄西地域	367	77.7	73.8	29.7	27.5	14.7	1.9	12.3
本庄南地域	387	80.1	76.0	29.5	31.5	12.4	1.8	9.0
児玉地域	351	78.9	75.5	34.8	24.8	18.5	4.6	10.0

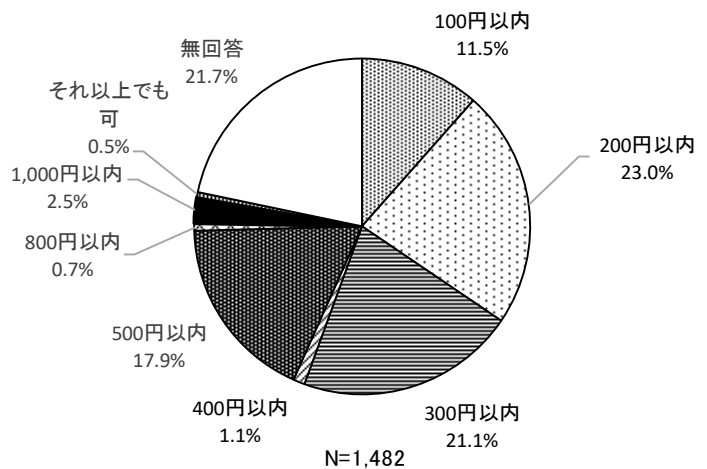
問 77 下記の移動支援があれば利用したいと思いますか。(利用したいものすべて)

- ・全体では、地域の助け合いによる送迎サポートの割合が51.6%と最も高くなっている。
- ・日常生活圏域別にみると、各圏域ともに、地域の助け合いによる送迎サポートの割合が最も高く、特に、本庄南地域では54.3%になっている。



問 78 もし設問 77 の移動手段を利用できるとしたら、1 回あたりの料金(片道)はいくら位までなら自己負担できると思いますか。

- ・200 円以内の割合が23.0%と最も高くなっている。次いで、300 円以内の割合が21.1%、500 円以内の割合が17.9%、100 円以内の割合が11.5%となっている。



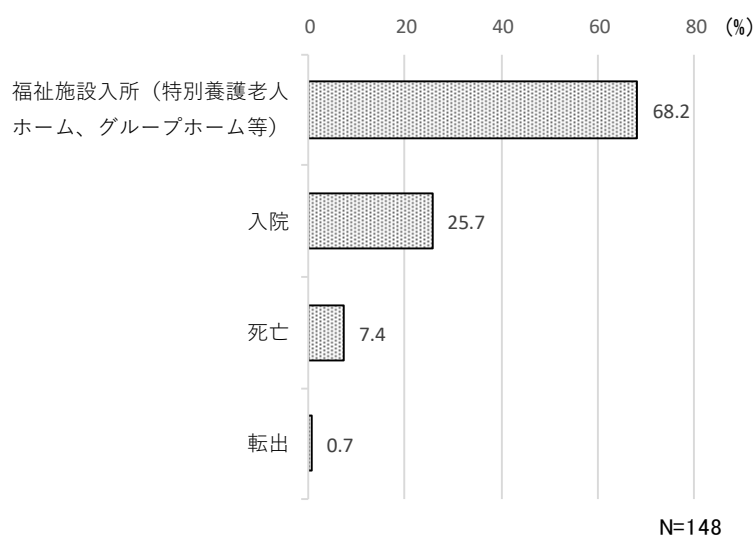
2 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査における発送・回収状況は以下のとおり。

発送数	1,000 件
回収数	662 件
(回収率)	(66.2%)
有効回答数	514 件
(有効回答率)	(51.4%)
(無効回答数)	(148 件)

回答できない場合の理由(無効回答の内訳)(複数回答可)

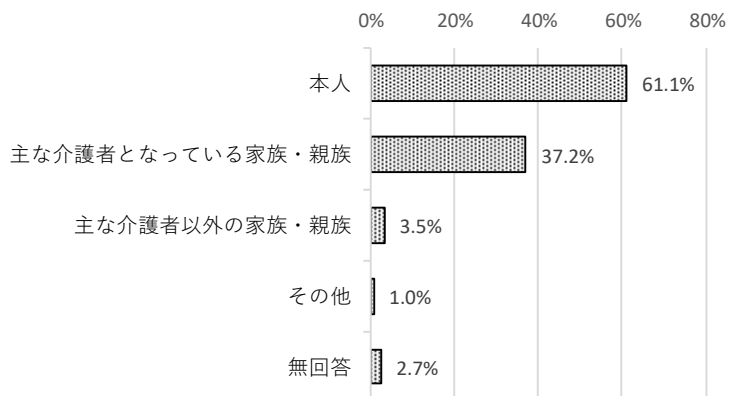
- ・返信はされたが回答できない理由が記されていやものは148件で、理由としては「福祉施設入所（特別養護老人ホーム、グループホーム等）」が68.2%で最も多く、「入院」も25.7%あった。



A票 ご本人について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

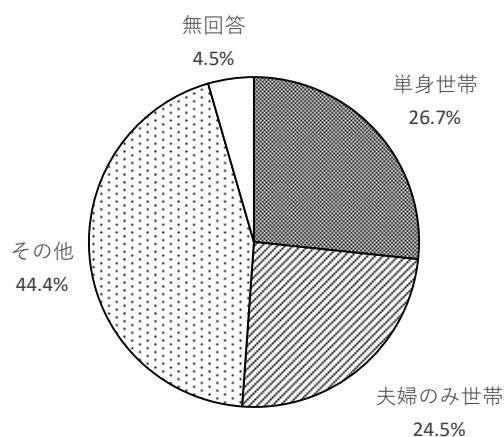
- ・本人が 61.1%で最も多く、次いで主な介護者となっている家族・親族が 37.2%となっている。



N=514

問2 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

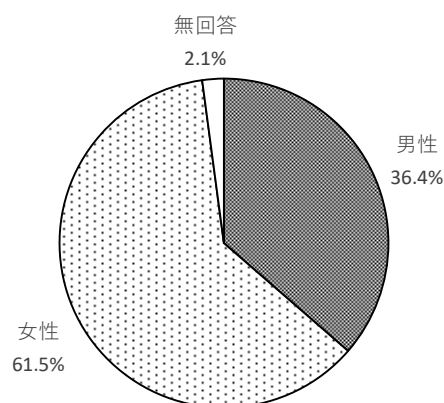
- ・単身世帯が 26.7%。
- ・夫婦のみ世帯は 24.5%。
- ・両者の合計（高齢者のみの世帯にほぼ等しい）は 51.2%。



N=514

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

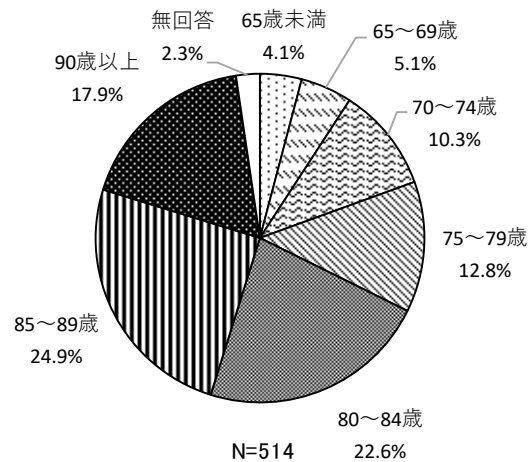
- ・男性が 36.4%。
- ・女性は 61.5%。



N=514

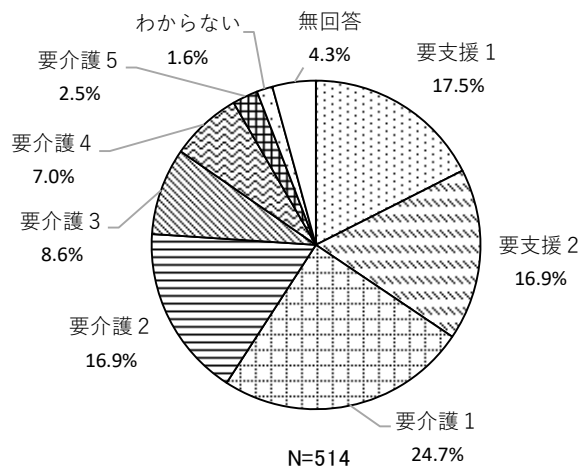
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・ 85～89 歳が 24.9%で最も多く、次いで 80～89 歳が 22.6%で、80 歳代が全体の 47.5%を占めた。
- ・ 前期高齢者は 19.5%、後期高齢者は 65.4%となっている。



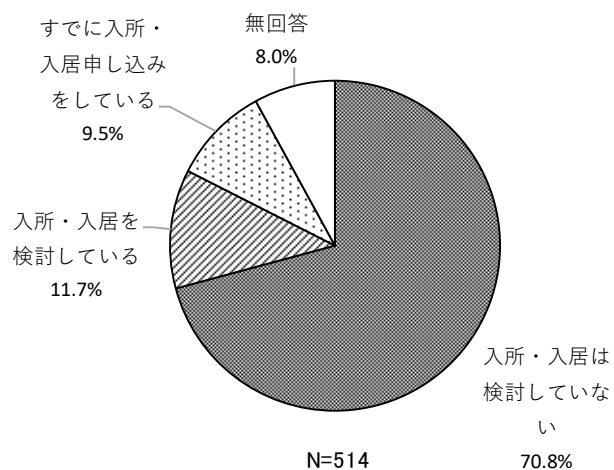
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・ 要支援 1～2 は 34.4%。
- ・ 要介護 1～2 は 41.6%。
- ・ 要介護 3 以上は 18.1%。



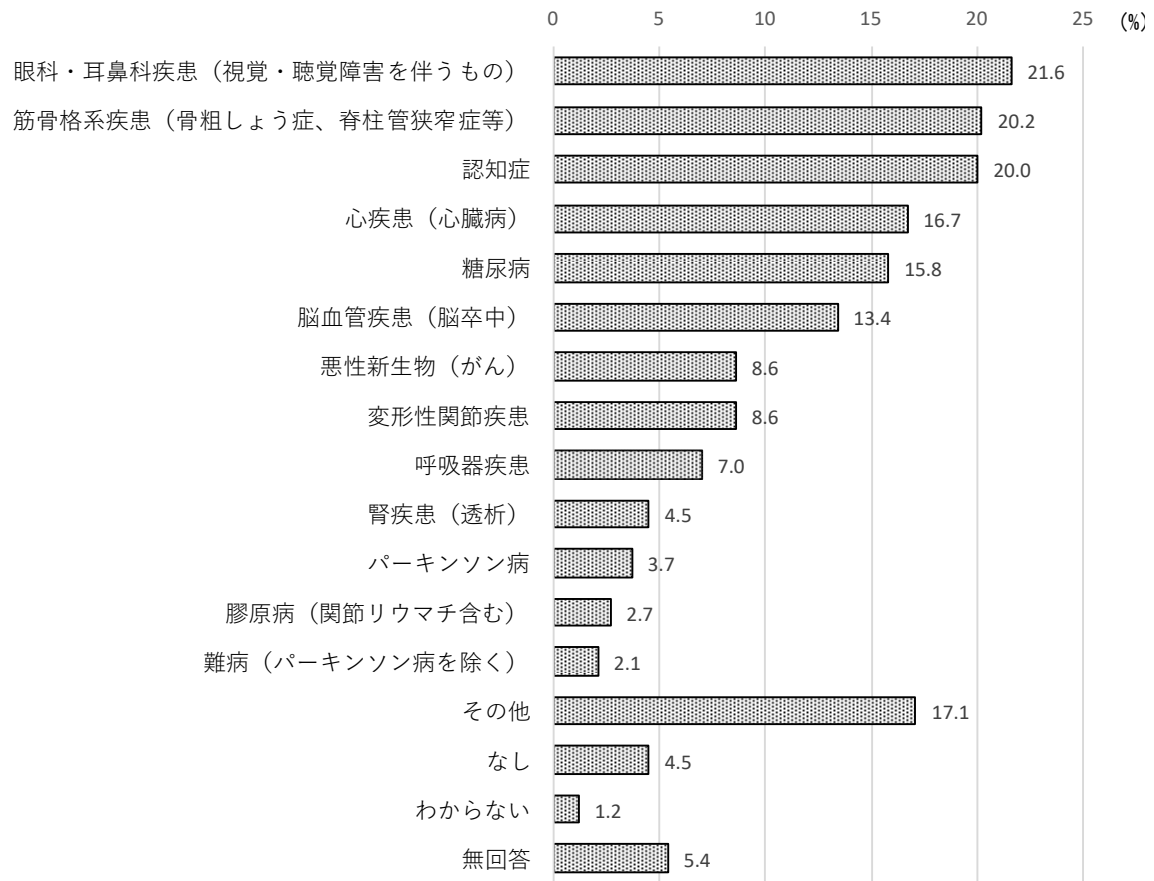
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・ すでに入居・入所申込みをしているが 9.5%、入所・入居を検討しているが 11.7%で 21.2%に入居・入所の意向がある。



問7 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

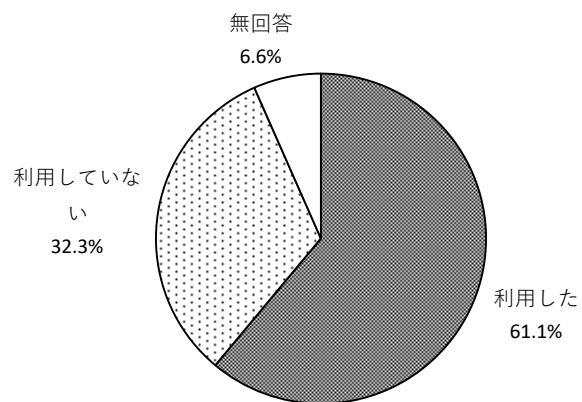
- ・眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）が 21.6%で最も多く、筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）が 20.2%、認知症が 20.0%で続いている。



N=514

問8 令和元年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

- ・利用したが 61.1%（314 人）。
- ・利用していないが 32.3%。

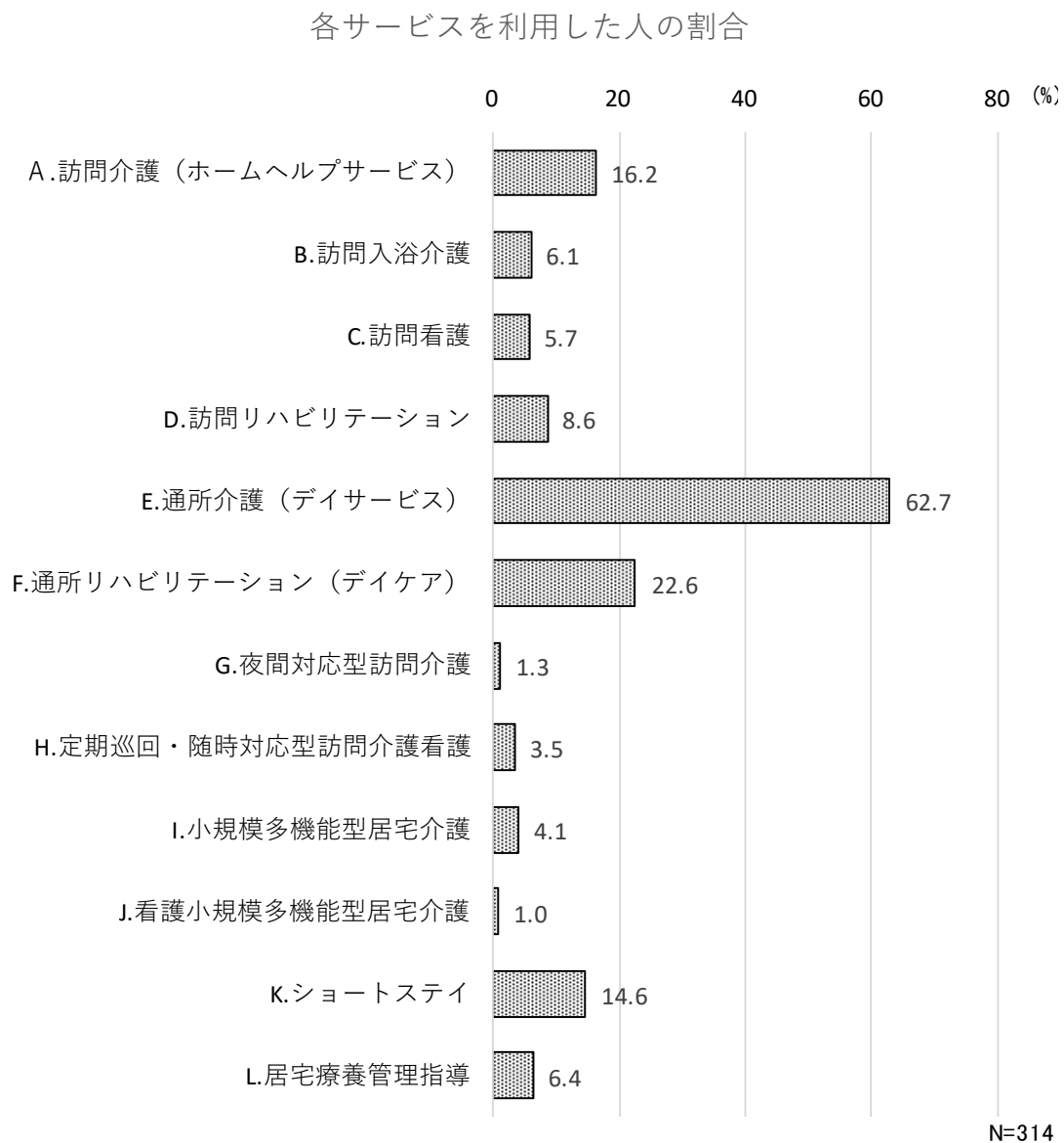


N=514

問8で「利用した」と回答した方にお伺いします。

問9 以下の介護保険サービスについて、令和元年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つ）

- ・各サービスについて1回以上利用した人の割合は、E. 通所介護が62.7%で最も高く、次いでF. 通所リハビリテーション（22.6%）、A. 訪問介護（16.2%）、K. ショートステイ（14.6%）の順となった。（各サービスの利用状況は次頁参照）



【各サービスの回答の詳細】

N=314

	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用した	利用していない	無回答
A.訪問介護（ホームヘルプサービス）	① 6.1%	3.2%	1.3%	1.6%	4.1%	16.2%	37.9%	45.9%
B.訪問入浴介護	① 2.9%	① 2.9%	0.3%	0.0%	0.0%	6.1%	44.3%	49.7%
C.訪問看護	① 2.9%	1.0%	0.6%	0.0%	1.3%	5.7%	44.6%	49.7%
D.訪問リハビリテーション	2.9%	① 3.5%	1.3%	0.3%	0.6%	8.6%	42.0%	49.4%
E.通所介護（デイサービス）	15.9%	① 22.9%	13.4%	4.1%	6.4%	62.7%	20.1%	17.2%
F.通所リハビリテーション（デイケア）	① 10.2%	8.9%	2.5%	0.3%	0.6%	22.6%	32.2%	45.2%
G.夜間対応型訪問介護	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	① 0.6%	1.3%	45.9%	52.9%

※四捨五入の為、合計が必ずしも 100% とならない場合がある。

N=314

	利用した	利用していない	不明
H.定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3.5%	64.3%	32.2%
I.小規模多機能型居宅介護	4.1%	63.7%	32.2%
J.看護小規模多機能型居宅介護	1.0%	64.6%	34.4%

※四捨五入の為、合計が必ずしも 100% とならない場合がある。

N=314

	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日以上	利用した	利用していない	不明
K.ショートステイ	① 8.3%	3.5%	1.0%	1.9%	14.7%	62.1%	23.2%

※四捨五入の為、合計が必ずしも 100% とならない場合がある。

N=314

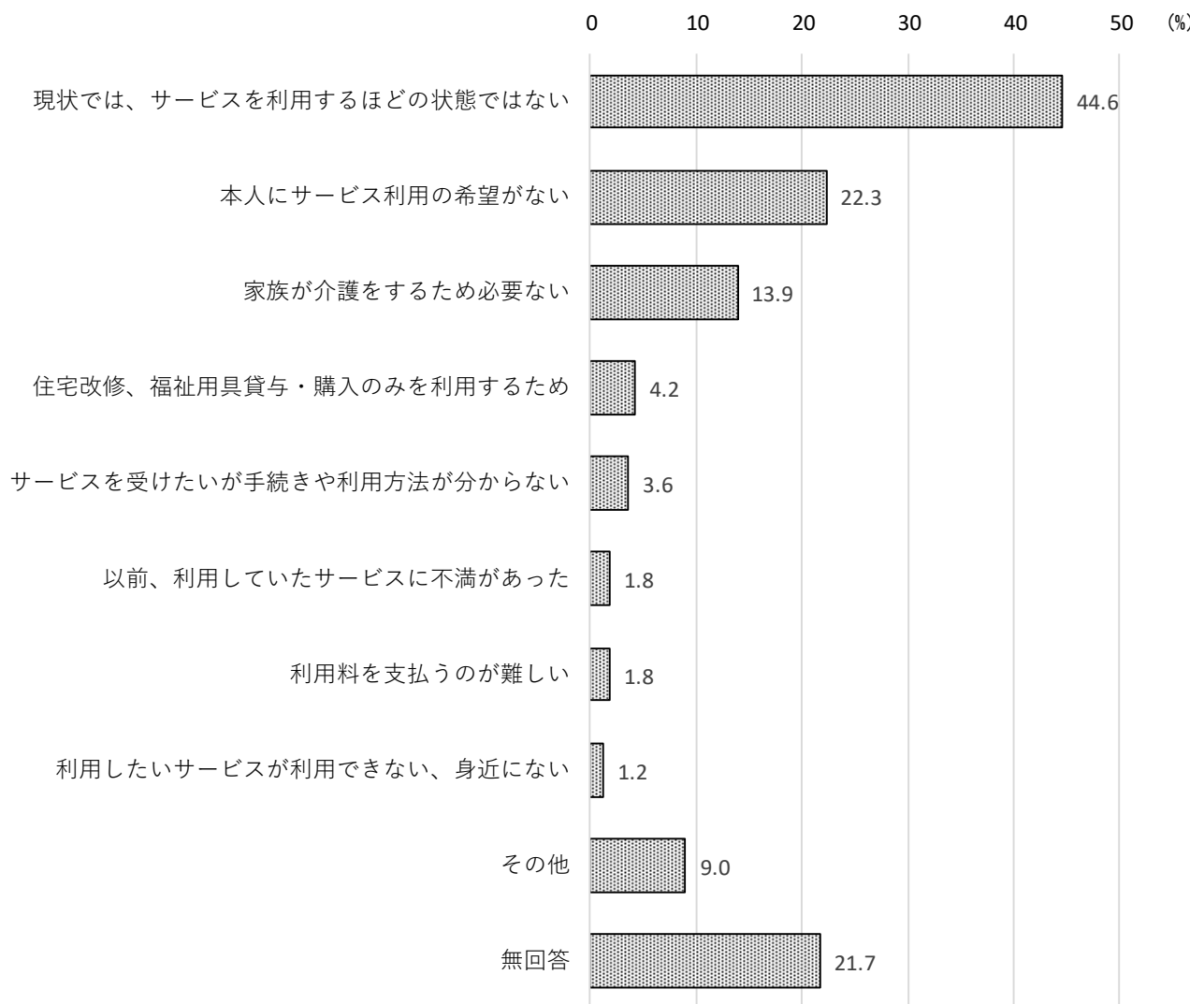
	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	利用した	利用していない	不明
L.居宅療養管理指導	① 3.2%	1.9%	0.6%	0.6%	6.3%	64.6%	29.0%

※四捨五入の為、合計が必ずしも 100% とならない場合がある。

問8で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

問 10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

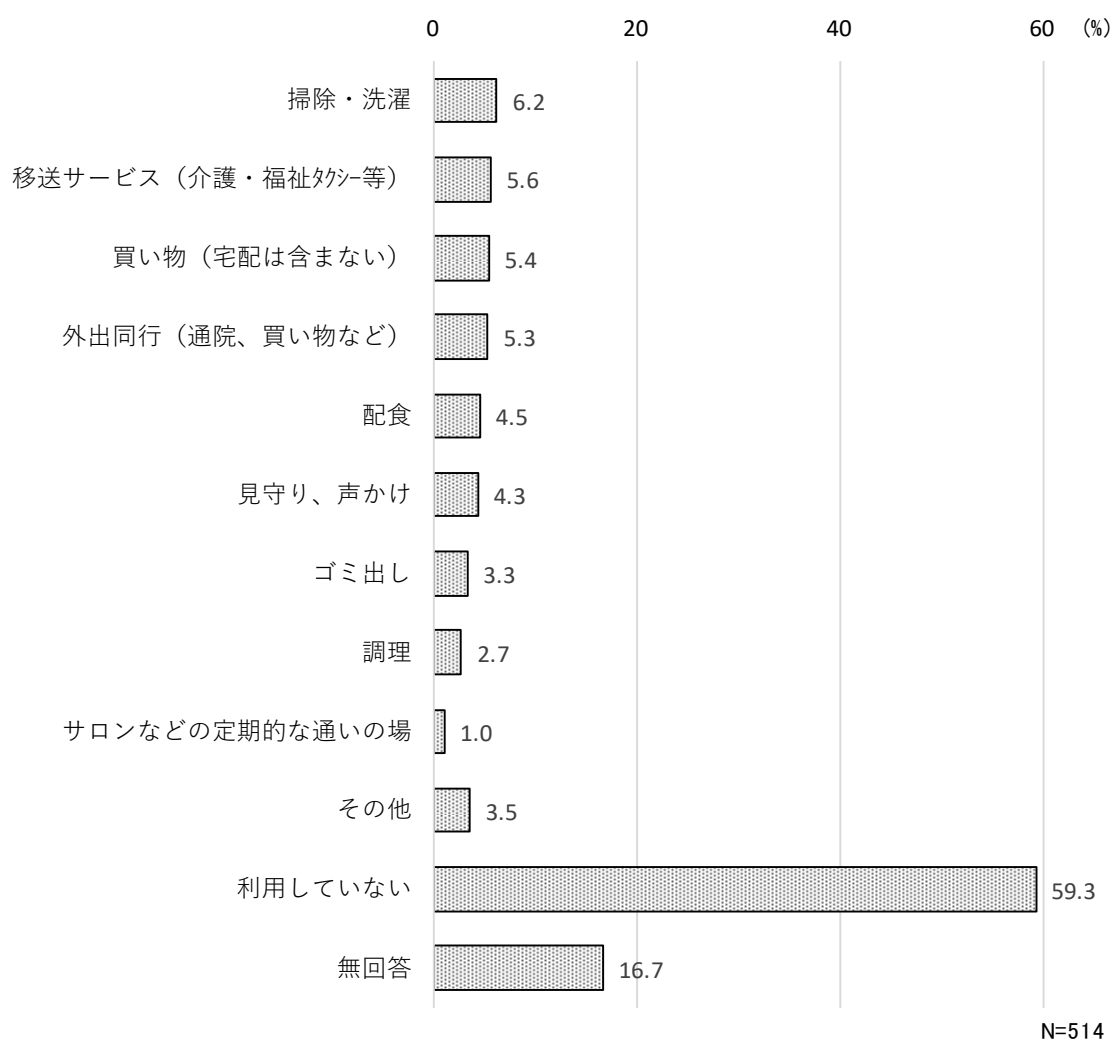
- ・全体の 32.3%に当たる 166 人が介護保険サービスを「利用していない」と回答しており、その理由として最も多いのは「現状では、サービスを利用する程の状態ではない」(44.6%)であった。以下、「本人にサービス利用の希望がない」(22.3%)、「家族が介護をするため必要ない」(13.9%)が続いている。



N=166

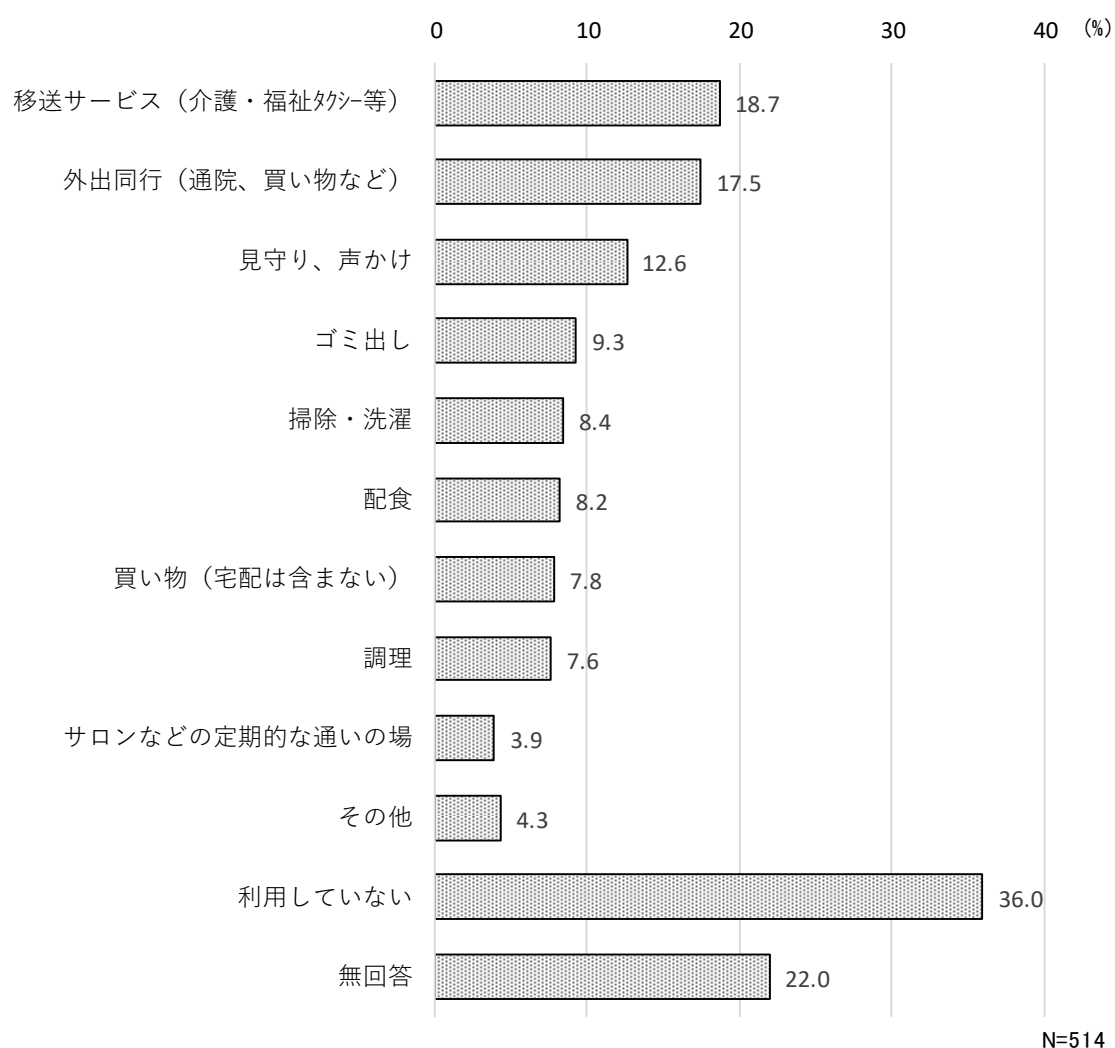
問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(複数選択可)

- ・現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスを利用しているのは全体の 24.0%。
- ・利用者が多いサービスは、「掃除・洗濯」(6.2%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(5.6%)、「買い物(宅配は含まない)」(5.4%)、「外出同行(通院、買い物など)」(5.3%)の順となっている。



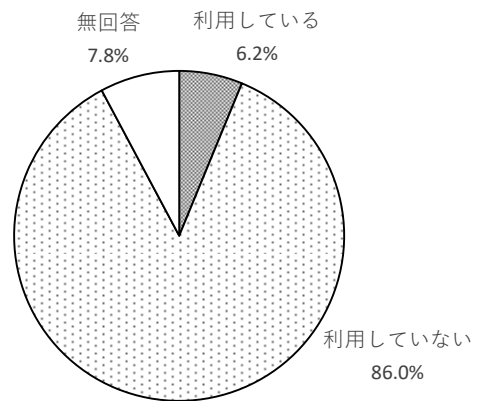
問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

- ・今後の在宅生活の継続に何らかの支援・サービスが必要と感じているのは全体の 42.0%。
- ・必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシー)」(18.7%)、「外出同行(通院、買い物など)」(17.5%)、「見守り、声かけ」(12.6%)の順で多い。



問 13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

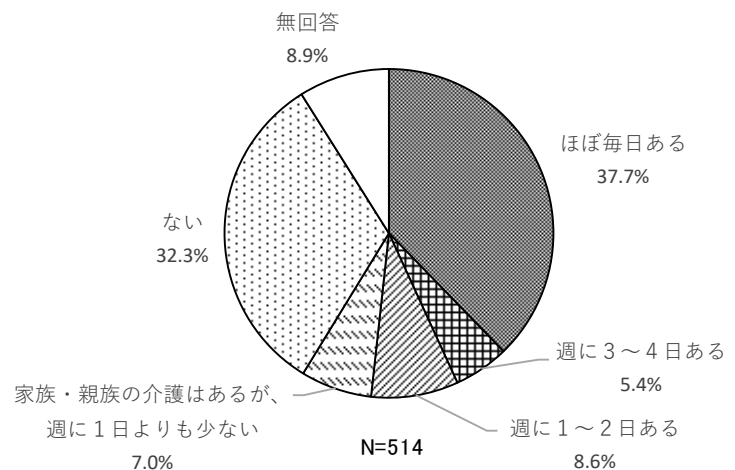
- ・訪問診療を利用しているのは 6.2%。



N=514

問 14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- ・家族や親族の介護を受けているのは全体の 58.7% (302 人)。
- ・ほぼ毎日、家族や親族の介護を受けているのは全体の 37.7%。

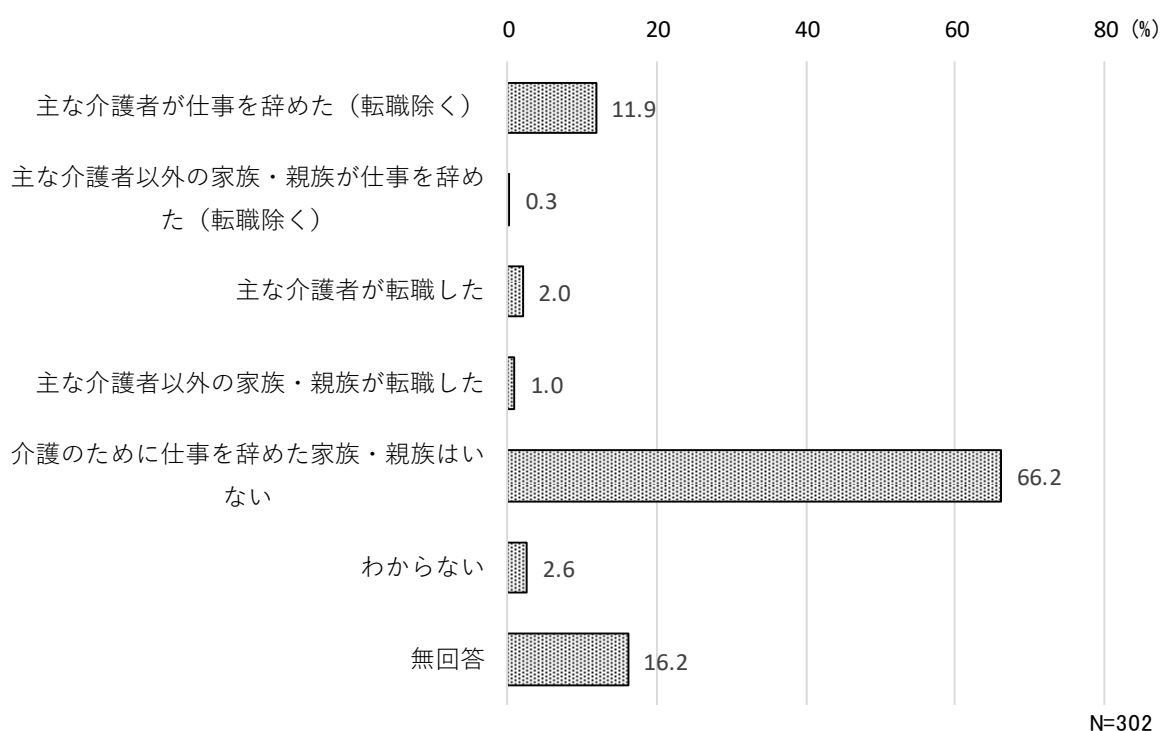


N=514

B票 主な介護者の方について

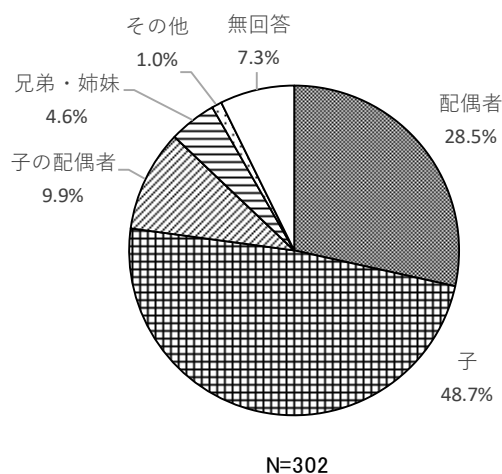
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- ・ B票は、A票・問14で家族や親族の介護を受けていると回答した302人を対象としている。
- ・ 認定調査対象者の介護を主な理由として、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」のは11.9%、「主な介護者が転職した」のは2.0%であった。



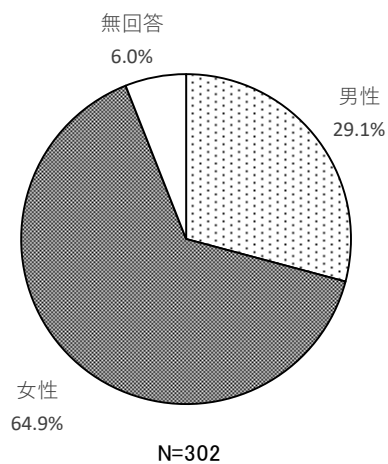
問2 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

- ・ 子が48.7%で最も多く、続いて配偶者が28.5%となっている。



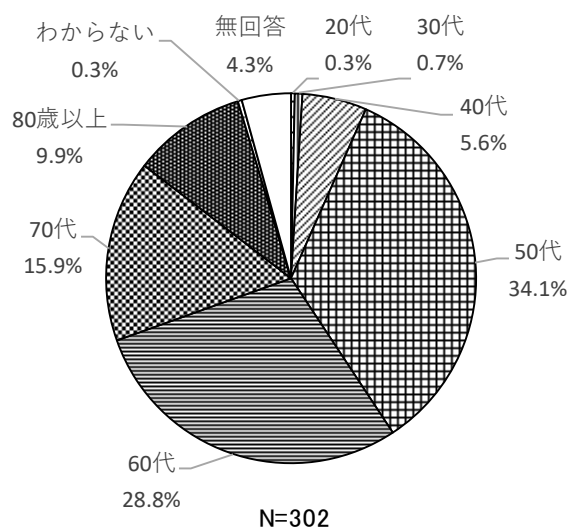
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・男性が 29.1%、女性が 64.9%で女性が多い。



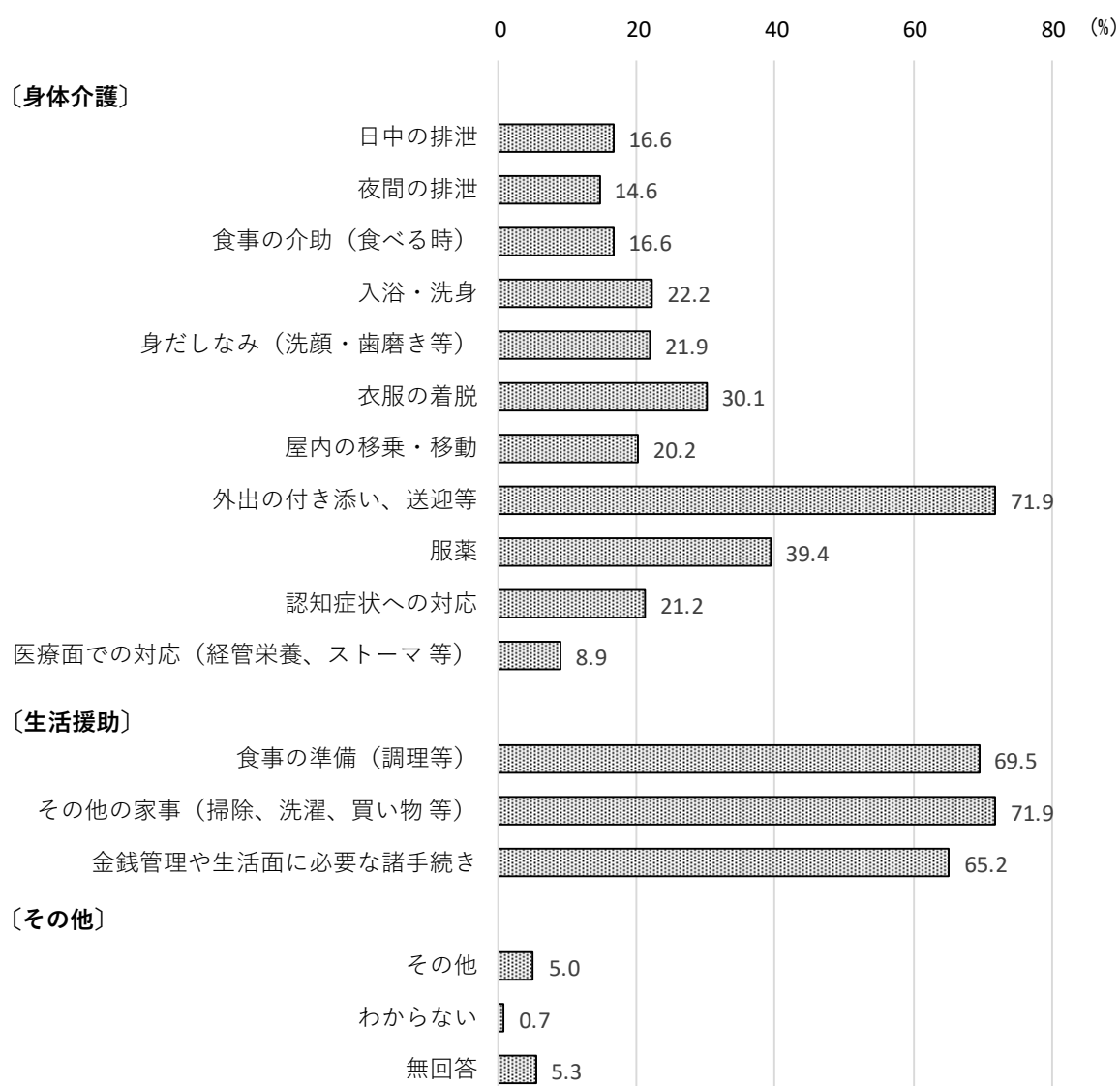
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・50代が 34.1%で最も多く、続いて60代が 28.8%となっている。
- ・全体の 25.8%は主な介護者の年齢が 70 歳以上である。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

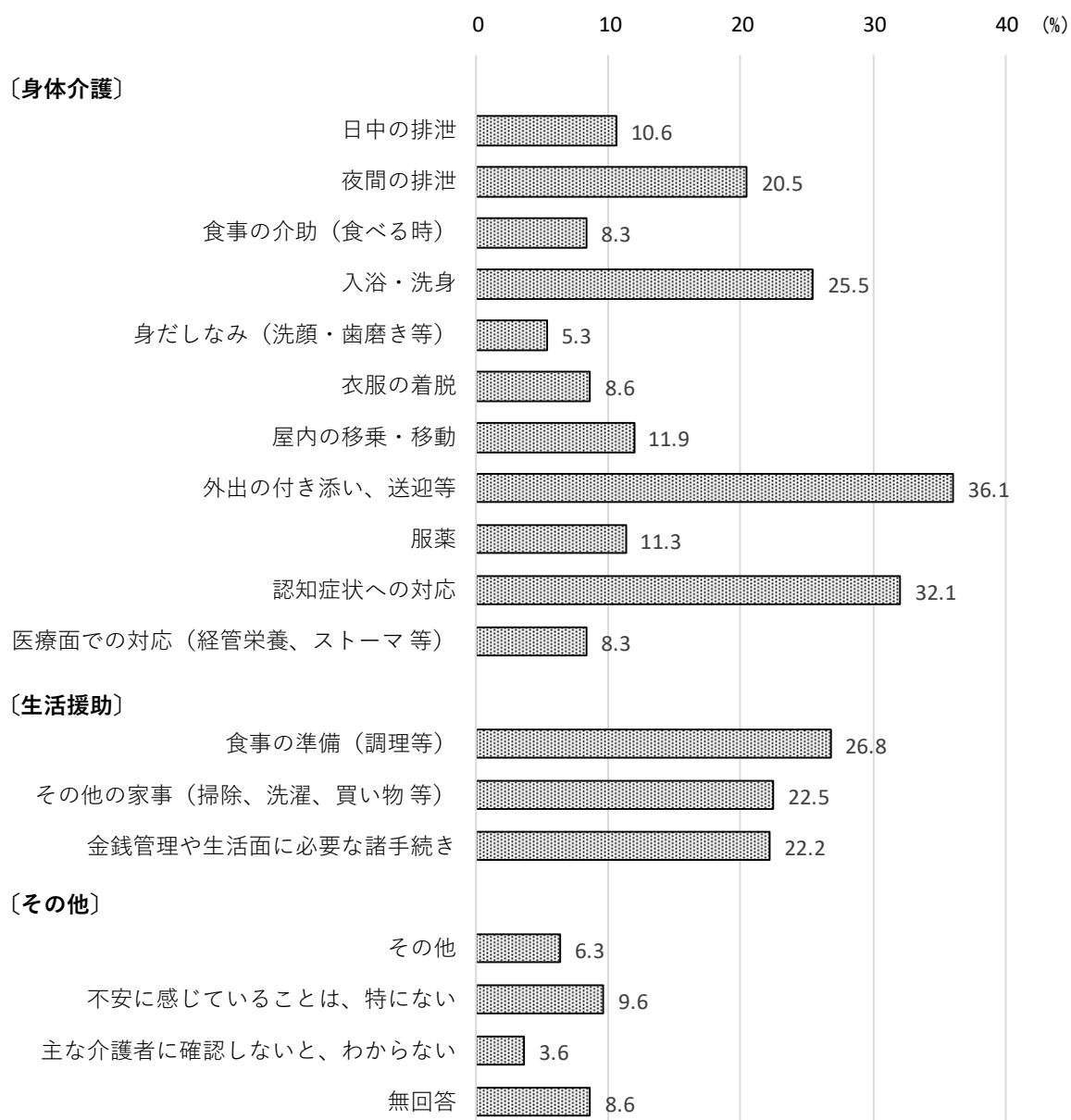
- ・身体介護については「外出の付き添い、送迎等」が71.9%で最も多く、続いて、「服薬」が39.4%、「衣服の着脱」が30.1%となっている。
- ・生活援助に対するニーズは全般に高く、掃除、洗濯、買い物等の家事が71.9%、「食事の準備（調理等）」が69.5%、「金銭や生活面に必要な諸手続き」が65.2%となっている。



N=302

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)

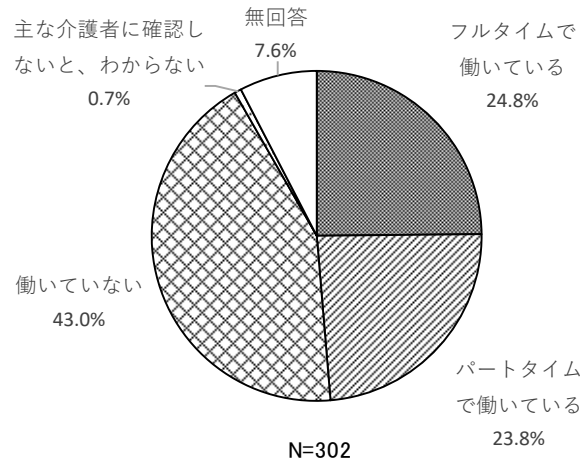
- ・身体介護の関する不安は「外出の付き添い、送迎等」が 36.1%で最も高く、「認知症状への対応」(32.1%)、「入浴・洗身」(25.5%)、「夜間の排泄」(20.5%)が続く。
- ・生活援助に関しては、「食事の準備(調理等)」が 26.8%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも 22.2%となっている。



N=302

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

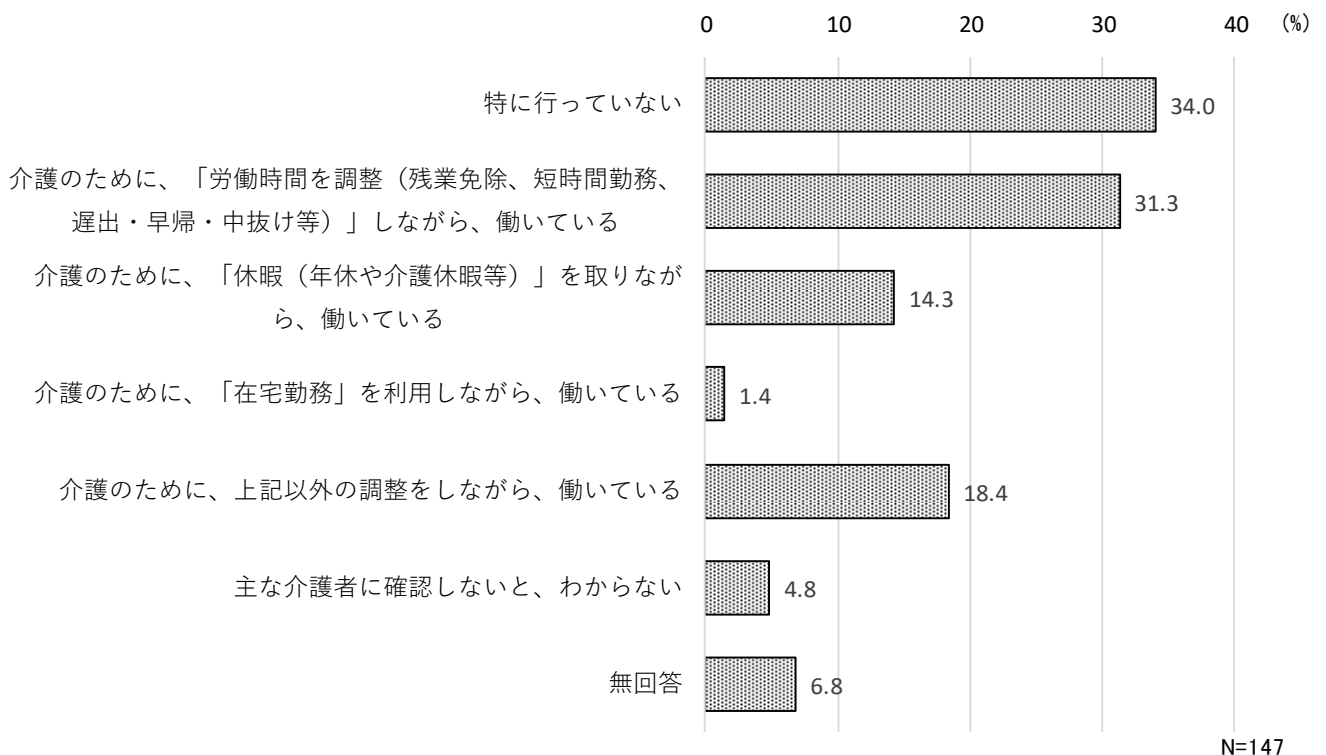
- ・「フルタイムで働いている」が 24.8%、
「パートタイムで働いている」が 23.8%
で、48.6%が働いている。



問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
（複数選択可）

- ・フルタイムかパートタイムで働いている 147 人のうち 31.3%が「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」。
- ・何らかの調整等を行っているのは 54.4%、「特に行っていないは」 34.0%であった。

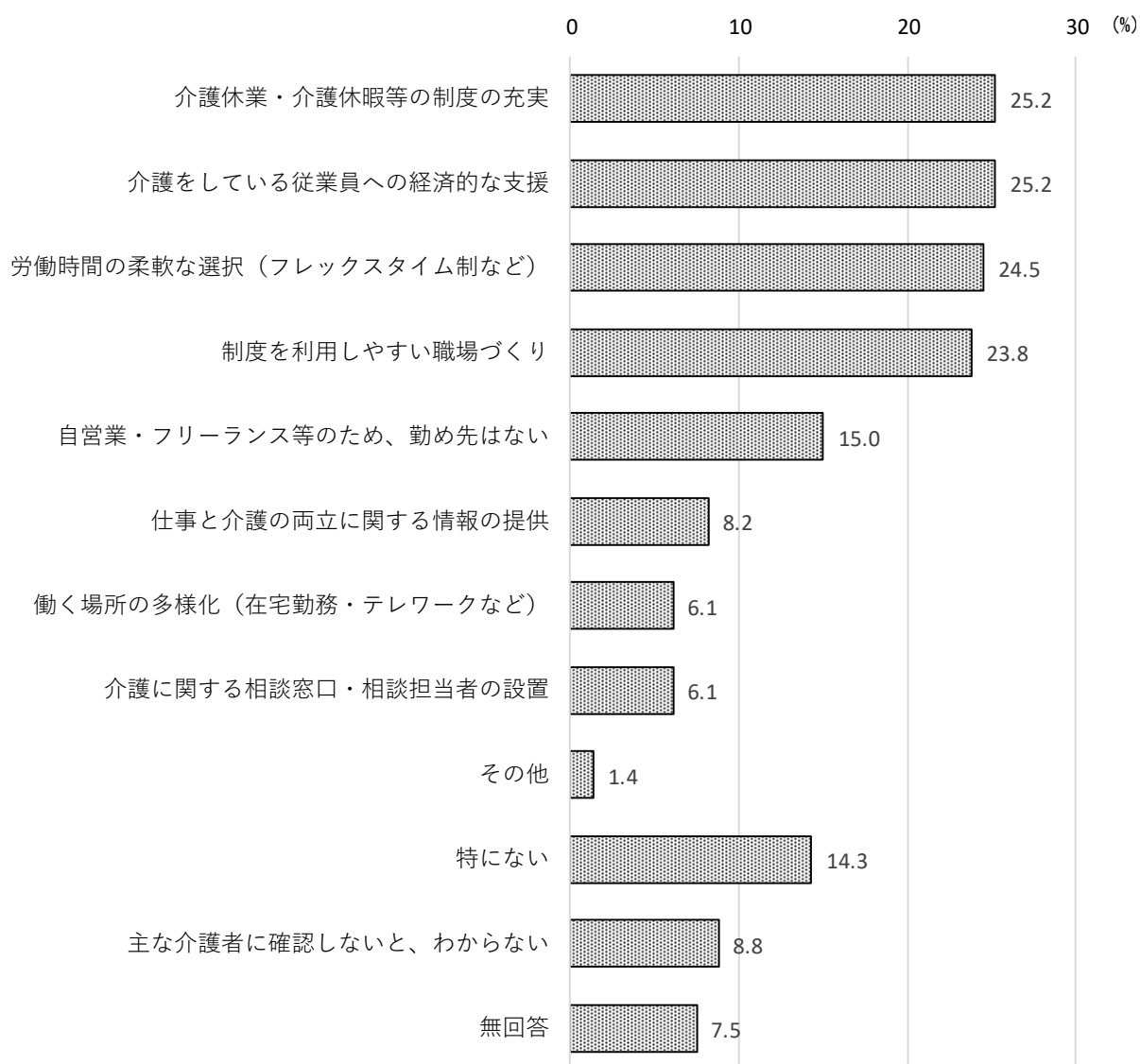


問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

・「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「介護をしている従業員への経済的な支援」が25.2%

で最も多いが、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（24.5%）と「制度を利用しやすい職場づくり」（23.8%）もほぼ同率で求められる支援施策としてあげられている。

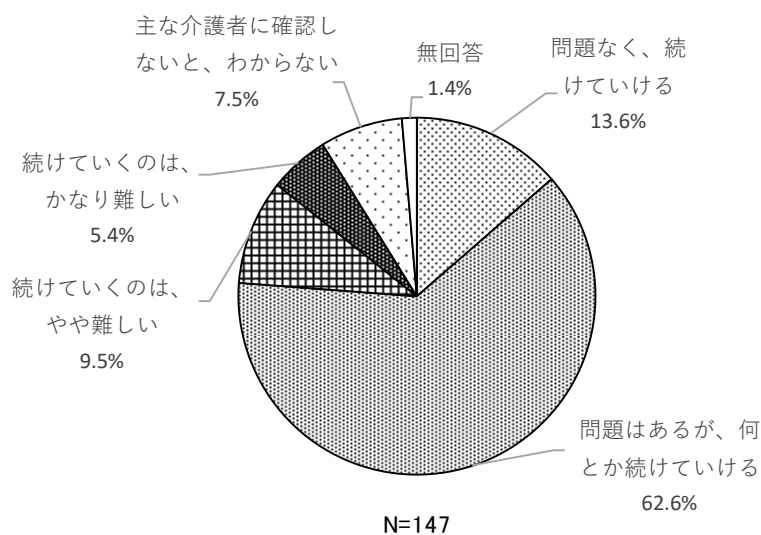


N=147

問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問 10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- ・「問題なく、続けていける」が 13.6%、「問題はあるが、何とか続けていける」が 62.6%で、76.2%が継続は可能であると回答している。
- ・他方、「続けていくのは、かなり難しい」は 5.4%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.5%で、14.9%が続けていくことに困難さを感じている。



次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた アンケート調査 ご協力をお願い

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたりご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、高齢者福祉の充実を図るため、令和3～5年度を計画期間とする次期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定に取り掛かることといたしました。当該計画策定に向け、皆様のご要望やご意見を把握するためアンケート調査を実施します。

この調査票は、市内にお住まいの65歳以上の方のうち、要介護認定を受けていない方2,000名を無作為に抽出してお送りいたしました。無記名でお答えいただき、統計的な処理を行いますので、個人が特定される形での公表や皆様に不利益となるようなことはございません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年12月 本庄市長 吉田 信 解

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、できるだけあて名のご本人がお答えください。ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方などがご本人の立場でお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。
- 「その他」と回答された場合は、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。
- お答えいただく方が限られる質問もありますので、ご注意ください。
- ご記入いただいた調査票は、12月20日（金）までに、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずにご投函ください。

下記の理由等で回答ができない場合には、当てはまる番号に○印をつけて、そのままご返送願います。

1. 転出 2. 死亡 3. その他（ ）

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、以下にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和3～5年度）の策定に向けた基礎資料にするためのものです。本調査で得られた情報につきましては、本庄市による当該計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本庄市内で適切に管理いたします。
- ・ただし、当該計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する本庄市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

お問い合わせ先 本庄市役所 介護保険課（電話：0495-25-1719）
地域福祉課（電話：0495-25-1127）

記入日：令和 年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. あて名のご本人が記入 | |
| 2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄） | ○ |
| 3. その他（ | ○ |

あなたがお住まいの地域はどちらですか。○をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 本庄東中学校区 | 2. 本庄西中学校区 | 3. 本庄南中学校区 | 4. 児玉中学校区 |
|------------|------------|------------|-----------|

1 あなた自身（ご本人）のことについてお伺いします

問1 家族構成をお教えてください（1つを選択）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） |
| 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他（ | ） |

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つを選択）

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む） |

問2-1へ

問2で「3」と回答した方にお伺いします

問2-1 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか（複数選択可）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 2. 心臓病 |
| 3. がん（悪性新生物） | 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等） |
| 5. 関節の病気（リウマチ等） | 6. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 腎疾患（透析） | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他（ |
| 15. 不明 | ） |

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（複数選択可）

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ | ） |

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つを選択）

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問4 お住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つを選択）

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. 公営賃貸住宅 | 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他（ ） | |

2 からだを動かすことについてお伺いします

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つを選択）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つを選択）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問7 15分位続けて歩いていますか（1つを選択）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つを選択）

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問9 転倒に対する不安は大きいですか（1つを選択）

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

問10 週に1回以上は外出していますか（1つを選択）

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2～4回 | 4. 週5回以上 |

問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つを選択）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

問 12 外出を控えていますか（1つを選択）

1. はい

[問 12-1 へ](#)

2. いいえ

[問 13 へ](#)

問 12 で「1」と回答した方にお伺いします

問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（複数選択可）

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害（脳卒中の後遺症など） |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配（失禁など） |
| 5. 耳の障害（聞こえの問題など） | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他（ ） |

問 13 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自動車（自分で運転） |
| 5. 自動車（人に乗せてもらう） | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス |
| 9. 車いす | 10. 電動車いす（カート） |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他（ ） | |

3 食べるについてお伺いします

問 14 身長・体重をご記入ください

- | | |
|-----------------------------|----|
| ①身長（ ） | cm |
| ②体重（ ） | kg |

問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 16 お茶や汁物でむせることがありますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 17 口の渇きが気になりますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（1つを選択）

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用

2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし

3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用

4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

問 19-1 噛み合わせは良いですか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 19 で「1」「3」と回答した方にお伺いします

問 19-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 20 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 21. どなたかと食事をとる機会がありますか（○は 1 つ）

1. 毎日ある

2. 週に何度かある

3. 月に何度かある

4. 年に何度かある

5. ほとんどない

4 毎日の生活についてお伺いします

問 22 物忘れが多いと感じますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 23 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 24 今日が何月何日かわからない時がありますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 25 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つを選択）

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 26 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つを選択）

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 27 自分で食事の用意をしていますか（1つを選択）

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 28 自分で請求書の支払いをしていますか（1つを選択）

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 29 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つを選択）

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 30 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 31 新聞を読んでいますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 32 本や雑誌を読んでいますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 33 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 34 友人の家を訪ねていますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 35 家族や友人の相談にのっていますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 36 病人を見舞うことができますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 37 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問 38 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（1つを選択）

1. 趣味あり（ ）

2. 思いつかない

問 39 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（1つを選択）

1. 生きがいあり（ ）

2. 思いつかない

5 地域での活動についてお伺いします

問 40 以下の①～⑧の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
(それぞれ1つを選択)

	週4回 以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数 回	参加し ていな い
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤はにトレ教室など 介護予防のための通いの 場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

問 43 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数選択可）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | 8. そのような人はいない |

問 44 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 45 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 46 反対に、看病や世話をし**て**あげる人（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 47 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数選択可）

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場
6. その他（ ）
7. そのような人はいない

問 48 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つを選択）

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問 49 この 1 か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても 1 人と数える
こととします（1 つを選択）

1. 0人 (いない) 2. 1～2人 3. 3～5人
4. 6～9人 5. 10人以上

問 50 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（複数選択可）

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他（ ）
8. いない

7 健康についてお伺いします

問 51 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つを選択）

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

問 52 あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○は1つだけつけてください）

とても不幸	とても幸せ
0点	1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 53 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つを選択）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 54 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つを選択）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 55 お酒は飲みますか（1つを選択）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 2. 時々飲む |
| 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |

問 56 タバコは吸っていますか（1つを選択）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

問 57 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症（脂質異常） |
| 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） |
| 11. 外傷（転倒・骨折等） | 12. がん（悪性新生物） |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症（アルツハイマー病等） | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他（ | ） |

8 認知症にかかる相談窓口の把握についてお伺いします

問 58 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つを選択）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 59 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つを選択）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

9 日ごろの生活についてお伺いします

問 60 健康のために特に気をつけていることは何ですか（複数選択可）

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 散歩など軽い運動をする | 2. バランスの良い食生活 |
| 3. ストレスをためない | 4. 生きがい・やりがいを持つ |
| 5. 歯や口腔の健康 | 6. 人との交流を持つ |
| 7. その他（ ） | 8. 特に何もしていない |

問 61 日中、1人になることがありますか（1つを選択）

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

問 62 ご近所とのお付き合いはどのような様子ですか（1つを選択）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 日常的に付き合いがある | 2. あいさつを交わす程度 |
| 3. 付き合いはほとんどない | |

問 63 困った時に声をかければ、助けてくれたり、すぐに来てくれる人はいますか（複数選択可）

- | | | |
|---------------------|--------------------------------|----------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 民生委員 | 5. その他（ ） | 6. 特にいない |
| 7. 声をかける事はしない又はできない | | |

問 64 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報を得ることができていますか（1つを選択）

- | | | |
|----------|--------------|-----------|
| 1. できている | 2. あまりできていない | 3. できていない |
|----------|--------------|-----------|

問 64 で「1. できている」と回答した方にお伺いします

問 64-1 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか（複数選択可）

- | | | |
|---------------|---------------------------------|------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 | 3. 民生委員 |
| 4. 市役所の窓口 | 5. 市役所のホームページ | 6. 広報ほんじょう |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 介護保険サービス事業者 | 9. ケアマネジャー |
| 10. 自治会の回覧板 | 11. その他（ ） | |

問 65 下記の事柄について、日頃不安に思うことはありますか

	実際に 困っている	不安に思う ときがある	さほど不安 に思わない
①収入が不足して生活が苦しくなる	1	2	3
②健康で自立した生活ができなくなる	1	2	3
③社会から孤立した存在になる	1	2	3
④災害の時に避難や対応ができなくなる	1	2	3
⑤家族が体調を崩したとき、その介護ができない	1	2	3

問 66 お子さんと同居している方に伺います。お子さんの将来について不安がありますか

1. ある	2. ない
-------	-------

問 66 で「1. ある」と回答した方にお伺いします

問 66-1 不安に思う内容を具体的に記入してください。 例：仕事をしていない など

()

問 67 下記の相談窓口を知っていますか（複数選択可）

1. 社会福祉協議会	2. 地域包括支援センター
3. 消費生活支援センター	4. 後見ほっとライン
5. ほんじょう健康相談ダイヤル24	6. 居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）
7. 知っている窓口はない	

問 68 現在、仕事をしていない方、また、就業中の方は現在の仕事を退職（引退）後、どのようにしたいと思いますか（1つを選択）

1. フルタイムで働きたい	→ 問 68-1 へ
2. 週に2・3日、または日に数時間働きたい	→ 問 68-1 へ
3. シルバー人材センターに登録し軽作業等をしたい	→ 問 68-1 へ
4. 働かずに趣味を楽しみたい	
5. 働かずに地域の活動やボランティアなどの社会貢献をしたい	
6. しばらく何もせずに休みたい	
7. 病気・療養中	
8. 何も考えていない	
9. その他 ()	

問 68 で「1、2、3」のいずれかを回答した方にお伺いします

問 68-1 どのような業種で働きたいですか

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 事務業務 | 2. 接客業務 |
| 3. 営業業務 | 4. 保育業務又はその補助 |
| 5. 介護業務又はその補助 | 6. 製造業務 |
| 7. 配送業務 | 8. 清掃業務 |
| 9. その他（ | ） |

問 68-2 国の推計によると埼玉県では2025年には、介護人材が約1万6千人不足すると見込まれています。ますます増大する介護ニーズに対応するため、介護の担い手を確保しなければなりません。あなたは、介護施設等で働くことについてどのようなお考えをお持ちですか（1つを選択）

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 必要な資格等を取得して働きたい | 2. 入門研修程度を受講して働きたい |
| 3. 簡易な仕事であれば働きたい
（※簡易な仕事…館内の清掃、洗濯・衣類の整理、シーツの交換など） | |
| 4. 働きたいとは思わない | |

10 介護保険制度についてお伺いします

問 69 あなたは、介護保険制度についてどの程度ご存知ですか。下記の中から、ご存知のものを
お選びください（複数選択可）

- | |
|---|
| 1. 原則として40歳以上の人全員が加入し、保険料を納める |
| 2. 65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める |
| 3. 介護保険のサービスを利用したい場合、まず市町村に要介護認定の申請をする |
| 4. 要介護（要支援）度に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる |
| 5. サービスを利用するときは、かかった費用の1割、2割または3割を利用者が直接負担する |
| 6. 知っていることはない |

問 70 あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのようにお考えですか（1つを選択）

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安い方がよい | |
| 2. 保険料もサービス内容も今の水準程度がよい | |
| 3. 保険料が多少高くても、サービス内容が充実しているほうがよい | |
| 4. その他（ | ） |

※平成 30～令和 2 年度は、1 号被保険者（65 歳以上）基準月額 5,100 円（所得に応じて 0.5 倍～2.0 倍）

- 11 高齢者に関する施策について伺います

1. 在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実
2. 特別養護老人ホームや老人保健施設の整備
3. 医療施設（病院、診療所）の整備
4. 介護予防対策の充実
5. 認知症予防対策の充実
6. 認知症高齢者への支援
7. 高齢者を介護している家族等への支援
8. 高齢者に対応する相談窓口の充実
9. 地域のボランティア活動・組織の支援
10. 声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援
11. 高齢者の人権・財産などを守る相談窓口の充実
12. 高齢者虐待に対する支援
13. 高齢者向け住宅の整備
14. 地震・風水害など自然災害時の支援
15. 防犯対策・悪質商法対策
16. 外出支援の充実
17. 外出しやすい道路や施設の整備
18. 隣近所で手助けしあう仕組みづくり
19. その他（

問 74 以下の制度や事業を知っていますか（それぞれ1つを選択）

	内容まで 知っている	名前だけは 知っている	知らない
①生活困窮者自立支援制度	1	2	3
②彩の国あんしんセーフティネット事業	1	2	3
③生活保護制度	1	2	3
④成年後見制度	1	2	3
⑤避難行動要支援者避難支援制度	1	2	3
⑥在宅医療・介護連携推進事業	1	2	3
⑦生活支援体制整備事業	1	2	3
⑧認知症総合支援事業	1	2	3

問 75 現在車の運転をしていますか

1. はい	→	問 75-1、75-2 へ
2. いいえ	→	問 75-3 へ

問 75-1 何歳まで車の運転をしたいですか（1つを選択）

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------------|-----------|
| 1. 65～70歳 | 2. 71～75歳 | 3. 76～80歳 | 4. 81～85歳 |
| 5. 86～90歳 | 6. 91歳～ | 7. 出来るだけ運転し続けたい | |
| 8. 家族の意向による | | | |

問 75-2 今後、充実させてほしい交通施策は何ですか（複数選択可）

- | |
|------------------|
| 1. 交通安全講習の充実 |
| 2. 後付安全装置の取り付け補助 |
| 3. 公共交通の充実 |
| 4. その他（ ） |

問 75-3 市内を移動する際の移動手段についてお答え下さい（複数選択可）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車・バイク |
| 3. 家族の車に乗せてもらう | 4. 友人の車に乗せてもらう |
| 5. 路線バス | 6. はにぽん号・もといずみ号 |
| 7. はにぽんシャトル | 8. タクシー |
| 9. その他（ ） | |

問 76 車の運転をしていない、若しくは運転をしなくなった際に困ることはありますか
(複数選択可)

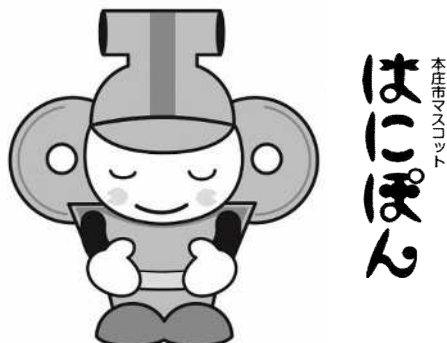
- | | | | |
|--------|------------|----------------------|-----------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 趣味、サークル、クラブ活動への参加 | 4. 友人との交流 |
| 5. 仕事 | 6. その他 () | | |

問 77 下記の移動支援があれば利用したいと思いますか (利用したいものすべて)

- | |
|---|
| 1. 地域の助け合いによる送迎サポート
(ボランティアによるサービス。予約での利用が基本となるが柔軟な運行が可能。) |
| 2. 福祉バスの相乗り
(高齢者福祉施設の福祉バスを効率的に活用するもの。施設を利用する高齢者と一緒
に乗り込むことがある。) |
| 3. その他 () |

問 78 もし設問 77 の移動手段を利用できるとしたら、1 回あたりの料金 (片道) はいくら位
までなら自己負担できると思いますか

- | | | | |
|------------|------------|--------------|------------|
| 1. 100 円以内 | 2. 200 円以内 | 3. 300 円以内 | 4. 400 円以内 |
| 5. 500 円以内 | 6. 800 円以内 | 7. 1,000 円以内 | 8. それ以上でも可 |



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

12月20日(金)までに、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずにご投函ください。

次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた アンケート調査 ご協力のお願い

【在宅介護実態調査】

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたりご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、高齢者福祉の充実を図るため、令和3～5年度を計画期間とする次期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定に取り掛かることといたしました。当該計画策定に向け、介護サービスの在り方を検討するため、在宅介護の実態を把握するアンケート調査を実施します。

この調査票は、市内で在宅生活をされていて、要支援・要介護認定を受けている方1,000名を無作為に抽出してお送りいたしました。統計的な処理を行いますので、個人が特定される形での公表や皆様に不利益となるようなことはございません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年12月 本庄市長 吉田 信 解

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、できるだけあて名のご本人がお答えください。ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方などがご本人の立場でお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。
- お答えいただく方が限られる質問もありますので、ご注意ください。
- ご記入いただいた調査票は、12月20日（金）までに、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずにご投函ください。

下記の理由等で回答ができない場合には、当てはまる番号に○印をつけて、そのままご返送願います。

1. 転出 2. 入院 3. 死亡 4. 福祉施設等入所（特別養護老人ホーム・グループホーム等）

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、以下にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和3～5年度）の策定に向けた基礎資料にするためのものです。本調査で得られた情報につきましては、本庄市による当該計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本庄市内で適切に管理いたします。
- ・ただし、当該計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する本庄市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

お問い合わせ先 本庄市役所

介護保険課（電話：0495-25-1719）

地域福祉課（電話：0495-21-1127）

A票は「ご本人」、B票は「介護者」の方にお答えいただく質問になっています。

ご 本 人 あて名に記載されている介護を受けている人

ただし、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方などがご本人の立場でお答えください。

介 護 者 介護をしている人

A票 ご本人について、お伺いします

1 あなた自身（ご本人）のことについてお伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか(複数回答可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. ご本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

問2 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問3 ご本人の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 | 4. 75～79歳 |
| 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 | 7. 90歳以上 | |

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2 |
| 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | |
| 14. その他 | 15. なし |
| 16. わからない | |

問8 令和元年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

- | | | |
|------------|---|------|
| 1. 利用した | → | 問9へ |
| 2. 利用していない | → | 問10へ |

問8で「1.」と回答した方にお伺いします。

問9 以下の介護保険サービスについて、令和元年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5	6
B. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6
C. 訪問看護	1	2	3	4	5	6
D. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
E. 通所介護 (デイサービス)	1	2	3	4	5	6
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	1	2	3	4	5	6
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	1	2	3	4	5	6

	利用の有無 (それぞれ1つに○)	
	利用していない	利用した
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2
I. 小規模多機能型居宅介護	1	2
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1	2

	1か月あたりの利用日数（1つに○）				
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上
K. ショートステイ	1	2	3	4	5

	1か月あたりの利用回数（1つに○）				
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5

問8で「2. 」と回答した方にお伺いします

問 10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 利用していない | |

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 利用していない | |

問 13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問 14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. ない | → 調査は終了です
B票へ進んでください |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

A票の問 14 で「2. 」～「5. 」を選択された場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いします。

- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票

主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20 代 | 3. 30 代 |
| 4. 40 代 | 5. 50 代 | 6. 60 代 |
| 7. 70 代 | 8. 80 歳以上 | 9. わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | | |
|--------------|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助（食べる時） |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

〔生活援助〕

12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他 16. わからない

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | | |
|--------------|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助（食べる時） |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

〔生活援助〕

12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他 16. 不安に感じていることは、特にな
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|-----|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } → | 問8へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } → | 調査は終了です |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |



アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、12月20日(金)までに、
同封の返信用封筒にて、切手を貼らずにご投函ください。